

Canon

EOS *Kiss* Digital

ソフトウェア

Windows

Macintosh

使用説明書

EOS DIGITAL SOLUTION DISK Ver. 6



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるよう大切に保管してください。

CANON
iMAGE
GATEWAY

Exif Print

DPOF

J
日本語版

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。
本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマーク、ソフトウェアの使用に関する契約内容などが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ③ 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ④ このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

ソフトウェア製品使用許諾契約書について

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ですが、本ソフトウェア製品を使用される前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未使用のまま速やかに他の同梱の製品並びに領収書（購入を証するものを含みます。）とともに買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品を使用された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- ① お客様は、「許諾ソフトウェア」を、一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピューターで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピューターネットワーク上の複数のコンピューターで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。
- ② お客様は、再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により、第三者に「許諾ソフトウェア」を使用もしくは利用させることはできません。
- ③ お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピューターのハードディスクなどの記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証

キヤノンは、お客様が「許諾ソフトウェア」を購入した日から90日の間、「許諾ソフトウェア」が格納されているディスク（以下「ディスク」といいます。）に物理的な欠陥がないことを保証します。当該保証期間中に「ディスク」に物理的な欠陥が発見された場合には、キヤノンは、「ディスク」を交換いたします。

4. 保証の否認・免責

- ① 前項に定める場合を除き、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他ソフトウェア製品に関していかなる保証もいたしません。
- ② キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

5. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

6. 契約期間

- ① 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用された時点で発効します。
- ② お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- ③ キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- ④ 本契約は、上記②または③により終了するまで有効に存続します。上記②または③により本契約が終了した場合、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、本製品の代金をお返しいたしません。お客様は、本製品の代金の返還をキヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店に請求できません。
- ⑤ お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去した上、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただけます。

7. 一般条項

- ① 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- ② 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

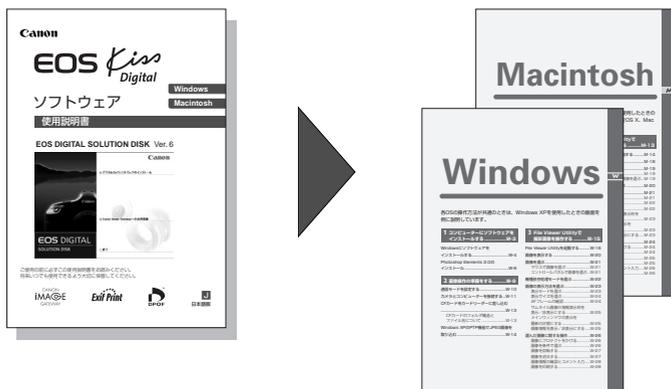
以上
キヤノン株式会社

登録商標について

- CanonおよびEOSは、キヤノン株式会社の商標です。
- Canon Image GatewayおよびImage Gatewayは、日本国内において商標登録出願中です。
- AdobeおよびPhotoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- IBM PC/ATシリーズは、米国International Business Machines社の商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- iBookおよびiMac、QuickTimeは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、FireWireは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の構成と操作説明、本文中のマークについて

- 本書はWindows章、Macintosh章の順に構成されています。



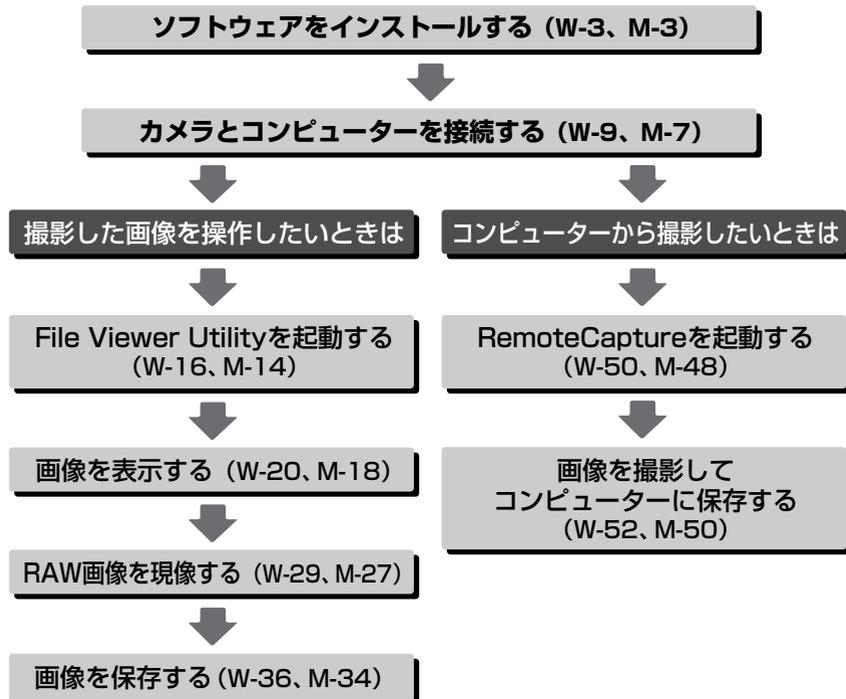
本書では、Windows XP Professional/Home EditionをWindows XP、Windows Millennium EditionをWindows Me、Windows 2000 ProfessionalをWindows 2000、Windows 98 Second EditionをWindows 98 SEと表記しています。

- 各OSの操作方法が共通のときは、WindowsではWindows XP、MacintoshではMac OS X (10.2) を使用したときの画面を例に説明しています。
- 本文中の [] 内の語句は、コンピューターの画面上に表示されるボタン名称やアイコン名称などを示しています。
- 本文中の () 内の数字は、参照ページを示しています。
- カメラの操作については、カメラに付属の使用説明書を読まれたことを前提に説明しています。
- 各ソフトウェアの詳しい使いかたや制限事項については、各ソフトウェアの「ヘルプ」や「Readme」、「はじめにお読みください」、「ソフトウェアガイド」(A-7) もあわせて参照してください。
- File Viewer Utilityからの画像転送には、別途タッチソフトが必要です。また、TWAIN Driverの起動には、別途TWAIN Driver対応のソフトウェアが必要です。本文中に記載しているFile Viewer Utilityから画像を転送するときの説明や、TWAIN Driver対応のソフトウェアの説明は、Adobe Photoshop Elements 2.0を例に行っています。
- 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

 : ソフトウェアやコンピューターの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

 : 基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。

操作の流れ



- このほか、WIA Driver/TWAIN Driver (W-59) では、カメラから簡単にJPEG画像を取り込むことができます。また、ZoomBrowser EX (W-65) /ImageBrowser (M-57) では、ExifPrint対応の印刷やパノラマ合成を行うことができます。
- 各ソフトウェアの説明は、「ソフトウェアについて」(A-5)に記載しています。ご使用目的にあわせてソフトウェアを選んでください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

同梱のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用CDプレイヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

ソフトウェアについて

同梱されているCD-ROMに収められているソフトウェアの主な機能を紹介します。

イオス デジタル ソリューション ディスク

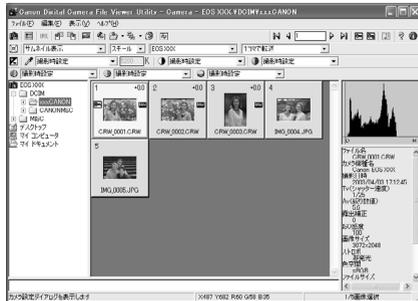
EOS DIGITAL SOLUTION DISK

ファイルビューワーユーティリティ
File Viewer Utility

Windows

Macintosh

- RAW画像撮影が主で、本格的な画像処理をされる方におすすめします。
- カメラ内のCFカードに保存されている撮影画像の一覧や個別画像の一枚表示、RAW画像の表示や現像、コンピューターへの画像取り込み、レタッチソフトへの転送ができます。
- 画像の回転、プロテクト、保存、削除、インデックス印刷ができます。
- コンピューターに保存したRAW画像の表示や現像ができます。



ズームブラウザー イーエックス フォトレコード
ZoomBrowser EX/PhotoRecord

Windows

イメージブラウザー
ImageBrowser

Macintosh

- JPEG画像撮影が主で、簡単な操作で画像の一覧や個別画像の一枚表示、コンピューターへの画像取り込み、さまざまなレイアウトを行った印刷をされる方におすすめします。
- 画像の加工や画像の管理・整理が簡単にできます。
- 印刷レイアウトソフト・PhotoRecordと連携し、印刷画像のサイズ設定、配置、複数画像の自動レイアウト、フレームや背景の選択、タイトルや説明文の入力などを行った印刷が簡単にできます。
- メールソフトと連携し、画像を電子メールに添付して送ることができます。
- ブラウザーソフトを起動し、「CANON IMAGE GATEWAY」（インターネット上のオンラインフォトサービス）へ簡単な操作で画像を登録することができます。

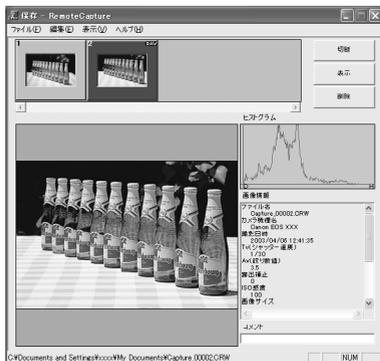
リモートキャプチャー

RemoteCapture

Windows

Macintosh

- カメラをコンピューターから制御して1コマ撮影、タイマー撮影、インターバルタイマー撮影ができます。
- 撮影画像をコンピューターに直接、取り込むこともできます。



ダブルユーアイエードライバー

WIA Driver

Windows

- WIA Driverは、カメラとコンピューターの通信を制御するソフトウェアです。
- Windows XP、Meで、File Viewer Utility、ZoomBrowser EX、RemoteCaptureを使用するときは、必ずインストールしてください。
- WIA Driverを単体で使用したときは、[スキャナとカメラ ウィザード] やエクスプローラ上で、簡単にJPEG画像が取り込めます。

トゥエイン ドライバー

TWAIN Driver

Windows

- TWAIN Driverは、カメラとコンピューターの通信を制御するソフトウェアです。
- Windows 2000、98 SEで、File Viewer Utility、ZoomBrowser EX、RemoteCaptureを使用するときは、必ずインストールしてください。
- TWAIN Driverを単体で使用したときは、カメラ内のCFカードに保存されているJPEG画像の表示や、TWAIN Driver対応ソフトウェアへ転送できます。

フォトスティッチ

PhotoStitch

Windows

Macintosh

- 撮影した複数の画像を自動的に合成して、パノラマ写真などが簡単に作成できます。

PTPについて

ピーティーピー ピクチャ トランスファー プロトコル
P T P (Picture Transfer Protocol) とは、画像転送の標準プロトコルです。デジタルカメラの画像をコンピューターへ、簡単に取り込むことができます。

ご使用のカメラは、このPTPに対応しています。Windows XP、Mac OS Xをお使いのときは、EOS DIGITAL SOLUTION DISKのソフトウェアを起動しなくても、カメラとコンピューターを接続するだけで、【スキャナとカメラ ウィザード】(Windows XP) や 【イメージキャプチャ】(Mac OS X) から、簡単にJPEG画像を取り込むことができます。

アドビ フォトショッ プ エレメンツ 2.0 ディスク ■ Adobe Photoshop Elements 2.0 DISK

Photoshop Elements 2.0

- 高度な画像処理機能を備えた、本格的なレタッチソフトです。

ZoomBrowser EX/ImageBrowser ソフトウェアガイドについて

ZoomBrowser EXやImageBrowserには、さらに詳しい機能や使いかたを説明したPDF形式のマニュアルが、キャノンのホームページに用意されています。ご覧になるには、インターネットブラウザを使って、下記のサイトにアクセスしてください。

<http://canon.jp/support/>

- PDF形式のマニュアルをご覧になるには、Adobe Acrobat Readerが必要です。お使いのコンピューターにAdobe Acrobat Readerがインストールされていないときは、別途Adobe Acrobat Readerをご用意ください。

ソフトウェア動作環境

付属のソフトウェアは、次の動作環境に対応しています。

Windowsでの動作環境

OS (オーエス)	Windows XP (Home Edition / Professional)、 Windows Me、Windows 2000、Windows 98 SE
機種	上記の日本語版OSがプリインストールされていて、 USB接続部を標準装備したコンピューター * NEC PC9800/9821シリーズおよび、 アップグレード機は非対応
CPU (シーピーユー)	Windows XP : Pentium 300MHz以上 Windows Me、2000、98 SE : Pentium 150MHz以上
RAM (ラム)	Windows XP : 256MB以上必要 Windows Me、2000、98 SE : 128MB以上必要
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	File Viewer Utility : 100MB以上、 RemoteCapture : 20MB以上、WIA Driver : 25MB以上、 TWAIN Driver : 25MB以上、 ZoomBrowser EX (PhotoRecord 含む) : 120MB以上、 PhotoStitch : 40MB以上、 Adobe Photoshop Elements 2.0 : 350MB以上
ディスプレイ	800×600ドット High Color (16ビット) 以上必要 1024×768ドット True Color (32ビット) 以上推奨

- Windows 98では、ご使用になるコンピューターの環境により、正しく動作しないことがあります。Windows 98 SE以降のOSをご使用ください。
- ソフトウェアをインストールするために、CD-ROMドライブが必要です。

Macintoshでの動作環境

OS (オーエス)	Mac OS X (バージョン10.2推奨)、 Mac OS 9.0～9.2 (Mac OS 9.2推奨)
機種	上記の日本語版OSがインストールされていて、 USB接続部を標準装備したMacintoshコンピューター * 初代iMacをお使いのときはファームウェアのアップデート が必要です
CPU (シーピーユー)	Power PC
RAM (ラム)	Mac OS X : 256MB以上必要、 Mac OS 9.0～9.2 : 128MB以上必要
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	File Viewer Utility : 100MB以上、 RemoteCapture : 15MB以上、ImageBrowser : 50MB以上、 PhotoStitch : 30MB以上、 Adobe Photoshop Elements 2.0 : 400MB以上
ディスプレイ	800×600ドット 32,000色以上必要、 1024×768ドット以上推奨

- Mac OS XでUFS (Unix File System) フォーマットされたディスクには対応していません。
- ソフトウェアをインストールするために、CD-ROMドライブが必要です。

Windows

各OSの操作方法が共通のときは、Windows XPを使用したときの画面を例に説明しています。

1 コンピューターにソフトウェアをインストールするW-3

Windowsにソフトウェアをインストールする.....	W-4
Photoshop Elements 2.0のインストール.....	W-8

2 画像操作の準備をするW-9

通信モードを設定する.....	W-10
カメラとコンピューターを接続する...	W-11
CFカードをカードリーダーに差し込む.....	W-13
CFカードのフォルダ構造とファイル名について.....	W-13
Windows XPのPTP機能でJPEG画像を取り込む.....	W-14

3 File Viewer Utilityで撮影画像を操作するW-15

File Viewer Utilityを起動する.....	W-16
画像を表示する.....	W-20
画像を選ぶ.....	W-21
マウスで画像を選ぶ.....	W-21
コントロールパネルで画像を選ぶ.....	W-21
機種依存処理モードを選ぶ.....	W-22
画像の表示方法を選ぶ.....	W-23
表示モードを選ぶ.....	W-23
表示サイズを選ぶ.....	W-24
AFフレームの確認.....	W-24
サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にする.....	W-25
メインウィンドウの表示を最新の状態にする.....	W-25
画像情報を表示／非表示にする.....	W-25
選んだ画像に関する操作.....	W-26
画像にプロテクトをかける.....	W-26
画像を条件で選ぶ.....	W-26
画像を回転する.....	W-27
画像を消去する.....	W-27
画像情報の確認とコメント入力.....	W-28
画像を印刷する.....	W-28

RAW画像を現像する.....	W-29
RAW画像の現像条件を変更する...	W-29
明るさを補正する (デジタル露出補正).....	W-30
ホワイトバランスを調整する.....	W-31
画像の色を調整する.....	W-34
シャープネスを調整する.....	W-35
色空間を設定する.....	W-35
RAW画像の現像条件をコピーする	W-35
画像を保存する.....	W-36
画像をカメラからコンピューターに 保存する.....	W-36
RAW画像からJPEG画像を抽出する	W-38
画像をインデックスファイルとして 保存する.....	W-40
レタッチソフトに画像を送る.....	W-42
画像転送の設定をする.....	W-42
画像を転送する.....	W-43
環境設定をする.....	W-44
カメラ設定をする.....	W-46

4 コンピューターから カメラを操作する.....W-49

RemoteCaptureを起動する.....	W-50
RemoteCaptureを操作する.....	W-52
コンピューターから撮影する.....	W-52
タイマー撮影.....	W-53
インターバルタイマー撮影.....	W-54
撮影設定値を確認する.....	W-54
画像を印刷する.....	W-54
RemoteCaptureを設定する.....	W-55
初期設定.....	W-55
詳細設定.....	W-57

5 JPEG画像を取り込む.....W-59

WIA Driverで画像を取り込む.....	W-60
スキャナとカメラ ウィザードを使う	W-60
Windowsエクスプローラーを使う	W-62
WIA TWAINを使う.....	W-63
TWAIN Driverで画像を取り込む.....	W-64

6 ZoomBrowser EXで 撮影画像を操作する.....W-65

ZoomBrowser EXを起動する.....	W-66
イベント画面から起動する.....	W-66
アイコンから起動する.....	W-67
画像を取り込み保存する.....	W-69
PhotoRecordで画像を印刷する.....	W-71
画像を印刷する.....	W-71
画質を調整して印刷する (Exif 2.2対応).....	W-75
画像をメールに添付して送付する.....	W-76
RAW画像の現像と画像合成.....	W-78
ZoomBrowser EXでRAW画像を 現像する.....	W-78
PhotoStitchで画像を合成する.....	W-78

7 トラブルシューティングと アンインストール.....W-79

トラブルシューティング.....	W-80
アンインストール.....	W-83
ソフトウェアをアンインストール(削除) する.....	W-83
Driverをアンインストールする	W-84
Photoshop Elements 2.0を アンインストールする.....	W-92
索引.....	W-93

1

コンピューターにソフトウェアを インストールする

この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

Windowsにソフトウェアをインストールする

- ご使用のコンピューターが、SOLUTION DISKのソフトウェア動作環境（A-8）に対応していることを確認されたあと、手順通りにインストールしてください。
- Photoshop Elements のインストール方法は、（W-8）を参照してください。

正しいインストール手順

- ソフトウェアのインストールは、必ず以下の手順通りに行います。

- 1 コンピューターを起動する
- 2~11 ソフトウェアをインストールする

- インストールする前に、カメラとコンピューターを絶対に接続しないでください。インストールが正しく行われません。
- カメラとコンピューターの接続は、手順14で初めて行います。

- 12 CDを取り出す
- 13 カメラの通信設定を確認する
- 14~15 インストールを完了する

- カメラとコンピューターを接続すると、インストールが完了します。

- 手順通りにインストールができなかったときは、「インストールがうまくいかなかったときは」（W-7）を参照してください。
- ソフトウェアをインストールする前に、カメラとコンピューターを接続してしまったときは、「トラブルシューティング」（W-82）を参照してください。

1 コンピューターを起動する

- 使用中のソフトウェアをすべて終了してください。

2 CD（EOS DIGITAL SOLUTION DISK）を入れる

- ➔ インストーラーパネルが表示されます。

インストーラーパネルが表示されないときは

- **【スタート】** ボタン ▶ **【マイ コンピュータ】** の順にクリック（他のWindowsでは、デスクトップの **【マイ コンピュータ】** をダブルクリック）し、CDを入れたCD-ROMドライブを右クリックして、表示されるメニューから **【開く】** を選んだあと、**【Setup】** アイコンをダブルクリックします。



SETUP

3 【デジタルカメラソフトウェアのインストール】 をクリックする

- ➔ 【インストールの準備をしています。】画面が表示され、しばらくすると、【Solution Disk InstallShieldウィザードへようこそ】画面が表示されます。



4 【次へ】 ボタンを押す

5 契約書の内容を確認する

- 内容を確認して同意するときは、【はい】 ボタンを押します。

6 インストール先を確認する

- 内容を確認して【次へ】 ボタンを押します。

7 インストールするソフトウェアを確認する

- インストールするソフトウェアに、が入っていることを確認して、【次へ】 ボタンを押します。



File Viewer Utility、ZoomBrowser EX、RemoteCaptureを使用するときは、ご使用のWindowsにより表示される以下のDriverを、必ず一緒にインストールしてください。

- ・ Windows XP、Me : 【Canon Camera WIA Driver】
- ・ Windows 2000、98 SE : 【Canon Camera TWAIN Driver】

8 【EOS Kiss/REBEL/300D】 に を入れる

- 【EOS Kiss/REBEL/300D】 の をクリックして、 になれば、【次へ】 ボタンを押します。

9 インストールの内容を確認する

- 内容を確認して【次へ】 ボタンを押します。
- ➔ インストールがはじまります。
- インストールにかかる時間は、ご使用のコンピューターにより異なりますが、目安として約2~4分程度です。

10 【OK】 ボタンを押す

- 【Canon Solution Disk セットアップは……】 の表示内容を確認して【OK】 ボタンを押します。

11 コンピューターを再起動する

- [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] に、●が入っていることを確認して、[完了] ボタンを押します。

🔊 再起動する前にCDを取り出さないでください。CDの取り出しは、手順12で行います。

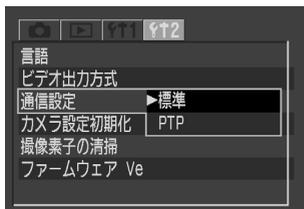
12 CDを取り出す

➔ コンピューターが再起動したら、CDを取り出します。

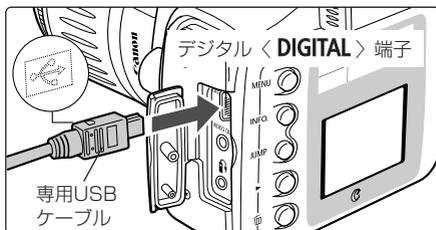
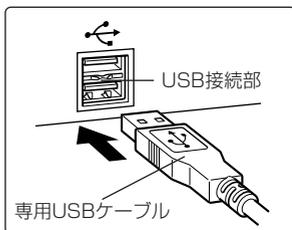
- インストーラーパネルが表示されたときは、[終了] をクリックしてインストーラーパネルを終了してから、CDを取り出します。

13 カメラの通信設定を確認する

- カメラの電源スイッチを〈ON〉にして、メニュー〈**F12**〉の [通信設定] が [標準] に設定されているか確認します。
- 終わったら、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にします。



14 カメラとコンピューターを接続する



15 カメラの電源スイッチを〈ON〉にしてインストールを完了する

➔ カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると、[新しいハードウェアが見つかりました] が表示され、表示が自動的に消えると、インストール完了です。

🔊 [新しいハードウェアが見つかりました] の表示が自動的に消えるまで、絶対にカメラの電源スイッチを〈OFF〉にしないでください。

- [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) や [スキャナとカメラ ウィザード] が表示されたときは、[キャンセル] ボタンを押して表示された画面をすべて終了します。
- コンピューターの再起動を求める画面が表示されたときは、コンピューターを再起動します。

Windows 2000、Me、98 SEをお使いのときは

- カメラの電源スイッチを〈ON〉にしたときに、ご使用のWindowsやコンピュータ環境により、**【新しいハードウェアが見つかりました】**、**【ドライバ情報データベースの作成】**などが表示されることがあります。そのときは、表示が自動的に消えるといインストール完了です。



① **【新しいハードウェアが見つかりました】**、**【ドライバ情報データベースの作成】**が表示されたときは、表示が自動的に消えるまで、絶対にカメラの電源スイッチを〈OFF〉にしないでください。

- **【EOS Kiss REBEL 300D】** 画面（イベント画面）や **【スキャナとカメラ ウィザード】** が表示されたときは、**【キャンセル】** ボタンを押して表示された画面をすべて終了します。
- コンピューターの再起動を求める画面が表示されたときは、コンピューターを再起動します。

インストールがうまくいかなかったときは

インストールがうまくいかないときは、以下の項目を確認してください。また、確認中に**【新しいハードウェアの追加（Windows 2000では検出）ウィザード】**が表示されたときは、**【キャンセル】** ボタンを押して終了し、いったんカメラとコンピューターの接続を外してください。そのあと、インストールをやりなおしてください。

(1) お使いのコンピューターは、以下に該当していますか？

- USB接続部を標準装備したWindows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SEの日本語版プリインストール機。(A-8)

(2) カメラは正しく接続されていますか？

- 接続方法は手順13、14を参照してください。

(3) カメラとコンピューターが通信できる状態になっていますか？

- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。
- カメラの通信設定が**【標準】**に設定されているか確認してください。設定方法は手順12を参照してください。
- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっていても、オートパワーオフが働くと、自動的に電源が切れます。オートパワーオフを**【切】**にしてください。(付属のカメラ使用説明書「メニュー機能一覧」を参照してください)

(4) カメラのバッテリー残量は十分ですか？

- カメラとコンピューターを接続するときは、バッテリー残量を気にせずにカメラを使うことができる、DCカプラーキット（別売）の使用をおすすめします。

上記の項目に問題がないのに、インストールがうまくいかなかったときは、「トラブルシューティング」(W-80)を参照するか、「アンインストール」(W-83)を行い、もう一度最初からインストールをやりなおしてください。

Photoshop Elements 2.0のインストール

- Photoshop Elements 2.0は、インストール時にシリアル番号を入力しないとインストールできません。シリアル番号は、Photoshop Elements 2.0のCD-ROMケースに貼り付けられています。
- シリアル番号を無くすと、インストールできなくなりますので、無くさないよう以下の空欄に書き写すか、CD-ROMケースからシールを剥がして貼り付けてください。



1 Adobe Photoshop Elements 2.0 CD-ROMを、CD-ROMドライブに入れる

→ インストール画面が自動的に表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、**【スタート】** ボタン ▶ **【マイ コンピュータ】** の順にクリック（他のWindowsでは、デスクトップの **【マイ コンピュータ】** をダブルクリック）して開き、Adobe Photoshop Elements 2.0 CD-ROMを入れたCD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから **【開く】** を選んだあと、**【Autoplay】** アイコンをダブルクリックします。

2 **【次へ】** ボタンをクリックする

3 エンドユーザ使用許諾契約書の内容をすべて読み、同意するときは **【承諾する】** ボタンを押す

4 **【インストール】** ボタンが選ばれていることを確認し、**【Adobe(R) Photoshop(R) Elements 2.0】** ボタンを押す

5 表示される画面内容にしたがって、インストールをすすめる



Photoshop Elements 2.0の詳しいインストール方法については、Photoshop Elements 2.0 CD-ROM内の **【How_to_Install Read Me】** ファイルを参照してください。**【How_to_Install Read Me】** ファイルは、**【スタート】** ボタン ▶ **【マイ コンピュータ】** の順にクリック（他のWindowsでは、デスクトップの **【マイ コンピュータ】** をダブルクリック）して開き、Adobe Photoshop Elements 2.0 CD-ROMを入れたCD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから **【開く】** を選ぶと表示されます。



画像操作の準備をする

この章では、通信モードの設定やカメラとコンピューターの接続方法、カードリーダー（市販品）の使いかたについて説明します。

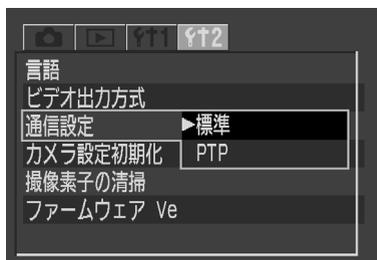
通信モードを設定する

SOLUTION DISKのソフトウェアを使用して、カメラとの通信を行うには、カメラの通信モードを【標準】に設定します。

- 通信モードを【PTP】に設定すると、SOLUTION DISKのソフトウェアとカメラの通信はできません。ソフトウェアを使用するときは、必ず、通信モードを【標準】に設定してください。

1 カメラとコンピューターが接続されていないことを確認し、電源スイッチを〈ON〉にする

2 メニュー〈fT2〉の【通信設定】を【標準】に設定する



3 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、電源スイッチを〈OFF〉にする

- 通信モードを設定するときは、必ずカメラとコンピューターが接続されていない状態で行ってください。カメラとコンピューターを接続した状態で通信モードを設定すると、カメラやソフトウェアが誤動作します。

PTP設定について

PTP機能は、Windows XPをお使いの方のみ使用することができます。この機能を使うと簡単にJPEG画像をコンピューターへ取り込むことができます。また、この機能を使うには、上記の手順2で、【通信設定】を【PTP】に設定します。

- PTP機能を使ったJPEG画像の取り込みかたについては、「Windows XPのPTP機能でJPEG画像を取り込む」(W-14)を参照してください。

カメラとコンピューターを接続する

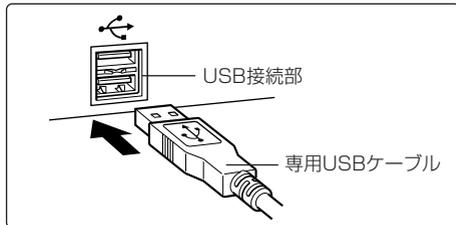
カメラとコンピューターを付属の専用USBケーブルで接続し、通信可能な状態にします。接続はコンピューターを起動した状態で行うことができます。

- カメラとコンピューターを接続するときは、必ず本ページの操作手順で行ってください。
- カメラとコンピューターを接続して、SOLUTION DISKからインストールしたソフトウェアを起動しているときに以下の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
 - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
 - ・CFカードスロットカバーを開ける
 - ・専用USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取り出す
 - ・DCカプラー（別売）を取り外したり、ACアダプター（別売）のプラグや電源コードを抜く

上記の操作を行うときは、必ず使用中のソフトウェアを終了してから行ってください。

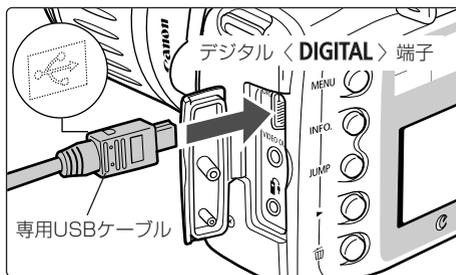
1 専用USBケーブルのプラグをコンピューターに接続する

- コンピューターのUSB接続部にプラグを差し込みます。
- ご使用のコンピューターにより接続部の位置は異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの使用説明書を参照してください。



2 専用USBケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、プラグの〈〉をカメラの前面に向け、デジタル〈DIGITAL〉端子に差し込みます。



3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

- ➔ カメラが通信可能な状態になり、[EOS Kiss REBEL 300D] 画面（イベント画面）や、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。
- ZoomBrowserEXをお使いになる方は、そのまま、「6章 ZoomBrowserEXで撮影画像を操作する」を参照してください。
- ZoomBrowserEX以外のソフトウェアをお使いになる方は、[キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了したあと、ご使用になるソフトウェアの章を参照し、操作してください。

- カメラとコンピューターの接続には、専用USBケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- 専用USBケーブルで、カメラとコンピューター本体とを直接、接続してください。ハブを介しての接続や複数のUSB機器を接続すると、正しく動作しないことがあります。
- USBマウス、USBキーボードを除く、他のUSB機器と同時に動作させると、正しく動作しないことがあります。そのようなときには、他のUSB機器をコンピューターから外して、再度接続してください。
- 1台のコンピューターにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラとコンピューターが通信しているときは、カメラの表示パネルが点滅したり、液晶モニターを使用すると、モニターがちらつくことがあります。故障ではありません。
- 専用USBケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。
- カメラとコンピューターを接続したまま何も操作を行わないと、ご使用のコンピューター環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとコンピューターを接続している状態で、コンピューターをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。
万一、カメラとコンピューターを接続している状態で、コンピューターをスタンバイ（スリープ）状態にしてしまったときは、専用USBケーブルはコンピューターから抜かず、必ず、接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用USBケーブルを抜くと、コンピューターの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、お使いのコンピューターの使用説明書を参照してください。

 カメラとコンピューターを接続するときは、バッテリー残量を気にせずにカメラを使うことができる、DCカブラーキット（別売）の使用をおすすめします。

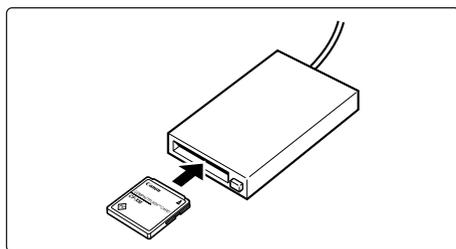
画像のバックアップ（コピー）について

- 撮影した画像は、EOS DIGITAL SOLUTION DISKのソフトウェアで操作する前に、コンピューターのハードディスクなどへバックアップ（コピー）しておくことをおすすめします。

CFカードをカードリーダーに差し込む

市販のカードリーダーをお持ちの方は、CFカードから直接コンピューターへ画像を取り込むことができます。

- 1 カメラからCFカードを取り出す
- 2 CFカードをカードリーダーに差し込む



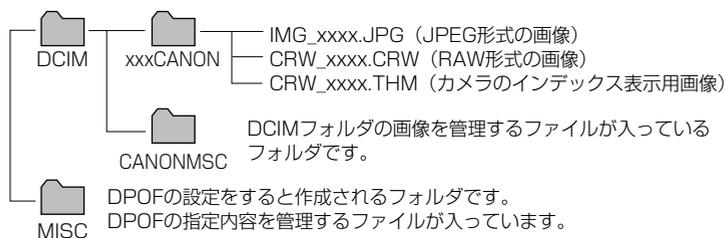
- 3 ソフトウェアを起動して画像を取り込む



カードリーダーとコンピューターの接続方法については、ご使用のカードリーダーの使用説明書を参照してください。

CFカードのフォルダ構造とファイル名について

撮影画像は、CFカード内の【DCIM】フォルダの中の【xxxCANON】フォルダ（xxxには100～999の数字が入ります）に保存されています。



- xxxxには数字が入ります。

Windows XPのPTP機能でJPEG画像を取り込む

Windows XPをお使いの方は、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使うことができます。PTP機能を使うと、SOLUTION DISKのソフトウェアを起動することなく、カメラ内のCFカードに保存されたJPEG画像をコンピューターへ取り込むことができます。

1 カメラの通信モードを【PTP】に設定する（W-10）

- メニュー〈Y12〉の【通信設定】を【PTP】に設定します。
- 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消します。
- 終わったらカメラの電源スイッチを〈OFF〉にします。



2 カメラとコンピューターを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする（W-11）

- ➔ 【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。



3 【スキャナとカメラ ウィザード】の表示内容にしたがって画像を取り込む

- 【スキャナとカメラ ウィザード】でJPEG画像を取り込む方法については、「スキャナとカメラ ウィザードを使う」（W-60）、手順2以降を参照してください。

File Viewer Utilityで 撮影画像を操作する

この章では、File Viewer Utilityを使って、カメラ内のCFカードに保存されている撮影画像の表示や保存、RAW画像の現像処理や各種の画像処理、レタッチソフトへの画像転送について説明します。

- File Viewer Utilityの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme : **【スタート】** ボタンを押して **【すべてのプログラム】** (他のWindowsでは **【プログラム】**) ▶ **【Canon Utilities】** ▶ **【FileViewerUtility xx】** (xxはバージョン) ▶ **【FileViewerUtilityReadme】** の順に選んで表示します。

ヘルプ : File Viewer Utilityメインウィンドウの **【ヘルプ】** ボタンから表示します。

File Viewer Utilityを起動する

1 カメラとコンピューターを接続する (W-11)

➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) や、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。

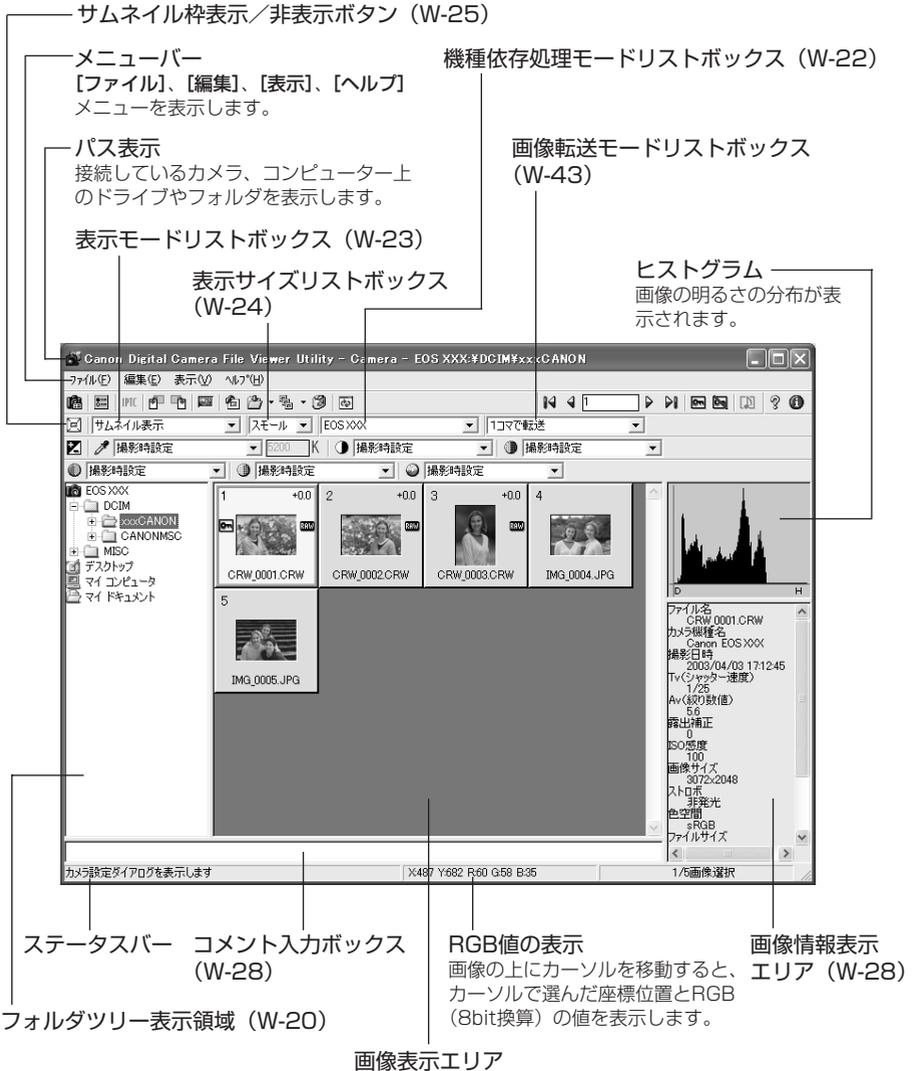
- [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 [スタート] ボタンを押して [すべてのプログラム] (他のWindowsでは [プログラム]) ▶ [Canon Utilities] ▶

[FileViewerUtility xx] ▶ [FileViewerUtility] を選ぶ

- デスクトップの [FileViewerUtility] アイコンをダブルクリックして起動することもできます。
 - xxには、File Viewer Utilityのバージョンが表示されます。
- ➔ File Viewer Utilityメインウィンドウが表示されます。

File Viewer Utilityメインウィンドウ



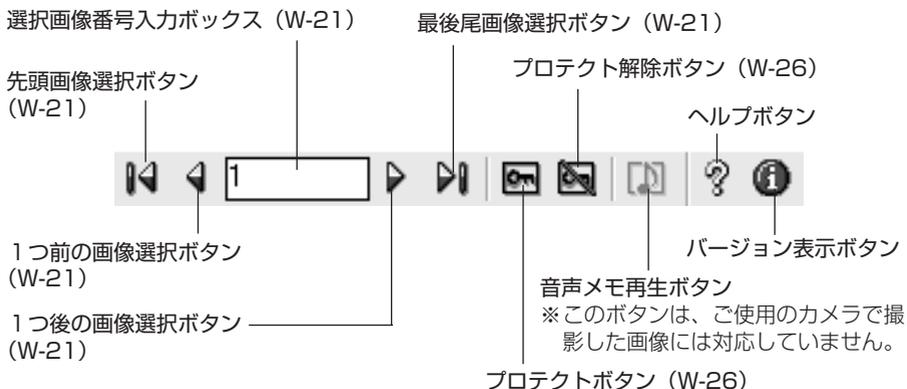
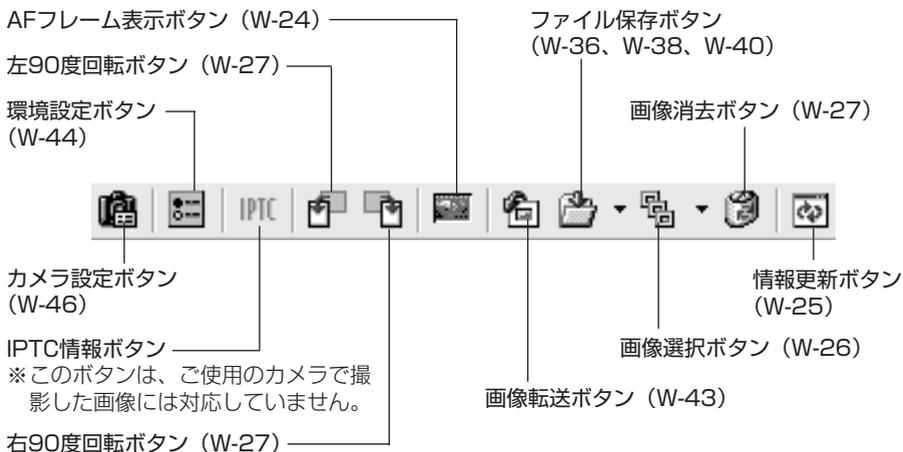
W

3

File Viewer Utilityで撮影画像を操作する

※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- File Viewer Utilityの終了は、メニューバーの【ファイル】メニューから【終了】を選びます。

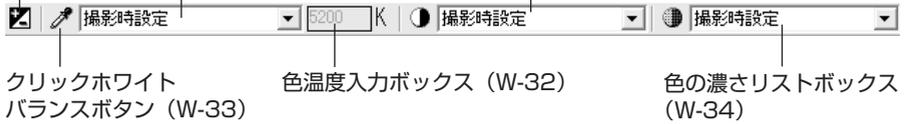


※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

デジタル露出補正ボタン (W-30)

ホワイトバランスリストボックス (W-31、W-32)

コントラストリストボックス (W-34)



色あいリストボックス (W-34)

シャープネスリストボックス (W-35)



※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

画像を表示する

カメラ内のCFカードやコンピューターに保存されている撮影画像を表示します。

RAW画像は、カメラで設定した現像処理条件にしたがって現像が行われ表示されます。

CFカードに保存されている撮影画像は、CFカードをカメラに入れたまま、専用のUSBケーブルを経由して表示することができます。また、市販のカードリーダーを使用して、CFカードに保存されている撮影画像を表示することもできます。

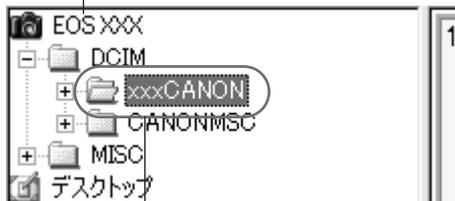
ここでは、カメラ内のCFカードに入っている撮影画像を表示する手順について説明します。

表示したい撮影画像の入っているフォルダを選ぶ

- フォルダツリー表示領域で [EOS Kiss Digital] をダブルクリックし、[DCIM] フォルダの左にある [+] ▶ [100CANON] フォルダの順にクリックします。

- ➔ 選んだフォルダ内にある撮影画像が表示されます。

ご使用のカメラ機種名が表示されます。



100～999までの数字が表示されます。

- 撮影したあとにコンピューターで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
- フォルダの削除を行うと、フォルダ内のすべての画像が消去されます。一度消去した画像は復元できません。十分に確認してから削除してください。

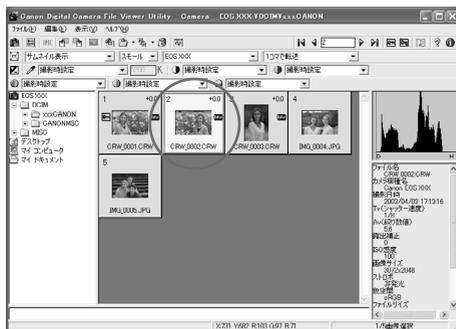
- File Viewer Utilityが表示できるのは以下の画像です。
 - ・ キヤノン製デジタルカメラで撮影されたJPEG画像
 - ・ キヤノン製デジタルカメラで撮影されたRAW画像
 - ・ File Viewer Utilityで保存したTIFF、JPEG画像 (W-36)※ File Viewer Utilityで表示できない画像は、【?】が表示されます。
- 市販のカードリーダーを使い、カードリーダー内のCFカードや、コンピューターに保存されている撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをクリックして表示します。
- 「縦横自動回転表示」を設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で画像が表示されます。
- 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。
- フォルダツリー表示領域内のフォルダを他のフォルダへドラッグ アンド ドロップすると、フォルダをコピーまたは移動することができます。また、フォルダ上で右クリックして表示されるメニューでは、フォルダの作成や削除、フォルダ名の変更などを行うことができます。

画像を選ぶ

マウスで画像を選ぶ

マウスカーソルを画像に合わせてクリックする

- 複数の画像を選びたいときは、**<Ctrl>** キーを押したまま画像をクリックします。
 - 連続した画像を選びたいときは、最初の画像をクリックしたあと、**<Shift>** キーを押したまま最後の画像をクリックします。
- ➔ 選んだ画像の枠に色が付きます。



キーボードを使って画像を選ぶときは、矢印キー（↑←→↓）を使って画像を選びます。

コントロールパネルで画像を選ぶ

ボタンを操作、または数値を入力する



【先頭画像選択】 ボタン
表示している先頭の画像を選びます。

【1つ前の画像選択】 ボタン
選んでいる画像の1つ前の画像を選びます。

【選択画像番号】 入力ボックス
入力した番号の画像を選びます。1から99999まで入力できます。
番号を入力して **<Enter>** キーを押します。

【最後尾画像選択】 ボタン
表示している最後尾の画像を選びます。

【1つ後の画像選択】 ボタン
選んでいる画像の1つ後の画像を選びます。

機種依存処理モードを選ぶ

撮影したRAW画像の現像処理を確認、変更するためのRAW画像処理ツールバーを表示します。
【機種依存処理モード】リストボックスで、画像を撮影したカメラの機種（機種依存処理モード）を選ぶと、撮影されたRAW画像の現像処理を確認、変更することができます。

【機種依存処理モード】リストボックスから機種依存処理モードを選ぶ



【共通処理】

RAW画像処理ツールバーが非表示となり、RAW画像の現像処理内容の変更を行うことはできません。

【EOS Kiss Digital】

RAW画像処理ツールバーが表示されます。RAW画像を選ぶと現像処理の確認と変更をすることができます。ただし、JPEG画像を選んだときは、RAW画像処理ツールバーはグレー表示になり、使用することはできません。



ご使用のカメラ以外のキヤノン製カメラで撮影した画像が、接続しているカメラ内のCFカードや選んだフォルダ内に保存されているときは、【機種依存処理モード】リストボックスに画像を撮影したカメラの機種依存処理モードが自動的に追加されます。



- RAW画像の現像条件の変更については、「RAW画像の現像条件を変更する」(W-29)を参照してください。
- 【機種依存処理モード】リストボックスで他のカメラを選んだときは、各カメラで設定可能なRAW画像処理ツールバーが表示されます。

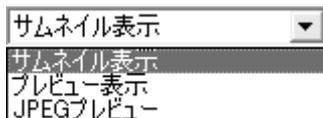
画像の表示方法を選ぶ

画像を表示するときのモードやサイズを選ぶことができます。また、AFフレームを表示したり、サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にすることもできます。

表示モードを選ぶ

【表示モード】 リストボックスから **【サムネイル表示】**、**【プレビュー表示】**、**【JPEGプレビュー】** のいずれかを選ぶ

➔ 選んだ表示モードで画像が表示されます。



■ 【サムネイル表示】

複数の画像を並べて表示します。また、画像には次の情報が表示されます。

表示番号

表示中の画像に対して、先頭画像から順に番号が付き
ます。

プロテクトマーク
(W-26)

プロテクトをかけた画像に
表示されます。



デジタル露出補正值
(W-30)

記録形式

RAW画像には **【RAW】** マーク
が表示されます。JPEG画像に
は、マークは表示されません。

ファイル名または撮影日時

【環境設定】 画面、**【一般設定】** タブ画面の **【画像下部の表示項目】** リストボックス (W-44) で選んだ項目が表示
されます。

■ 【プレビュー表示】

RAW画像ではRAW画像を、JPEG画像ではJPEG画像を1コマ表示します。

■ 【JPEGプレビュー】

RAW画像では、RAW画像内に同時記録されたJPEG画像 (Middle/Fine) を1コマ表示します。
JPEG画像では、**【プレビュー表示】** 同様、1コマ表示します。

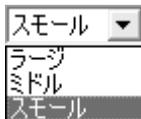


- File Viewer Utility起動時は、常にサムネイル表示となります。
- サムネイル表示されている画像をダブルクリックすると、プレビュー表示されます。
- ご使用のカメラで撮影したRAW画像には、JPEG画像 (Middle/Fine) が同時に記録されています。RAW画像を選んで **【JPEGプレビュー】** を選ぶと、RAW画像内のJPEG画像 (Middle/Fine) が表示されます。

表示サイズを選ぶ

【表示サイズ】 リストボックスから **【ラージ】**、**【ミドル】**、**【スモール】** のいずれかを選ぶ

→ 選んだ表示サイズで画像が表示されます。



 プレビュー表示では、**【ラージ】** 100% (ピクセル等倍)、**【ミドル】** 50%、**【スモール】** 25%で表示します。

AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

1 **【表示モード】** リストボックスから **【プレビュー表示】** または、**【JPEGプレビュー】** を選ぶ (W-23)

2 **【AFフレーム表示】** ボタンを押す

→ 撮影時に使用したAFフレームが表示されます。

● 再度ボタンを押すと非表示になります。



 ワンショットAF撮影の画像では、ピントの合ったAFフレームを表示します。なお、AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にする

サムネイル画像の枠に表示される情報（W-23）を非表示にして、表示する画像のコマ数を増やします。

1 【表示モード】 リストボックスから【サムネイル表示】を選ぶ
(W-23)

2 【サムネイル枠表示／非表示】 ボタンを押す



- ➔ サムネイル画像の情報表示枠が非表示になります。
- 再度ボタンを押すとサムネイル画像の情報表示枠が表示されます。

メインウィンドウの表示を最新の状態にする

フォルダ内の画像をメインウィンドウに表示しているときに、フォルダツリー表示領域で、表示中のフォルダ内容を変更（画像のコピーや削除）したときなど、選んでいるフォルダの内容とメインウィンドウの表示内容が違ってしまふことがあります。そのようなときに、変更されたフォルダ内容にあわせてメインウィンドウの表示を更新します。

【情報更新】 ボタンを押す

- ➔ メインウィンドウの表示が最新の状態に更新されます。



画像情報を表示／非表示にする

ヒストグラムと画像情報表示エリアを非表示にして、表示する画像のコマ数を増やします。

【表示】 メニュー ▶ 【情報表示エリア】 ▶ 【表示しない】 を選ぶ

- ➔ ヒストグラムと画像情報表示エリアが非表示になります。
- 【表示】 メニュー ▶ 【情報表示エリア】 ▶ 【表示する】 を選ぶとヒストグラムと画像情報表示エリアが表示されます。

選んだ画像に関する操作

画像にプロテクトをかける

大切な画像を間違っって消さないように、プロテクトをかけることができます。

【プロテクト】 ボタンを押す



➔ プロテクトが設定され、画像の情報表示枠に **【🔒】** が表示されます。

- **【プロテクト解除】** ボタンを押すと画像の情報表示枠から **【🔒】** が消え、設定が解除されます。



- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像にプロテクトがかけられます。
- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的に **【🔒】** が表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する処理は行うことができます。
- 一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

【画像選択】 ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

➔ 条件をみたま画像のみ選ばれます。



全てを選択
プロテクトされている画像を全て選択
プロテクトされていない画像を全て選択
選択解除

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

画像を回転させる

- 右に回転させるときは【右90度回転】ボタンを押します。
 - 左に回転させるときは【左90度回転】ボタンを押します。
- 画像が選んだ方向に90度回転します。



- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が回転します。
- 「縦横自動回転表示」を設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で画像が表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- 一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像を消去する

CFカードやコンピューターの中から不要な画像を消去することができます。

1

【画像消去】ボタンを押す

- 消去を確認する画面が表示されます。



2

【OK】ボタンを押す

- 画像が消去されます。



- 一度消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト (W-26) をかけてください。
- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が消去の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。



- 一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像には撮影時の情報が記録されています。画像を選ぶと、その情報を確認することができます。また、撮影情報をコピーして他のソフトウェアに貼り付けたり、コメントを入力することができます。

画像情報表示エリア

- ファイル名、カメラ機種名、撮影データなどの情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- 複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへ貼り付けることができます。



コメント入力ボックス

半角英数字で120文字（全角60文字）まで入力することができます。コメントを入力し、〈Enter〉キーを押します。



Adobe RGBで撮影されたときは

Adobe RGBで撮影した画像をレタッチソフトに転送して表示するときは、Adobe RGBに対応したレタッチソフトを使用し、RGBの設定を「Adobe RGB」にして表示してください。

画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

1 インデックス印刷したい画像を選ぶ (W-21)

2 【ファイル】メニューから【インデックス印刷】を選ぶ → 印刷が開始されます。



プリンターの各種設定を行うときは、【ファイル】メニューから【用紙設定】を選んでください。

RAW画像を現像する

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、コンピューターに表示されます。

- RAW画像の現像処理は次の操作を行ったときに行われます。
 - ・ サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき
 - ・ プレビュー表示および、サムネイル表示状態で、各種の現像処理設定を変更したとき
 - ・ TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
 - ・ TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
- ※ リニア処理や偽色緩和は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときのみ設定できる現像処理です。（W-45）

● 現像時間の目安

現像条件		現像時間
カメラ内のCFカードに保存されているRAW画像を現像処理したとき	サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき	約35秒
	TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき	約49秒
コンピューターのハードディスク上に保存されているRAW画像を現像処理したとき	サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき	約8秒
	TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき	約22秒

- ・ 現像時間はあくまでも目安です。ご使用のコンピューター環境や画像により、現像時間は大きく異なります。
- ・ 現像時間は、当社試験基準によります。
（OS：Windows XP／CPU：Pentium 4 2.2GHz／RAM：256MB使用時）
- ・ レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフトの起動時間を含んでいます。

RAW画像の現像条件を変更する

File Viewer Utilityでは、表示されたRAW画像をより使用目的に最適な画像にするため、現像処理条件を変更することができます。また、現像条件を変更する際は、デジタル露出補正やクリックホワイトバランスによるホワイトバランス調整など、カメラでは設定できない現像処理も条件に加えて現像処理することができます。

- 現像条件の変更は、基になっているRAW画像に手を加えるのではなく、設定した現像条件を仮想的に適用しています。そのため、何回でも条件を変更して現像処理をやりなおしたり、変更した現像条件を撮影時の設定に戻すことができます。

1 【機種依存処理モード】 リストボックスから【EOS Kiss Digital】を選ぶ (W-22)

2 現像条件を変更したいRAW画像を選ぶ (W-21)

- 現像条件の変更手順については次項目以降を参照してください。

3 画像を保存 (W-36)、転送 (W-42) する

- 各色何bitで保存、転送するかなどを【環境設定】画面の【RAW処理設定】タブ画面 (W-45) で設定することができます。

File Viewer Utilityで変更した現像条件は、File Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。そのため、現像条件を変更した画像は、TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存するか、レタッチソフトに転送してから保存してください。

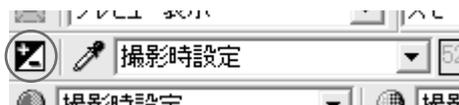
複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に設定した現像処理が適用されます。

明るさを補正する (デジタル露出補正)

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で補正することができます。

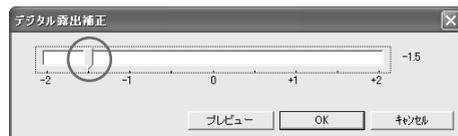
1 【デジタル露出補正】 ボタンを押す

- ➔ 【デジタル露出補正】画面が表示されます。



2 画像の明るさを補正する

- マウスカースールをスライダーに合わせて左右にスライドし、補正量を設定します。
- 【プレビュー】ボタンを押すと、設定した値によって、画像の明るさが補正されます。



3 【OK】 ボタンを押す

- ➔ 設定した補正値が画像に適用され、【デジタル露出補正】画面が閉じます。
- ➔ 補正を行った画像には、補正値が表示されます。

ホワイトバランスを調整する

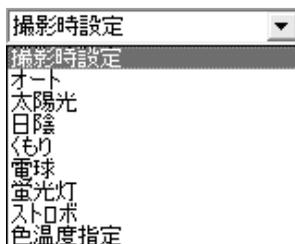
画像のホワイトバランスを調整することができます。

ホワイトバランスは、【ホワイトバランス】リストボックスから設定値を選んで調整することができます。また、画像の白い部分を選んでホワイトバランスを調整する、クリックホワイトバランス機能を使うと、より細かなホワイトバランス調整を行うことができます。

ホワイトバランスを選ぶ

【ホワイトバランス】リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

- 選べるホワイトバランスは、次の9種類です。
- ➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。

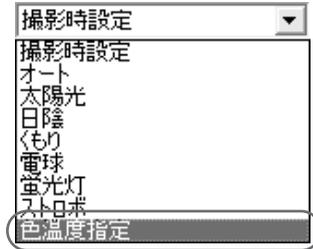


ホワイトバランス	内容	色温度/K(ケルビン)
撮影時設定	撮影時のホワイトバランスを適用するときに選びます。	—
オート	File Viewer Utilityが自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000~7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800~10000K(100Kステップ)の範囲で直接設定することができます。(W-32)	約2800~10000

色温度を設定する

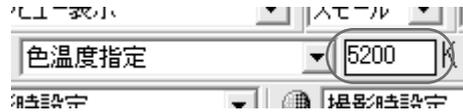
【ホワイトバランス】 リストボックスで【色温度指定】を選んだときは、ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で設定することができます。

1 【ホワイトバランス】 リストボックスから【色温度指定】を選ぶ



2 色温度を入力する

- 【色温度】 入力ボックスに、色温度を入力します。
- 入力範囲は、2800Kから10000Kまで（100Kステップ）です。



3 <Enter> キーを押す

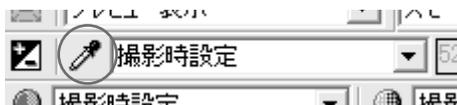
- ➔ 設定した数値が、画像に適用されます。

クリックホワイトバランス

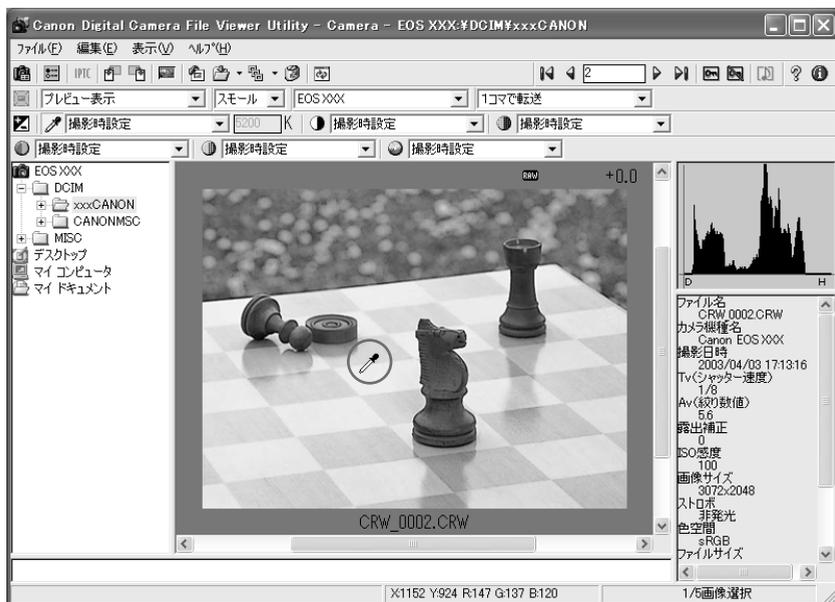
画像の白い部分を1か所選ぶだけで、自動的にホワイトバランスを調整します。

1 【クリックホワイトバランス】 ボタンを押す

- ➔ 画像の上にカーソルを移動すると、カーソルが【スポイト】アイコンに変わります。



2 画像の白い部分をクリックする



- ➔ 選んだ部分が白くなるようにホワイトバランスが調整されて表示されます。
- 再度、別の場所を選んで調整するときは、【クリックホワイトバランス】 ボタンを押して、白い部分を選びます。



クリックホワイトバランスを使用すると、【ホワイトバランス】 リストボックスには【白点指定】が表示されます。

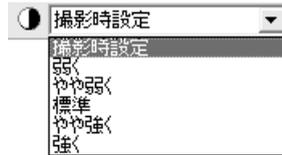
画像の色を調整する

画像の色（コントラスト、色の濃さ、色あい）を調整することができます。色の調整は、それぞれのリストボックスから設定値を選んで行います。

コントラストを調整する

【コントラスト】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

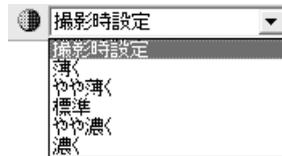
➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



色の濃さを調整する

【色の濃さ】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



色あいを調整する

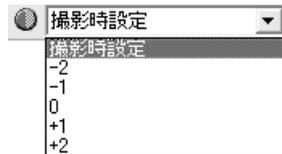
【色あい】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。

● [-2] は強く、[-1] は弱く、肌色が赤めに調整されます。

[0] は、標準的な色みで調整されます。

[+2] は強く、[+1] は弱く、肌色が黄色めに調整されます。

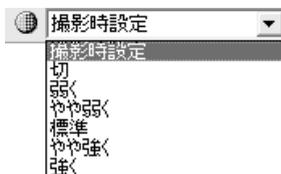


シャープネスを調整する

画像の輪郭を強調するための調整をすることができます。

【シャープネス】 リストボックスから好みの設定値を選ぶ

- 選んだ設定値が、画像に適用されます。

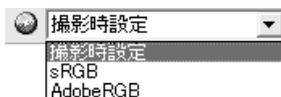


色空間を設定する

撮影した画像の色空間を変更することができます。

【色空間】 リストボックスから好みの設定値を選ぶ

- 選んだ設定値が、画像に適用されます。



【Adobe RGB】 に設定した画像をレタッチソフトに転送して表示するときは、Adobe RGB に対応したレタッチソフトを使用し、RGBの設定を「Adobe RGB」にして表示してください。

RAW画像の現像条件をコピーする

1つのRAW画像に対して行った現像条件（デジタル露出補正やホワイトバランス調整などの設定値）を、簡単に他の画像に反映することができます。

1 各種の現像処理を行ったRAW画像を右クリックして、表示されるメニューから【現像条件のコピー】を選ぶ

2 現像条件を反映したいRAW画像を右クリックして、表示されるメニューから【現像条件の貼りつけ】を選ぶ

- コピーした現像条件が、選んだRAW画像に反映されます。

- 現像条件をコピーしてから複数のRAW画像を選び（W-21）、いずれかの画像上で右クリックして表示されるメニューから、【現像条件の貼りつけ】を選ぶと、選んだすべての画像に現像条件を反映することができます。



変更した現像条件は、File Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。（W-29）

画像を保存する

CFカードに入っている撮影画像をコンピューターに保存する方法や、RAW画像からJPEG画像を簡単に抽出してコンピューターに保存する方法、複数の撮影画像をインデックスファイルとしてコンピューターに保存する方法について説明します。

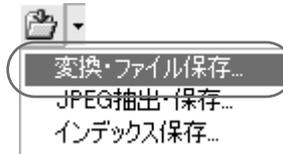
画像をカメラからコンピューターに保存する

撮影した画像は、一度コンピューターに保存することをおすすめします。

1 保存したい画像を選ぶ (W-21)

2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから【変換・ファイル保存】 を選ぶ

→ 【ファイル保存】 画面が表示されます。



3 各項目を設定して【OK】 ボタンを押す

→ 選んだフォルダに画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 保存する画像にRAW画像が含まれているときに選びます。

【変換しない】 / **【Exif-JPEG】** / **【Exif-TIFF(8bit/ch)】** / **【TIFF(16bit/ch)】** から選びます。

保存後のファイル拡張子は、次のようになります。

変換形式	ファイル拡張子
変換しない	_.CRW
Exif-JPEG 形式	_RJ.JPG
Exif-TIFF(8bit/ch) 形式	_RT8.TIF
TIFF(16bit/ch) 形式	_RT16.TIF

- 6 **リニア処理を行うときは、【環境設定】** 画面 (W-45) でリニア処理を設定し、**【TIFF(16bit/ch)】** を選んで保存します。また、リニア処理を設定しても、**【Exif-TIFF(8bit/ch)】** を選んで保存した画像には、リニア処理は適用されません。
- 6 **【RAWから他の形式への変換】** リストボックスで **【Exif-JPEG】** を選んだときに、**【圧縮率】** (画質) を設定することができます。設定できる圧縮率は **【4(最高画質)】** ~ **【1(やや高圧縮率)】** の4種類です。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像に変換します。
- 7 画像の名称を変更しないで保存したいときにチェックします。
- 8 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字 (全角6文字) です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある **【例】** の部分にファイル名の例が表示されます。
- 9 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 10 ファイル番号の開始番号を設定します。
- 11 ご使用のカメラで撮影した画像は、本機能に対応していません。
- 12 ご使用のカメラで撮影した画像は、本機能に対応していません。



一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

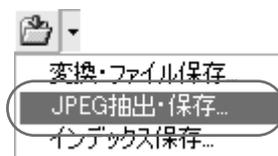
RAW画像からJPEG画像を抽出する

ご使用のカメラで撮影したRAW画像には、JPEG画像（Middle/Fine）が同時に記録されています。ご使用のカメラで撮影したRAW画像を選んでJPEG抽出を行うと、RAW画像内のJPEG画像（Middle/Fine）をコンピューターに保存することができます。

1 JPEG画像を抽出したいRAW画像を選ぶ（W-21）

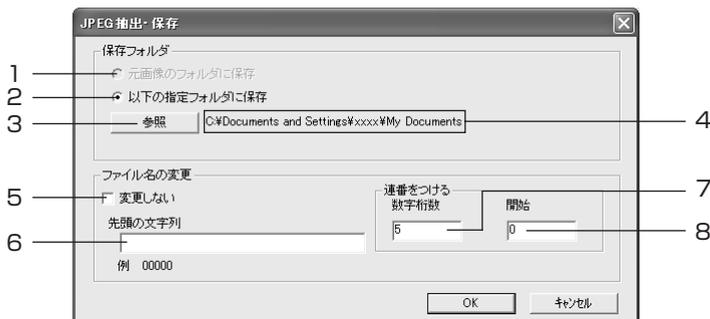
2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから 【JPEG抽出・保存】 を選ぶ

➔ 【JPEG抽出・保存】 画面が表示されます。



3 各項目を設定して 【OK】 ボタンを押す

➔ 選んだフォルダにJPEG画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 RAW画像の名称を変更しないで保存したいときにチェックします。
- 6 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある **【例】** の部分にファイル名の例が表示されます。
- 7 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 8 ファイル番号の開始番号を設定します。



一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

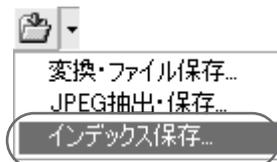
画像をインデックスファイルとして保存する

複数の画像をインデックス画像とし、1つのJPEGファイルとしてコンピューターに保存します。

1 インデックス保存したい画像を選ぶ (W-21)

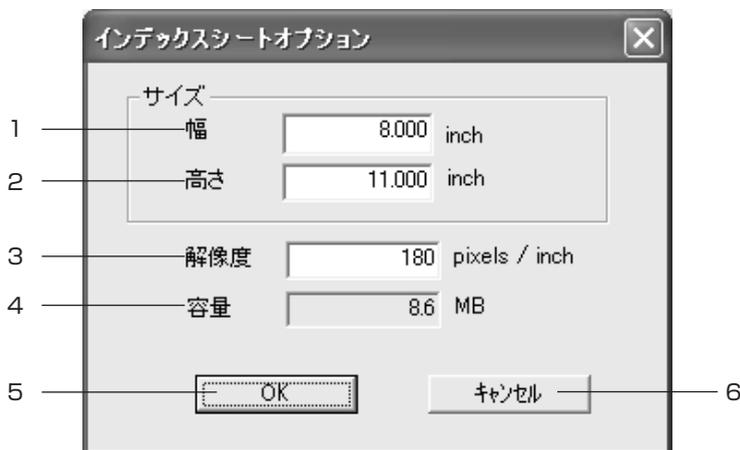
2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから【インデックス保存】を選ぶ

→ 【インデックスシートオプション】
画面が表示されます。



3 各設定を入力して【OK】 ボタンを押す

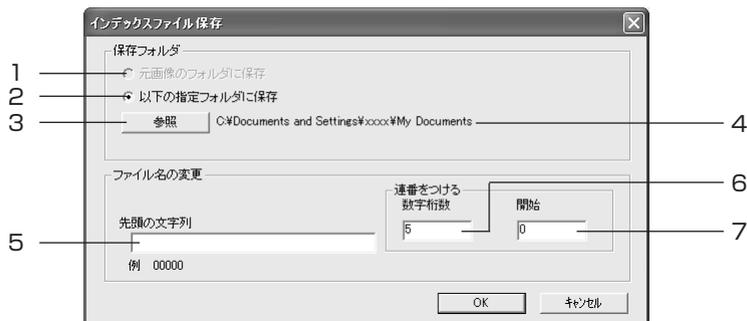
→ 【インデックスファイル保存】画面が表示されます。



- 1 作成するインデックスシートの幅を入力します。設定できる範囲は、4～11 inchです。
- 2 作成するインデックスシートの高さを入力します。設定できる範囲は、4～11 inchです。
- 3 インデックス画像の解像度を入力します。設定できる範囲は、50～300pixels/inchです。
- 4 入力された幅、高さ、解像度から、推定される画像の容量を表示します。
- 5 設定内容が適用され、【インデックスシートオプション】画面が閉じます。
- 6 インデックスシートオプションの設定を中止します。

4 各項目を設定して【OK】ボタンを押す

➔ 選んだフォルダにインデックス画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある【例】の部分にファイル名の例が表示されます。
- 6 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 7 ファイル番号の開始番号を設定します。

レタッチソフトに画像を送る

File Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送するための設定と手順について説明します。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshop Elements 2.0など市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

画像転送の設定をする

画像を転送するには、転送先となるレタッチソフトと転送画像を保存するためのフォルダを設定する必要があります。ここでは、Photoshop Elements 2.0へ画像を転送するための設定方法を例に説明します。

1 【環境設定】画面の【一般設定】タブ画面を表示する (W-44)

2 【画像を転送するアプリケーション】の【参照】ボタンを押す

→ レタッチソフトを選ぶ画面が表示されます。

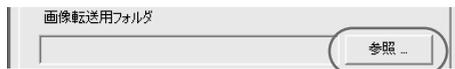


3 【Photoshop Elements】を選び、【開く】ボタンを押す

- [C:] ドライブ ▶ [Program Files] ▶ [Adobe] ▶ [Photoshop Elements 2] の順に選びます。
- 画像を転送するためのレタッチソフトに、Photoshop Elements 2.0が設定され、【一般設定】タブ画面が表示されます。

4 【画像転送用フォルダ】の【参照】ボタンを押す

→ 転送先（保存先）となるフォルダを選ぶ画面が表示されます。



5 転送する画像を保存するためのフォルダを選び、【OK】ボタンを押す

→ フォルダが設定され、【一般設定】タブ画面が表示されます。

6 【OK】ボタンを押す

→ 設定内容が適用され、【環境設定】画面が閉じ、終了します。

📄 画像転送設定は、転送先となるレタッチソフトや画像を保存するフォルダを変更しない限り、毎回設定する必要はありません。

画像を転送する

File Viewer Utilityに表示されている画像を、レタッチソフトへ転送する手順について説明します。ここでは、Photoshop Elements 2.0を例に説明しますが、「画像転送の設定をする」で、他のレタッチソフトを設定したときでも、同様の手順で転送を行います。

1 転送する画像を選ぶ (W-21)

2 【画像転送モード】 リストボックスで転送モードを選ぶ

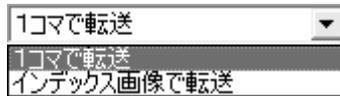
- 選べる転送モードは次の2種類です。

【1コマで転送】：

選んでいる画像をそれぞれ1コマの画像として転送します。

【インデックス画像で転送】：

選んでいる画像のサムネイル画像を作成し、インデックスシート（JPEG形式）として転送します。



3 【画像転送】 ボタンを押す

- ➔ 【インデックス画像で転送】 が選ばれているときは、【インデックスシートオプション】 画面が表示されます。
- ➔ 【1コマで転送】 が選ばれているときは、画像の転送が開始されます。
- 【インデックスシートオプション】 画面の設定については、「画像をインデックスファイルとして保存する」(W-40)、手順3を参照してください。



4 各設定を入力して 【OK】 ボタンを押す

- ➔ Photoshop Elements 2.0が起動し、転送された画像が表示されます。
- ➔ 転送された画像は、設定した画像転送用フォルダに保存されます。
- ➔ RAW画像は、現像処理のあとTIFF形式に変換されて転送されます。



一連の操作は画像を選んだあと、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

環境設定をする

画像転送に関する各種の設定と、画像転送や保存のときに適用されるRAW画像の現像処理内容を設定することができます。

1 【環境設定】 ボタンを押す

→ 【環境設定】 画面が表示されます。

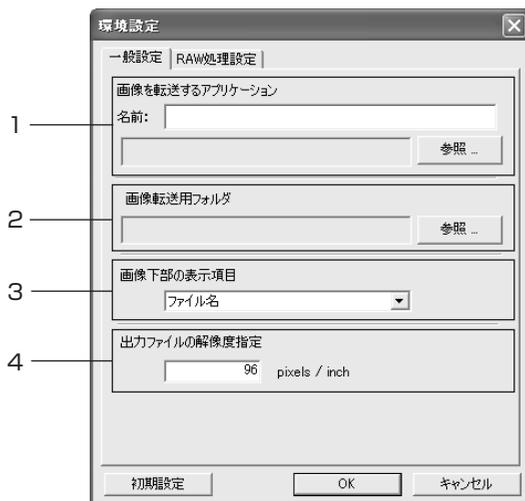


2 【一般設定】 タブ、または【RAW処理設定】 タブを選ぶ

→ タブ画面が表示されます。

3 各項目を設定して【OK】 ボタンを押す

→ 設定内容が適用され、【環境設定】 画面が閉じ、終了します。



● 【一般設定】 タブ画面で設定できる項目は次のとおりです。

- 1 【画像転送】 ボタン (W-43) を押したときに、画像の転送先となるレタッチソフトを設定します。(W-42)
- 2 レタッチソフトに転送する画像を保存するためのフォルダを設定します。(W-42)
- 3 画像の下に表示する情報を設定します。リストボックスで、【ファイル名】、または【撮影日時】を選びます。
- 4 Photoshop Elements 2.0などのレタッチソフトに画像を転送するときの解像度を設定します。設定できる範囲は、10~2000pixels/inchです。



● **【RAW処理設定】** タブ画面で設定できる項目は次のとおりです。

ここでは、**【機種名】** リストボックスで **【EOS Kiss Digital】** を選んだときの項目について記載しています。

5 **【EOS Kiss Digital】** を選びます。

※ 機種名リストに表示されるカメラ機種名は、キヤノン製カメラで撮影した画像が接続しているカメラ内のCFカードや、選んだフォルダ内に保存されていると自動的に追加されます。

6 チェックすると、画像の調整は行われません。独自にレタッチソフトで詳細な画像調整を行いたいときに選びます。

7 チェックすると偽色が緩和されます。

8 チェックするとプレビュー表示したときに16%に縮小された画像が表示されます。

9 bit 数を、**【各色8bitで転送】**、**【各色16bitで転送】** から選びます。

● **次のボタンはどのタブ画面を選んでも表示されます。どのタブ画面を表示しているときでも同じ動作をします。**

10 表示しているタブ画面の内容を、すべて初期設定に戻します。

11 設定内容が適用され、**【環境設定】** 画面が閉じ、終了します。

12 設定内容をすべて破棄して、変更前の状態に戻し、終了します。



【機種名】 リストボックスで他のカメラを選んだときは、各カメラで設定可能な内容が表示されます。

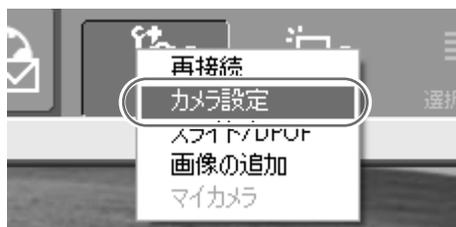
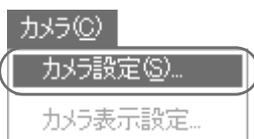
カメラ設定をする

所有者名と日付／時刻の設定をカメラに適用することができます。カメラに適用した所有者名と日付／時刻は撮影画像に記録されます。

また、CFカードのフォーマット（初期化）の他、カメラのプロパティ情報やバッテリー、CFカードの状態を確認することができます。

【カメラ設定】画面を表示する

- File Viewer Utilityから表示するときは、メインウィンドウの【カメラ設定】ボタンを押します。
 - RemoteCaptureから表示するときは、撮影ウィンドウの【カメラ】メニューから【カメラ設定】を選びます。
 - ZoomBrowser EXから表示するときは、カメラウィンドウの【設定】ボタンを押し、表示されるメニューから【カメラ設定】を選びます。カメラウィンドウの表示方法については、6章「ZoomBrowser EXで撮影画像を操作する」を参照してください。
- ⇒ 【カメラ設定】画面が表示されません。





カメラ機種名、ボディ番号(シリアル番号)、ファームウェアのバージョンを表示します。

カメラの所有者名と日付/時刻を設定します。[所有者名]に入力できる文字は、半角で31文字(全角15文字)です。

CFカードがカメラに装着されているか、未装着かの確認や空き容量、全容量を表示します。また、CFカードのフォーマットを行います。

設定内容が適用され、**【カメラ設定】**画面が閉じ、終了します。

設定内容が適用されます。

カメラのバッテリー残量を または、 で表示します。DCカプラーキット(別売)をカメラに接続して家庭用電源を使用したときは が表示されます。

設定内容をすべて破棄して、変更前の状態に戻し、終了します。



CFカードをフォーマット(初期化)すると、CFカード上の記録内容はすべて消去されます。プロテクトをかけた画像も消去されますので、CFカード上の記録内容を十分に確認してからフォーマットを行ってください。

所有者名と日付／時刻を設定する

1 所有者の名称を入力する

- 名称はキーボードで入力します。半角英数字で31文字（全角15文字）まで入力できます。

2 日付と時刻を設定する

- 日付／時刻をマウスで選び、【▲】／【▼】ボタンを押して設定するか、キーボードで入力します。また【PC同期】ボタンを押すとコンピューターの日付／時刻データを取り込みます。

3 【適用】 ボタンを押す

- ➔ 所有者名、日付／時刻がカメラに適用されます。
- 【適用】 ボタンを押したあとは、所有者名、日付、時刻のいずれかを再設定するまで押せない状態になります。
- 【OK】 ボタンを押すと設定内容が適用され【カメラ設定】画面が閉じ、終了します。

4

コンピューターから カメラを操作する

この章では、RemoteCaptureを用いたリモート撮影、タイマー撮影、インターバルタイマー撮影などについて説明します。

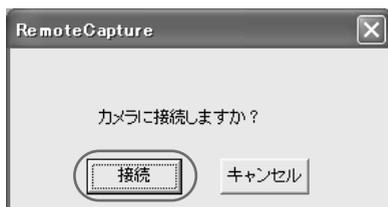
- RemoteCaptureの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme : **【スタート】** ボタンを押して **【すべてのプログラム】** (他のWindowsでは **【プログラム】**) ▶ **【Canon Utilities】** ▶ **【RemoteCapture xx】** (xxはバージョン) ▶ **【RemoteCapture Readme】** の順に選んで表示します。

ヘルプ : 保存ウィンドウの **【ヘルプ】** ボタンから表示します。

RemoteCaptureを起動する

- 1 カメラとコンピューターを接続する (W-11)**
 - ➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) や、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。
 - [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。
- 2 [スタート] ボタンを押して [すべてのプログラム] (他のWindowsでは [プログラム]) ▶ [Canon Utilities] ▶ [RemoteCapture xx] ▶ [RemoteCapture] を選ぶ**
 - xxには、RemoteCaptureのバージョンが表示されます。
 - ➔ [カメラに接続しますか?] 画面が表示されます。
- 3 [接続] ボタンを押す**
 - ➔ 撮影ウィンドウと保存ウィンドウが表示されます。



撮影ウィンドウ

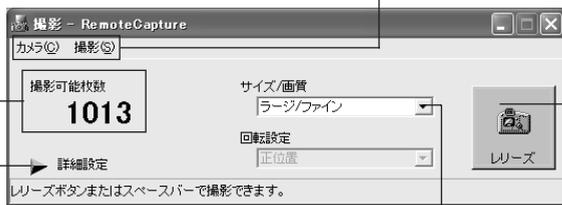
撮影可能枚数

コンピューター、またはカメラ内のCFカードに保存できる画像の枚数が表示されます。

メニューバー

[カメラ]、[撮影] メニューを表示します。

※ [カメラ] メニューでは、カメラ設定 (W-46) を行うことができます。



リリースボタン

撮影を行います。撮影した画像は、自動的にコンピューターに保存されます。カメラのシャッターボタンを直接押しても、撮影した画像はコンピューターに保存されます。

▶ 詳細設定ボタン

撮影ウィンドウの下に詳細設定画面を表示し、各種の設定を行うことができます。再度押すと詳細設定画面を閉じます。

サイズ/画質リストボックス

記録画質を選びます。

保存ウィンドウ

サムネイルビュー
撮影した画像がサムネイルで表示されます。

メニューバー
【ファイル】、【編集】、【表示】、【ヘルプ】メニューを表示します。

RAW画像には
【RAW】マークが表示されます。JPEG画像には、マークは表示されません。

削除ボタン

サムネイルビューで選んだ画像を削除します。削除した画像は、コンピュータ上から完全に削除されますので、画像をよく確認してから削除してください。

切断ボタン

カメラとの接続を解除します。

表示ボタン

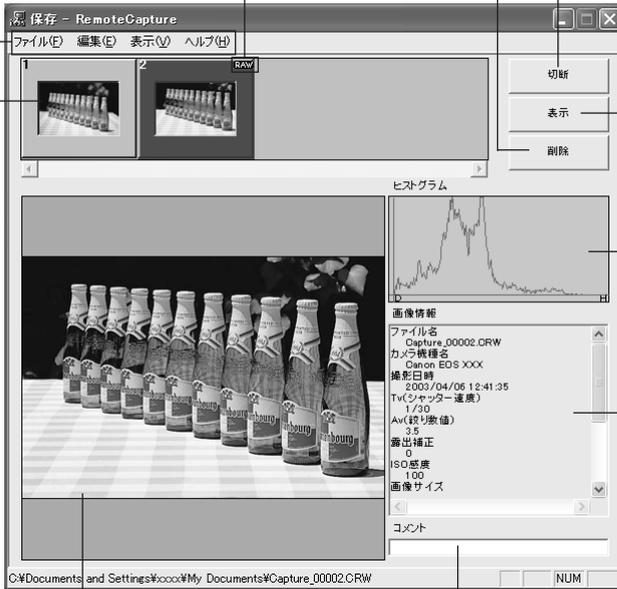
サムネイルビューで選んだ画像を、別の画面で拡大表示します。

ヒストグラム

画像の明るさの分布が表示されます。

画像情報

画像の詳細情報が確認できます。



画像表示エリア

サムネイルビューで選ばれている画像が表示されます。

コメント入力ボックス

画像にコメントを入力することができます。

※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- RemoteCaptureの終了は、【切断】ボタンを押して【ファイル】メニューから【終了】を選びます。

RemoteCaptureを操作する

コンピューターからカメラをコントロールして、1枚撮影やタイマー撮影、インターバルタイマー撮影を行うことができます。撮影された画像は自動的にコンピューターへ保存されます。RemoteCaptureで撮影し、コンピューターに保存された画像は、カメラで撮影した画像と同じようにFile Viewer Utilityで表示したり、現像処理をすることができます。

- ❶ RemoteCaptureの操作は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、手順通りの操作ができません。

コンピューターから撮影する

1 カメラを撮影できる状態にする

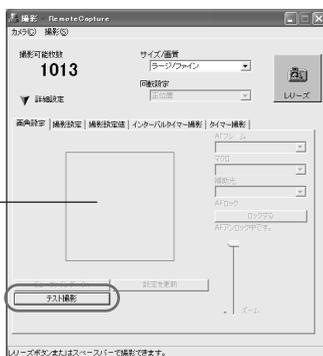
2 各種の設定を行う

- サイズや画質の設定は「撮影ウィンドウ」(W-50)を参照してください。
- 撮影画像の保存については、「初期設定」(W-55)を参照してください。

3 テスト撮影を行う

- 撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押し、表示される詳細設定画面で【画角設定】タブを選んだあと、【テスト撮影】ボタンを押します。
- ➔ テスト撮影した画像が、テスト撮影表示エリアに表示されます。

テスト撮影表示エリア



4 【リリース】ボタンを押す

- ➔ 撮影された画像がコンピューターに保存され、画像が表示されます。
- 画像を拡大して確認したいときは、画像を選んで【表示】ボタンを押します。
- 画像を削除したいときは、画像を選んで【削除】ボタンを押します。

転送時間の目安

転送時間	約5.4秒
------	-------

- 転送時間はあくまでも目安です。ご使用のコンピューター環境や画像により、転送時間は大きく異なります。
- 転送時間は、当社試験基準によります。
(OS : Windows XP / CPU : Pentium 4 2.2GHz / RAM : 256MB使用時、[コンピューターにのみ転送] に設定して、撮影ウィンドウ上のリリースボタンを押したときに、保存ウィンドウにRAW画像が表示されるまでの時間)
- JPEG画で撮影したときは、上記の時間より短くなります。



- オートフォーカスではピントが合わないと撮影できません。
オートフォーカスで撮影できないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてから撮影してください。
- 縦位置でテスト撮影した画像は、テスト撮影表示エリアに正位置で表示されます。
- WIA DriverのWindowsエクスプローラーで、カメラ内の画像を表示しているときにRemoteCaptureで撮影すると、正しく動作しないことがあります。



取り込んだ画像を回転させたいときは、画像を選んだあと【編集】メニューから、【保存画像を右90度に回転】または、【保存画像を左90度に回転】を選びます。

タイマー撮影

何秒後に撮影するかを設定し、設定した秒数後に撮影されます。

1 撮影ウィンドウの【▶】(詳細設定ボタン)を押して【タイマー撮影】タブを選ぶ

➔ 詳細設定画面の【タイマー撮影】タブ画面が表示されます。

2 タイマー設定(秒数)を入力して【開始】ボタンを押す

- 1秒単位、2秒から30秒までの範囲で設定します。
- ➔ 入力した秒数が経過したあと、タイマー撮影が行われます。

インターバルタイマー撮影

撮影間隔と撮影枚数を設定し、撮影することができます。

1 撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押して【インターバルタイマー撮影】タブを選ぶ

➔ 詳細設定画面の【インターバルタイマー撮影】タブ画面が表示されます。

2 撮影間隔と全撮影枚数を入力して【開始】ボタンを押す

- 撮影間隔は1秒単位、5秒から60分までの範囲で設定します。
 - 撮影枚数は、最大9999枚まで設定できます。
- ➔ 入力した撮影間隔で、入力した枚数のインターバルタイマー撮影が行われます。

 ご使用のコンピューターによっては撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

 最大撮影枚数は、コンピューターのハードディスク空き容量により、設定できる枚数が、9999枚より少なくなることがあります。設定できる撮影枚数は、撮影ウィンドウの撮影可能枚数表示で確認することができます。(W-50)

撮影設定値を確認する

撮影時のカメラ設定の内容を確認することができます。

撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押して【撮影設定値】タブを選ぶ

➔ 撮影時のカメラ設定内容が表示されます。

画像を印刷する

撮影した画像を印刷することができます。サムネイルビューに表示されているすべての画像をインデックス状に印刷します。撮影時刻やファイル名も同時に印刷されます。

1 保存ウィンドウの【ファイル】メニューから【インデックス印刷】を選ぶ

➔ プリント設定画面が表示されます。

2 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

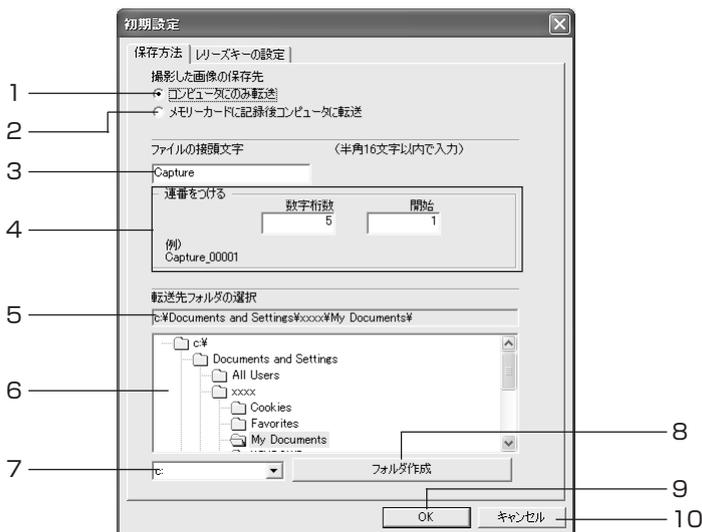
RemoteCaptureを設定する

RemoteCaptureを操作するための各種の設定を行います。設定には、撮影した画像をコンピュータに保存するための初期設定と、撮影設定をコンピュータからリモート操作で行うための詳細設定があります。

初期設定

撮影画像の保存先やファイル名を設定します。

- 1 保存ウィンドウの【ファイル】メニューから【初期設定】を選ぶ
→ 【初期設定】画面が表示されます。
- 2 各項目を設定して【OK】ボタンを押す
→ 設定内容が適用され、【初期設定】画面が閉じ、終了します。



- 1 カメラにCFカードを入れていなかったり、カメラ内のCFカードがいっぱいでも撮影できません。
- 2 撮影した画像をコンピューターとカメラ内のCFカードの両方に保存します。
- 3 撮影画像を保存するときのファイル名を入力します。
※ ファイル名は半角英数字で16文字（全角で8文字）まで入力できます。
- 4 ファイル名の後につける連番の桁数と開始番号を設定します。
※ **【ファイルの接頭文字】** ボックスに **【Capture】**、**【数字桁数】** ボックスに **【5】**、**【開始】** ボックスに **【1】** を入力すると、保存されるファイル名には **【Capture_00001.jpg】** または **【Capture_00001.crw】** から始まる連番のファイル名が、自動的に付けられます。
- 5 ファイルの保存先となるフォルダをディレクトリーで表示します。
- 6 ファイルの保存先となるフォルダをツリー表示します。
- 7 ファイルの保存先となるドライブを選びます。
- 8 新しいフォルダを作成します。
- 9 設定内容が適用され、**【初期設定】** 画面が閉じ、終了します。
- 10 設定内容をすべて破棄して、変更前の状態に戻し、終了します。



【リリースキーの設定】 タブを選ぶと、リリース用のホットキーを設定することができます。

詳細設定

ホワイトバランスや露出補正などの撮影設定を、コンピューターからリモート操作で行えます。

- 詳細設定は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、設定できない項目があります。
- カメラの撮影モードが簡単撮影ゾーンに設定されているときは、撮影設定は行えません。カメラの撮影モードを応用撮影ゾーンに設定してください。

W

1 詳細設定画面を表示する

- 撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押します。

2 【撮影設定】タブを選ぶ

- ➔ 【撮影設定】タブ画面が表示されます。

3 各項目を設定して詳細設定画面を閉じる

- 撮影ウィンドウの【▼】（詳細設定ボタン）を押します。

4

コンピューターからカメラを操作する



- ※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- 1 ホワイトバランスを設定することができます。
- 2 露出補正を行うことができます。
(カメラの撮影モードがプログラムAE、シャッター優先AE、絞り優先AE、自動深度優先AEに設定されているときのみ有効です)
- 3 ISO感度を設定することができます。
- 4 Av (絞り数値)、Tv (シャッター速度) の設定を行うことができます。
(カメラの撮影モードがシャッター優先AE、絞り優先AE、マニュアル露出に設定されているときのみ、設定可能な項目が表示されます)

5

JPEG画像を取り込む

この章では、Windows XP、Windows Me用のWIA Driverや、Windows 2000、Windows 98 SE用のTWAIN Driver、PTP接続（Windows XPのみ対応）で、簡単にJPEG画像を取り込む手順について説明します。

- WIA Driverには、いくつかの制限事項があります。WIA Driverをご使用になる前に、必ず「WIA Driver Readme」を参照してください。

Readme：[スタート] ボタンを押して [すべてのプログラム] (Windows Meでは [プログラム]) ▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS Kiss REBEL 300D WIA Driver] ▶ [WIA Driver Readme] の順に選んで表示します。

- TWAIN Driverの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme：[スタート] ボタンを押して [プログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS Kiss REBEL 300D TWAIN Driver] ▶ [TWAIN Driver Readme] の順に選んで表示します。

ヘルプ： TWAIN Driverメインウィンドウの [ヘルプ] ボタンから表示します。

WIA Driverで画像を取り込む

ウィザードやエクスプローラー、WIA TWAINを使ってJPEG画像のみ取り込むことができます。また、Windows XPをお使いの方は、PTP機能を使ったときも同様の手順でJPEG画像を取り込むことができます。なお、RAW画像の取り込みや現像処理を行うときは、3章のFile Viewer Utilityをご使用ください。

スキャナとカメラ ウィザードを使う

表示される画面内容にしたがって操作を行うと、簡単にJPEG画像をコンピューターへ取り込むことができます。

1 カメラとコンピューターを接続する (W-11)

➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) が表示されます。

[Microsoft スキャナとカメラのウィザード] を選び、[OK] ボタンを押します。

[スキャナとカメラ ウィザード] ダイアログが表示されます。

➔ Windows Meをお使いのときは、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。

2 【次へ】 ボタンを押す

➔ [スキャナとカメラ ウィザード] の [コピーする画像の選択] 画面が表示されます。

➔ Windows Meをお使いのときは、[スキャナとカメラ ウィザード] の [画像の選択] 画面が表示されます。

3 取り込みたい画像を選び、【次へ】 ボタンを押す

● 複数の画像を選ぶときは、〈Ctrl〉キーまたは、〈Shift〉キーを押しながら画像をクリックします。すべての画像を選ぶときは、[すべて選択] ボタンを押します。

➔ [スキャナとカメラ ウィザード] の [画像の名前とコピー先] 画面が表示されます。

➔ Windows Meをお使いのときは、[スキャナとカメラ ウィザード] の [画像の保存先] 画面が表示されます。



4 画像の保存ファイル名と保存先を指定して、【次へ】 ボタンを押す

- ➔ 選んだ画像が指定の保存先に取り込まれ、【スキャナとカメラ ウィザード】の【その他のオプション】画面が表示されます。
- ➔ Windows Meをお使いのときは、ファイル名と保存先を指定して【完了】 ボタンを押すと、画像が取り込まれ、スキャナとカメラ ウィザードが終了します。
- 保存先を指定しないときは、【マイ ピクチャ】（Windows Meでは【My Pictures】）フォルダ内に新たなフォルダが作成されて保存されます。

5 【作業を終了する】 ラジオボタンを選び、【次へ】 ボタンを押す

- ➔ 【スキャナとカメラ ウィザード】の【完了】画面が表示されます。

6 【完了】 ボタンを押す

- ➔ スキャナとカメラ ウィザードが終了します。



RAW画像は表示されますが、取り込みはできません。RAW画像の取り込みや現像処理を行うときは、3章のFile Viewer Utilityをご使用ください。

Windowsエクスプローラーを使う

Windowsエクスプローラーを使うと、ファイルをコピーするのと同じ操作で、JPEG画像をコンピュータに取り込むことができます。

1 カメラとコンピュータを接続する (W-11)

➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) や、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。

- [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Windowsエクスプローラーを起動してフォルダを選ぶ

● Windowsエクスプローラーは、[スタート] ボタンを右クリックし、表示されるメニューから [エクスプローラ] を選ぶと起動することができます。

● エクスプローラービューで [EOS Kiss REBEL 300D] をダブルクリックして [100CANON] フォルダをクリックするか、左にある [+] ▶ [100CANON] フォルダの順にクリックします。



● Windows Meをお使いのときは、エクスプローラービューで [EOS Kiss REBEL 300D] をダブルクリックして表示される [100CANON] フォルダアイコンをダブルクリックします。

● [100CANON] の100には、100~999の数字が表示されます。

➔ カメラ内の画像がサムネイル表示されます。

3 画像をコンピュータに保存する

● 保存先を指定して画像を保存する

表示されている画像を右クリックし、表示されるメニューから [マイ ピクチャに保存] (Windows Meでは [My Pictureに保存]) を選び [OK] ボタンを押すと、[マイ ピクチャ] (Windows Meでは [My Picture]) フォルダに画像が保存されます。

● ドラッグ アンド ドロップで画像を保存する

エクスプローラー上で画像を選び、保存先のフォルダにドラッグ アンド ドロップします。



Windowsエクスプローラーでカメラ内の画像を表示しているときに RemoteCaptureで撮影すると、正しく動作しないことがあります。

WIA TWAINを使う

TWAIN機能対応のレタッチソフトを使用し、WIA TWAINで画像を選んでソフトウェアに取り込みます。ここでは、Photoshop Elements 2.0を例にして説明します。

1 カメラとコンピューターを接続する (W-11)

➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) や、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。

- [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshop Elements 2.0を起動する

● [スタート] ボタンを押して [すべてのプログラム] (Windows Meでは [プログラム]) ▶ [Adobe Photoshop Elements 2.0] を選びます。

3 [ファイル] メニュー ▶ [読み込み] ▶ [WIA-EOS Kiss REBEL 300D] を選ぶ

➔ [カメラから画像を取得] 画面が表示されます。

4 [100CANON] フォルダをダブルクリックする

● [100CANON] の100には、100~999の数字が表示されます。

5 取り込みたい画像を選び、[画像の取得] ボタンを押す

➔ 選んだ画像がソフトウェアに取り込まれます。



RAW画像は表示されますが、取り込みはできません。RAW画像の取り込みや現像処理を行うときは、3章のFile Viewer Utilityをご使用ください。

お使いのレタッチソフトにより、起動方法や画面内容は異なります。詳しくは、お使いのレタッチソフトに付属されている使用説明書を参照してください。

TWAIN Driverで画像を取り込む

ここではPhotoshop Elements 2.0を例にして画像をカメラから取り込み、転送するまでの手順を説明します。

他のソフトウェアをお使いのときは、お使いになるソフトウェアの使用説明書に記載されている、TWAIN機器の設定・操作を参照してください。

- TWAIN Driverは、TWAIN Driver対応ソフトウェアから起動します。また、TWAIN Driverでは、JPEG画像のみ取り込むことができます。RAW画像の表示や現像処理を行うときは、3章のFile Viewer Utilityをご使用ください。

1 カメラとコンピューターを接続する (W-11)

➔ [EOS Kiss REBEL 300D] 画面 (イベント画面) が表示されます。

- [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshop Elements 2.0を起動する

- [スタート] ボタンを押して [プログラム] ▶ [Adobe Photoshop Elements 2.0] を選びます。

➔ Photoshop Elements 2.0が起動します。

3 [ファイル] メニュー ▶ [読み込み] ▶ [Canon EOS Kiss REBEL 300D USB] を選ぶ

➔ TWAIN Driverが起動し、カメラ内のCFカードに保存されたJPEG画像が表示されます。

- TWAIN Driverの終了は、[ファイル] メニューから [終了] を選びます。



4 転送する画像を選び、[ファイル] メニューから [画像転送] を選ぶ

➔ Photoshop Elements 2.0に転送した画像が表示されます。

 表示されているサムネイル画像をダブルクリックしても、画像を転送することができます。

6

ZoomBrowser EXで 撮影画像を操作する

この章では、ZoomBrowser EXを使ってカメラの画像をコンピューターに取り込み、さまざまな方法で印刷する手順や、取り込んだ画像をメールに添付して送付する方法について説明します。

- ZoomBrowser EXの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme：【スタート】ボタンを押して【すべてのプログラム】（他のWindowsでは【プログラム】）▶【Canon Utilities】▶【ZoomBrowser EX】▶【ZoomBrowser EX README】の順に選んで表示します。

ヘルプ： ZoomBrowser EXメインウィンドウの【ヘルプ】ボタンから表示します。

ソフトウェアガイド： キヤノンのホームページからダウンロードして表示します。詳しくは「ZoomBrowser EX/ImageBrowserソフトウェアガイドについて」（A-7）を参照してください。

ZoomBrowser EXを起動する

ZoomBrowser EXは、カメラとコンピューターを接続したときに表示されるイベント画面から起動する方法と、デスクトップアイコンや【スタート】ボタンから起動する方法があります。

イベント画面から起動する

カメラとコンピューターを接続したときに表示される【EOS Kiss REBEL 300D】画面（イベント画面）から、ZoomBrowser EXを起動します。

1 カメラとコンピューターを接続する（W-11）

➔ 【EOS Kiss REBEL 300D】画面（イベント画面）が表示されます。

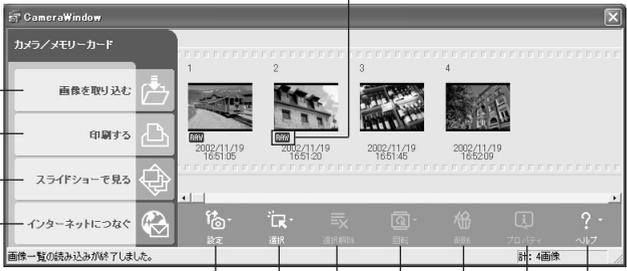
➔ Windows Meでは、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。【キャンセル】ボタンを押してスキャナとカメラ ウィザードを終了し、「アイコンから起動する」（W-67）を参照してZoomBrowser EXを起動してください。

2 【Canon ZoomBrowser EX】を選び【OK】ボタンを押す

➔ ZoomBrowser EXが起動し、カメラウィンドウが表示されます。

● カメラウィンドウには、カメラやカードリーダー内のCFカードに保存されている画像が表示されます。

カメラウィンドウ



画像を自動的に電子メールに添付して送信したり、CANON iIMAGE GATEWAYに接続して画像の登録を行います。

画像をスライドショーで表示します。

画像を印刷します。

画像をコンピューターに取り込みます。

RAW画像には【RAW】マークが表示されます。

カメラとの再接続、カメラ設定（W-46）、スライドショー／DPOFプリント指定情報の編集などを行います。

画像を条件で一度に選びます。

画像が選ばれている状態を解除します。

画像を左右90°、180°回転します。

カメラウィンドウのヘルプ、バージョン情報を表示します。

画像の情報を表示します。

画像を削除します。

アイコンから起動する

カメラとコンピューターが接続されていて、ZoomBrowser EXが起動していないとき（カメラとコンピューターを接続したときに、File Viewer Utilityを起動したときなど）や、カードリーダーから画像を取り込むときは、デスクトップのアイコンまたは、【スタート】ボタンからZoomBrowser EXを起動します。

1 デスクトップの【ZoomBrowser EX】アイコンをダブルクリックする

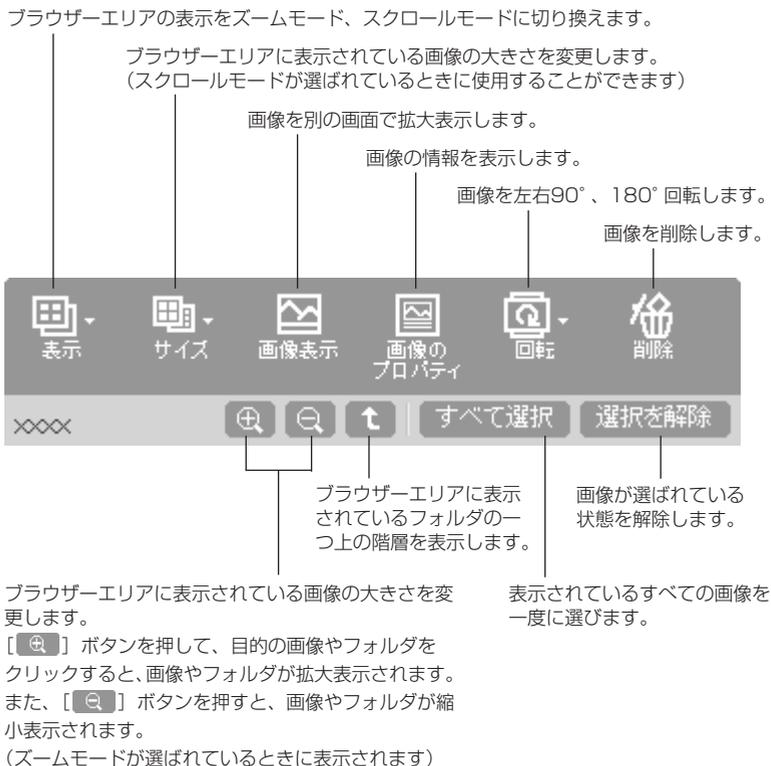
- 【スタート】ボタンを押して【すべてのプログラム】（他のWindowsでは【プログラム】）▶【Canon Utilities】▶【ZoomBrowser EX】▶【ZoomBrowser EX】を選んで起動することもできます。
- ➔ ZoomBrowser EXが起動し、ZoomBrowser EXメインウィンドウが表示されます。

ZoomBrowser EXメインウィンドウ



CANON iIMAGE GATEWAYの活用法については、付属の「CANON iIMAGE GATEWAY」を参照してください。

機能ボタン



2 【カメラ／メモリーカード】 ボタンを押して、表示されるメニューから【画像を表示する／取り込む】を選ぶ

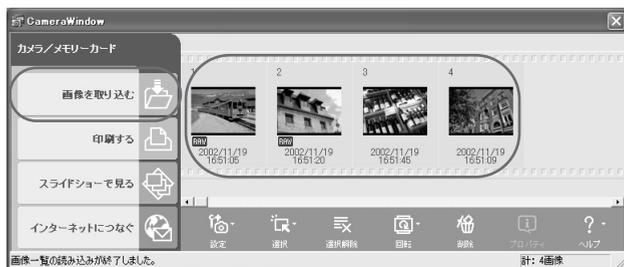
- ➡ ZoomBrowser EXメインウィンドウが閉じ、カメラウィンドウが表示されます。
- カメラウィンドウには、カメラやカードリーダー内のCFカードに保存されている画像が表示されます。

画像を取り込み保存する

カメラやカードリーダー内のCFカードに保存されている画像を取り込んでコンピューターに保存します。

1 カメラウィンドウで取り込む画像を選び、【画像を取り込む】ボタンを押す

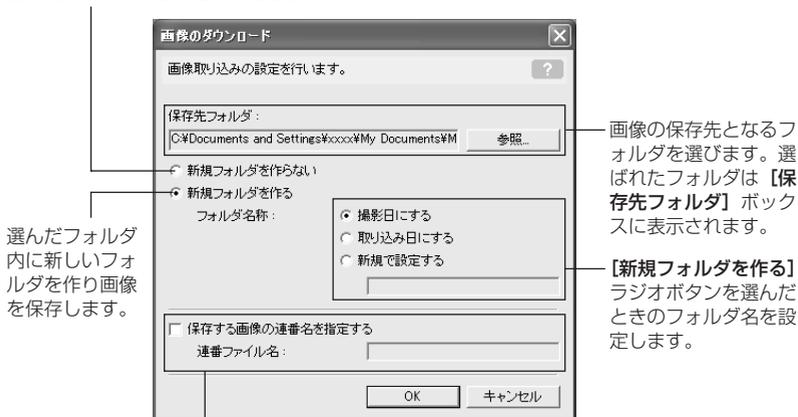
- 表示されている画像をクリックして選びます。また、他の画像をつづけてクリックすると、複数の画像を選ぶことができます。
 - 選ばれた画像を再度クリックすると、選ばれた状態を解除します。
- ➔ 【画像のダウンロード】画面が表示されます。



2 各項目を設定して【OK】ボタンを押す

- ➔ 画像がコンピュータに保存され、カメラウィンドウが閉じてZoomBrowser EXメインウィンドウが表示されます。
- ➔ ZoomBrowser EXメインウィンドウには、取り込んだ画像が表示されます。

選んだフォルダに画像を保存します。



画像を保存するときのファイル名を設定します。

【保存する画像の連番名を指定する】チェックボックスをチェックすると、【連番ファイル名】ボックスに任意のファイル名を入力することができます。画像は「入力したファイル名0001.JPG」となります。また、チェックボックスのチェックを外すと、ファイル名は、「100-0001.jpg」となります。

PhotoRecordで画像を印刷する

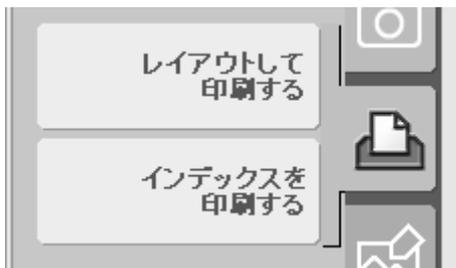
ZoomBrowser EXで、画像を印刷するにはPhotoRecordを使います。また、レイアウト印刷、インデックス印刷の他に、Exif 2.2 (ExifPrint) に対応した印刷も行うことができます。

画像を印刷する

1 ZoomBrowser EXメインウィンドウまたは、カメラウィンドウで印刷する画像を選ぶ

2 【印刷】 ボタン（カメラウィンドウでは【印刷する】 ボタン）を押して表示されるメニューから【レイアウトして印刷する】 または、【インデックスを印刷する】 を選ぶ

- ➔ ZoomBrowser EXメインウィンドウでは、画像とともに印刷する情報を選ぶ画面が表示されます。
- ➔ カメラウィンドウでは、【画像のダウンロード】 画面 (W-70) が表示されます。各項目を設定して【OK】 ボタンを押すと、画像とともに印刷する情報を選ぶ画面が表示されます。



3 画像とともに印刷したい情報（【コメント】、【ファイル名】、【日時】）のチェックボックスをチェックして、【完了】 ボタンを押す

- ➔ 手順2で【レイアウトして印刷する】を選んだときは、PhotoRecordが起動し【PhotoRecordプリントモード】画面が表示されます。
- ➔ 手順2で【インデックスを印刷する】を選んだときは、【インデックスを印刷設定】画面が表示されます。プリンターや用紙の設定を行って【印刷】 ボタンを押すと印刷が開始されます。
- 画像とともに印刷できる情報は、複数選ぶことができます。
- コメントは、ZoomBrowser EXメインウィンドウに表示されている画像を選び、【画像のプロパティ】 ボタンを押して表示される画面で入力することができます。

4 プリントモードを選び、【次へ】 ボタンを押す

➔ 用紙設定の画面が表示されます。

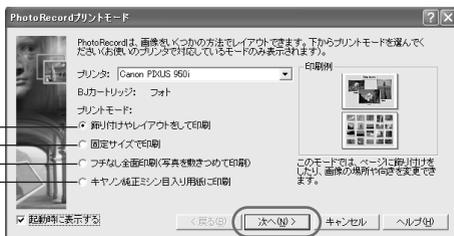
- ここでは、**【飾り付けやレイアウトをして印刷】** ラジオボタンを選んだときの説明をします。

カラフルで楽しいデザインの印刷をしたいときに選びます。

L版、名刺サイズなどの固定サイズの用紙に、できるだけ詰め込んで印刷したいときに選びます。

1ページに何コマという指定に合わせて、紙全体にすまなく画像をレイアウトして印刷します。
(フチなし全面印刷に未対応のプリンターをお使いのときは、**【写真をタイル状に敷きつめて印刷】**が表示されます)

キヤノン純正ミシン目入り用紙を使って印刷したいときに選びます。
(ミシン目入り用紙印刷に未対応のプリンターをお使いのときはこの項目は表示されません)



※ プリントモードの項目は、お使いのプリンターによって異なります。



【飾り付けやレイアウトをして印刷】 ラジオボタンを選ぶと、写真の大きさや位置を自由に指定して印刷することができます。また、その他のプリントモードを選ぶことで、画像をタイル状に敷きつめて印刷したり、キヤノン純正のミシン目入り用紙に印刷することができます。

5 用紙の種類やサイズ、印刷方向などの設定を行い【次へ】 ボタンを押す

➔ レイアウト設定の画面が表示されます。

- **【用紙サイズ】** リストボックスの、**【ユーザー定義用紙】** は選ばないでください。ご使用になるプリンターにより、正しく印刷できないことがあります。



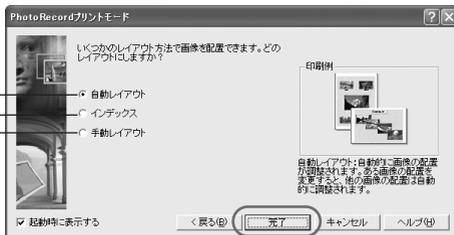
6 レイアウトの方法を選び、【完了】 ボタンを押す

➔ PhotoRecordウィンドウが表示されます。

自動的に画像の配置が調整されます。

画像がインデックス状に並べられます。

すべての画像配置を手動で行います。



7 印刷画面を編集し、【印刷】 ボタンを押す

→ 【印刷】 画面が表示され、印刷が行われます。

PhotoRecordウィンドウ

【メニュー】 ボタンを押して表示されるメニューから、【タイトル】 ▶ 【編集】 を選ぶと入力することができます。

【メニュー】 ボタンを押して表示されるメニューから、【テキストボックスの追加】 を選ぶと入力することができます。また、画面上のテキストボックスを右クリックして表示されるメニューでは、文字飾りや文字列を変更することができます。

画像を右クリックして表示されるメニューから、【見出し】 ▶ 【編集】 を選ぶと入力することができます。

画像の大きさを変更します。

画像の取り込みを中止します。

画像をドラッグして動かすことができます。

画像の並びを変更します。

メニューボタン
画面編集に必要なメニューを表示します。

レイアウトの方法を【オート】、【インデックス】、【マニュアル】 から選びます。

【印刷】 画面を表示し、印刷を行います。
直前の操作を取り消したり、やり直すことができます。

【ページの飾り付け】 画面を表示し、飾り付けのデザインや色などを変更することができます。

【画像の取り込み】 画面を表示し、次ページに新しい画像を取り込みます。

【プリントモード】 画面を表示し、設定を変更することができます。設定方法は、手順4～6を参照してください。

レイアウト

オート インデックス マニュアル 画像サイズ 取り込み中止

プリントモード 画像取り込み ページ飾り付け 元に戻す/やり直す 印刷

画像をドラッグするか、右クリックしてオプションを表示してください。

● レイアウトしたページを保存する

【ファイル】メニューから【名前を付けて保存】を選んで保存すると、レイアウトしたページを「アルバム」として保存することができます。

● ページ内に画像を追加する

ZoomBrowser EXメインウィンドウに表示されている画像を、PhotoRecordウィンドウへドラッグ アンド ドロップします。



アルバムデータには、画像は保存されません。そのため、画像をアルバム作成時に保存していたフォルダから移動したり削除しないでください。

- ページ全体の飾り付けを変更する

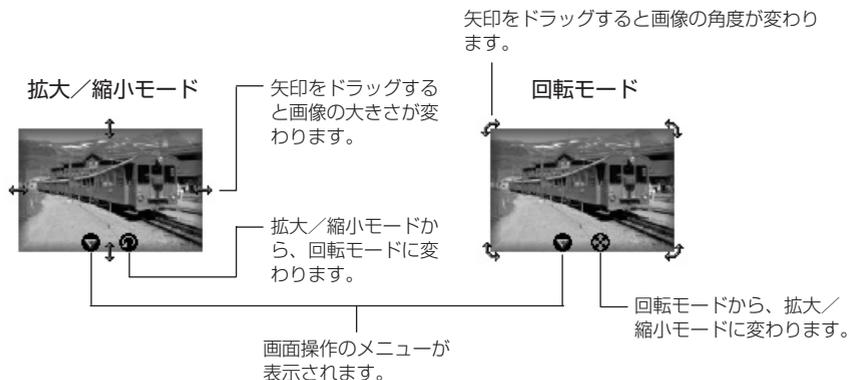
【メニュー】 ボタンを押して表示されるメニューから【ページの飾り付けの変更】を選び、表示される【ページの飾り付け】画面で好みの飾り付けを選びます。

- 画像の枠を変更する

画像を右クリックして表示されるメニューから【画像枠の変更】を選び、表示される【画像枠の変更】画面で好みの画像枠を選びます。

- 画像の大きさや角度を変更する

画像の上にカーソルを移動して表示される矢印やボタンで変更します。



※ プリントモードにより、画像の大きさや角度が変更できないことがあります。

- 1ページに表示する画像数を変更する

【編集】メニューから【設定】を選び、表示される【設定】画面の【1ページあたりの画像数（取り込み時）】項目で、表示する画像数を変更します。

8 【印刷】 ボタンを押す

➔ 印刷が開始されます。

🔊 ネットワークプリンターをお使いのときに、ネットワークのパス名を含めたプリンター名が半角31文字（全角15文字）を超えていると、PhotoRecordから印刷できないことがあります。このようなときは、コントロールパネルから【プリンタとその他のハードウェア】▶【プリンタとFAX】（他のWindowsではコントロールパネルから【プリンタ】）を選び、パス名も含めたプリンター名の文字数を半角31文字（全角15文字）以内に変更してください。

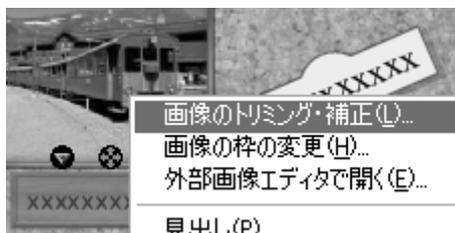
画質を調整して印刷する (Exif 2.2対応)

PhotoRecordには、Exif 2.2 (Exif Print) に対応した画質調整機能があります。この機能を使うと、自動的に補正がかけられた印刷を行うことができます。

1 PhotoRecordウィンドウを表示する (W-73)

2 印刷する画像を右クリックし、表示されるメニューから【画像のトリミング・補正】を選ぶ

- ➔ 別の画面で拡大表示された画像と【画面コントロールパネル】が表示されます。



3 【画面コントロールパネル】の【Exif Print】チェックボックスをチェックし、【閉じる】ボタンを押す

- ➔ 選んだ画像に補正がかかります。



Exif 2.2対応のカメラで撮影した画像には、撮影条件、撮影シーンなど、撮影時の設定情報が記録されています。Exif Print補正では、これらの情報を使って撮影時の状況に、より忠実な画質補正を行います。

画像をメールに添付して送付する

コンピューターに保存された画像を、電子メールに添付して送信します。

- ZoomBrowser EXから、自動的に電子メールソフトウェアを起動して画像を送信するには、お使いのメールソフトがMAPIクライアントに設定されている必要があります。設定方法についてはメールソフトの使用説明書などを参照してください。

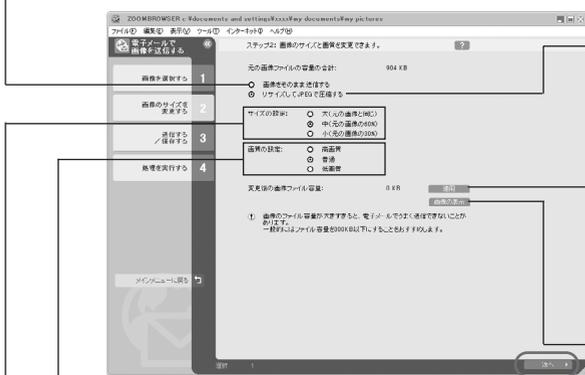
1 画像をZoomBrowser EXメインウィンドウに表示する (W-69)

2 ブラウザーエリアで送信する画像を選ぶ

3 [インターネット] ボタンを押して、表示されるメニューから【電子メールで画像を送信する】を選ぶ

4 画像サイズと画質を設定して【次へ】ボタンを押す

画像サイズや画質を保持して送信したいときに選びます。



ファイルサイズを小さくして送信したいときに選びます。

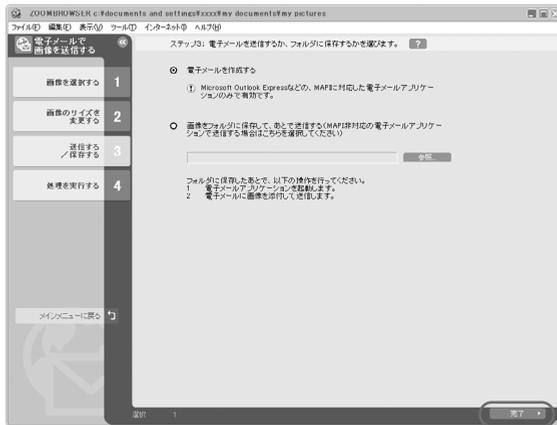
圧縮後の画像ファイルサイズを確認することができます。(ファイルサイズは【変更後の画像ファイル容量】に表示されます)

圧縮後の画像を別の画面を表示して確認することができます。

送信する画像の画質を設定します。(低画質を選ぶと画質は低下しますが、ファイルサイズは小さくなります)

送信する画像のサイズ(画素数)を設定します。

5 電子メールを作成してすぐに送信するか、画像を保存して後で送信するかを選び【完了】ボタンを押す



- **【電子メールを作成する】** ラジオボタンを選んだときは、電子メールソフトウェアが起動し、画像が添付ファイルに設定された状態で、電子メールの送信画面が表示されます。
 - ➔ 宛先やメール本文を入力してメールを送信します。
- **【画像をフォルダに保存して、あとで送信する】** ラジオボタンを選んだときは、**【参照】** ボタンを押して画像の保存先を指定します。
 - ➔ 指定した保存先に画像が保存されます。

! 電子メールソフトウェアの自動起動は、MAPI対応の電子メールソフトウェアにのみ対応しています。MAPI未対応の電子メールソフトウェアをお使いのときは、一度画像を保存し、電子メールソフトウェアを起動してから、送信メールに添付してください。

! Eメールイーアイ メッセージング アプリケーション プログラミング インターフェイス
 M A P IはMessaging Application Programming Interfaceの略で、Microsoft社が標準化した電子メールソフトの機能です。

RAW画像の現像と画像合成

ZoomBrowser EXでRAW画像を現像する

ZoomBrowser EXでRAW画像の現像を行うには、File Viewer Utilityを起動します。

- 1 画像をZoomBrowser EXメインウィンドウに表示する (W-69)
- 2 ブラウザーエリアで現像するRAW画像を選ぶ
- 3 **【表示／編集】** ボタンを押して、表示されるメニューから **【RAW画像を処理する】** を選ぶ
→ File Viewer Utilityが起動し、RAW画像がFile Viewer Utilityメインウィンドウにサムネイルで表示されます。



ZoomBrowser EXからFile Viewer Utilityを起動したときは、File Viewer Utilityで使用できる機能が限定されます。**【フォルダツリー表示領域】**が表示されないほか、カメラ設定、画像の回転、画像転送、インデックス保存、画像消去、情報更新、画像のプロテクトなどの機能を使用することはできません。

PhotoStitchで画像を合成する

撮影した複数の画像を自動的に合成して、パノラマ写真などが簡単に作成できます。

- 1 画像をZoomBrowser EXメインウィンドウに表示する (W-69)
- 2 ブラウザーエリアで複数のJPEG画像を選び、**【表示／編集】** ボタンを押して、表示されるメニューから **【パノラマ合成を行う】** を選ぶ
→ PhotoStitchが起動します。
 - ガイダンスの説明にしたがって、画像を合成します。
 - PhotoStitchの操作の詳細については、PhotoStitchのヘルプを参照してください。



- PhotoStitchでRAW画像は合成できません。
- PhotoStitchで合成できる画像は、最大4コマです。
- PhotoStitchで合成した画像をQuickTime VR形式で保存するには、QuickTime 3.0以上が必要です。お使いのコンピューターにQuickTime 3.0以上がインストールされていないときは、別途ご用意ください。

7

トラブルシューティングと アンインストール

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアのアンインストールなどについて説明します。

トラブルシューティング

「インストールが手順通りできない」、「カメラとコンピューターが通信できない」というときは、以下の項目を確認してください。

- 操作画面に表示されるEOS Kiss REBEL 300Dは、EOS XXXとしています。

手順通りにインストールできない

- Windows XP Professional、Windows 2000をお使いの方で、ユーザー設定を【コンピューターの管理者】、【Administrator】以外に設定した状態でコンピューターを使用していませんか？
 - ユーザー設定を【コンピューターの管理者】、【Administrator】以外に設定されていると、ソフトウェアをインストールすることができません。ユーザー設定をWindows XP Professionalでは、【コンピューターの管理者】、Windows 2000では、【Administrator】に設定してください。詳しい設定方法は、ご使用になるコンピューターの使用説明書などを参照してください。
- WIA Driverまたは、TWAIN Driverをインストールしていますか？
 - WIA Driverまたは、TWAIN Driverがインストールされていないと、カメラとコンピューターを接続してもインストールは完了しません。SOLUTION DISKをCD-ROMドライブに入れて、WIA Driverまたは、TWAIN Driverをインストールしたあと、カメラとコンピューターを接続してください。
- プラグはしっかりと差し込まれていますか？
 - インストールを完了させるために、カメラとコンピューターを接続するときは、専用USBケーブルのプラグをカメラとコンピューターにしっかりと差し込んでください。(W-11)

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとコンピューターが通信できない

- Driverはインストールされていますか？
 - カメラとコンピューターの通信にはDriverが必要です。SOLUTION DISKのソフトウェアをご使用になり、カメラとコンピューターの通信を行うときは、ご使用のWindowsにより以下のDriverを必ずインストールしてください。
 - ・ Windows XP/Windows Me : WIA Driver
 - ・ Windows 2000/Windows 98 SE : TWAIN Driver
- お使いのコンピューターは、以下に該当していますか？
 - USB接続部を標準装備したWindows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SEの日本語版プリインストール機。(A-8)
 - ※上記以外のコンピューターでUSB接続を行ったときの動作保証はしていません。
- カメラとコンピューターが正しく接続されていますか？
 - 専用USBケーブルで、カメラとコンピューターを正しく接続してください。(W-11)
- カメラの通信設定は、正しく設定されていますか？
 - SOLUTION DISKのソフトウェアをご使用になるときは、カメラの通信設定を【標準】に設定してください。また、Windows XPでPTP接続を行うときは、【PTP】に設定してください。(W-10)

● カメラのバッテリー残量は十分ですか？

→ コンピューターからカメラへの電源供給は行われません。カメラにDCカプラーキット（別売）を接続するか、充電済みのバッテリーを入れてコンピューターに接続してください。（付属のカメラ使用説明書「バッテリーを入れる／取り出す」）

● 2台以上のカメラをコンピューターに接続していませんか？

1台のコンピューターに2台以上のカメラを接続すると、Driverおよびカメラが正しく動作しないことがあります。

→ ソフトウェアをいったん終了させてからすべての専用USBケーブルを外します。そのあと、カメラに接続された1本の専用USBケーブルだけをコンピューターに再度接続してください。

● Driverは正常に動作していますか？

カメラとコンピューターを専用USBケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉(W-11)にした状態で、**【デバイス マネージャ】**を表示し、**【イメージング デバイス】**の左にある**【+】**を押し、**【EOS Kiss REBEL 300D】**が表示されているか確認します。



→ **【EOS Kiss REBEL 300D】**が表示されていないときは、Driverが正しく動作していません。専用USBケーブルをいったん抜いて、しっかりと差し込んでください。それでも**【EOS Kiss REBEL 300D】**が表示されないときは、次の手順でDriverをインストールしなおしてください。

- 1 専用USBケーブルを抜いて、Driverをアンインストールする (W-84)
- 2 Driverをインストールしなおす(W-4)

→ **【EOS Kiss REBEL 300D】**の横に**【X】****【!】****【?】**マークが付いているときは、Driverの一部が消去されているか壊れています。次の手順でDriverをインストールしなおしてください。

- 1 **【イメージング デバイス】**に表示されている**【EOS Kiss REBEL 300D】**を削除する
- 2 専用USBケーブルを抜いて、Driverをアンインストールする (W-84)
- 3 Driverをインストールしなおす (W-4)

● Driverは正しくインストールされていますか？

カメラとコンピューターを専用USBケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉(W-11)にした状態で、**【デバイス マネージャ】**（下記）を表示します。**【その他のデバイス】**か**【不明なデバイス】**の左にある**【+】**を押し、**【EOS Kiss REBEL 300D】**、または**【Canon Digital Camera】**が表示されているか確認します。



→ [その他のデバイス] か [不明なデバイス] に [EOS Kiss REBEL 300D]、または [Canon Digital Camera] が表示されているときは、Driverが正しくインストールされていません。次の手順でDriverをインストールしなおしてください。

- 1 [その他のデバイス] か [不明なデバイス] に表示されている [EOS Kiss REBEL 300D]、または [Canon Digital Camera] を削除する
- 2 専用USBケーブルを抜いて、Driverをアンインストールする (W-84)
- 3 Driverをインストールしなおす(W-4)

デバイス マネージャを表示するには

● Windows XP

→ [スタート] ボタン ▶ [コントロール パネル] を選び、[パフォーマンスとメンテナンス] ▶ [システム] の順にクリックし、[ハードウェア] タブを選んで、[デバイス マネージャ] ボタンを押します。

● Windows 2000

→ [スタート] ボタンを押して [設定] ▶ [コントロール パネル] を選び、[システム] アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア] タブを選んで、[デバイス マネージャ] ボタンを押します。

● Windows Me、Windows 98 SE

→ [スタート] ボタンを押して [設定] ▶ [コントロール パネル] を選び、[システム] アイコンをダブルクリックして開き、[デバイス マネージャ] タブを選びます。

ソフトウェアをインストールする前に、カメラとコンピューターを接続してしまっ

● カメラの電源スイッチを〈ON〉にしましたか？

→ 〈ON〉にしてないときは、次の操作を行ってください。

- 1 専用USBケーブルをカメラとコンピューターから外す。
- 2 手順通りコンピューターにSOLUTION DISKのソフトウェアとDriverをインストールし、カメラとコンピューターを接続して、インストールを完了する。(W-4)

→ 〈ON〉にしてしまったときは、次の操作を行ってください。

- 1 [新しいハードウェアの検出ウィザード] などが表示されたときは、[キャンセル] ボタンを押して表示された画面をすべてキャンセルする。
- 2 表示された画面をすべてキャンセルしたら、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする。
- 3 専用USBケーブルをカメラとコンピューターから外す。
- 4 手順通りコンピューターにSOLUTION DISKのソフトウェアとDriverをインストールし、カメラとコンピューターを接続して、インストールを完了する。(W-4)

アンインストール

- アンインストールをはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用USBケーブルをコンピューターから取り外してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

ソフトウェアをアンインストールする手順について説明します。ここでは、File Viewer Utilityを例にとり説明しますが、他のソフトウェアをアンインストールするときも同様の手順で行います。

- WIA Driver/TWAIN Driverのアンインストールについては、「Driverをアンインストールする」(W-84)を参照してください。
- Windows XP Professional、Windows 2000をお使いのときは、コンピューターの管理者/Administrator権限でログオンしてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたあとは、必ずコンピューターを再起動してください。コンピューターが正しく動作しないことがあります。特に、再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

- 1** **【スタート】 ボタンを押して【すべてのプログラム】（他のWindowsでは【プログラム】）▶【Canon Utilities】▶【FileViewerUtility xx】▶【FileViewerUtility アンインストール】を選ぶ**
 - xx には、File Viewer Utilityのバージョンが表示されます。

- 2** **表示される画面内容にしたがって、アンインストールをすすめる**
➔ ソフトウェアがアンインストールされます。

Driverをアンインストールする

Driverのアンインストールは、WIA Driver、またはTWAIN Driverをアンインストールしたあと、【スキャナとカメラのプロパティ】、または【スキャナとカメラ】で【EOS Kiss REBEL 300D】の削除と、Driver設定ファイルの削除をする必要があります。

- Windows XP Professional、Windows 2000をお使いのときは、コンピューターの管理者／Administrator権限でログオンしてください。
- Driverをアンインストールしたあとは、必ずコンピューターを再起動してください。コンピューターが正しく動作しないことがあります。特に、再起動をしないでDriverを再インストールすると誤動作の原因になります。
- 操作画面に表示されるEOS Kiss REBEL 300Dは、EOS XXXとしています。

1 【EOS Kiss REBEL 300D WIA Driver】、または【EOS Kiss REBEL 300D TWAIN Driver】をアンインストールする

- Windows XP、Windows Meをお使いのときは、【スタート】ボタンを押して【すべてのプログラム】（Windows Meでは【プログラム】）▶【Canon Utilities】▶【EOS Kiss REBEL 300D WIA Driver】▶【WIA Driver アンインストール】を選びます。
- Windows 2000、Windows 98 SEをお使いのときは、【スタート】ボタンを押して【プログラム】▶【Canon Utilities】▶【EOS Kiss REBEL 300D TWAIN Driver】▶【TWAIN Driver アンインストール】を選びます。

2 表示される画面内容にしたがって、アンインストールをすすめる ⇒ Driverがアンインストールされます。

3 カメラとコンピューターを接続する

- 【EOS Kiss REBEL 300D】画面（イベント画面）や【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されたときは、【キャンセル】ボタンを押して表示された画面をすべて終了します。

4 【スタート】ボタン ▶【コントロール パネル】▶【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックする

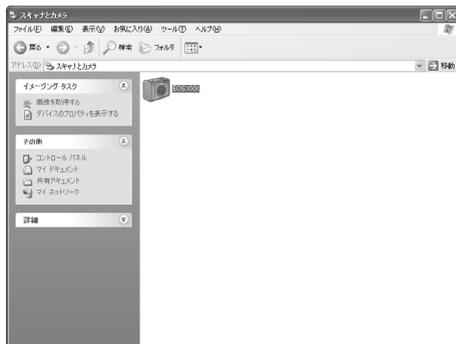
- Windows XP以外のWindowsでは、【スタート】ボタンを押して【設定】▶【コントロール パネル】を選びます。

5 【スキャナとカメラ】をクリックする

- ➔ Windows XP、Windows Meをお使いのときは、【スキャナとカメラ】が表示されます。
- Windows XP以外のWindowsでは、【スキャナとカメラ】アイコンをダブルクリックします。
- ➔ Windows 2000、Windows 98 SEをお使いのときは、【スキャナとカメラのプロパティ】が表示されます。

6 【EOS Kiss REBEL 300D】を削除する

- Windows XP、Windows Meをお使いのときは、【EOS Kiss REBEL 300D】アイコンを右クリックし、表示されるメニューから【削除】を選び、確認画面で【はい】ボタンを押します。
- Windows 2000、Windows 98 SEをお使いのときは、【EOS Kiss REBEL 300D】を選んで【削除】ボタンを押します。
- 【スキャナとカメラのプロパティ】、または【スキャナとカメラ】が表示されていないときは、画面を閉じて次の手順にすすみます。



🔊 スキャナーなどのDriverがすでにインストールされているときは、それらの装置名も表示されます。誤って削除しないよう十分注意してください。

7 【デバイス マネージャ】を表示する (W-82)

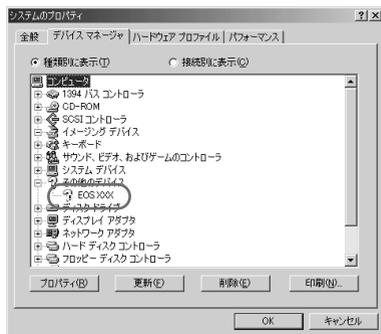
8 【EOS Kiss REBEL 300D】を削除する

Windows XP、Windows 2000をお使いのとき



- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] の左にある [+] を押して [EOS Kiss REBEL 300D] が表示されているときは、[EOS Kiss REBEL 300D] を右クリックし、表示されるメニューから [削除] を選びます。
- 確認画面で [OK] ボタンを押します。
- [デバイス マネージャ] を閉じ、[OK] ボタンを押して、[システムのプロパティ] を閉じます。
- [EOS Kiss REBEL 300D] が [イメージング デバイス] と [その他のデバイス] の両方、あるいは [その他のデバイス] に複数あるときは、すべてを削除します。
- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] に、[EOS Kiss REBEL 300D] が表示されていないときは、画面を閉じて次の手順にすすみます。

Windows Me、Windows 98 SEをお使いのとき



- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] の左にある [+] を押して [EOS Kiss REBEL 300D] が表示されているときは、[EOS Kiss REBEL 300D] を選んで [削除] ボタンを押します。
- 確認画面で [OK] ボタンを押します。
- [OK] ボタンを押して、[システムのプロパティ] を閉じます。
- [EOS Kiss REBEL 300D] が [イメージング デバイス] と [その他のデバイス] の両方、あるいは [その他のデバイス] に複数あるときは、すべてを削除します。
- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] に、[EOS Kiss REBEL 300D] が表示されていないときは、画面を閉じて次の手順にすすみます。

9 Driverの設定ファイルを削除する

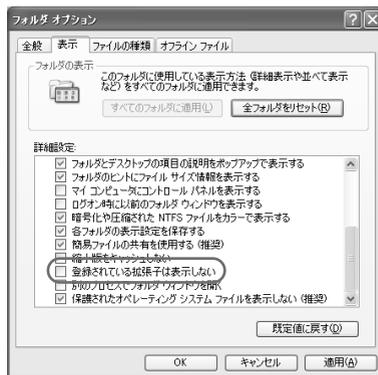
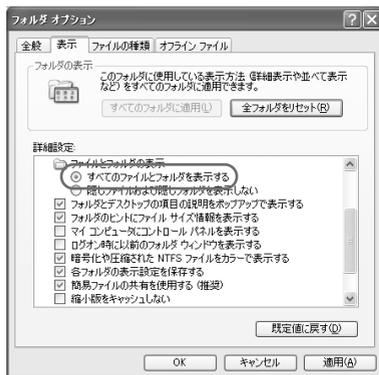
- お使いのOSにより設定ファイルの削除方法は異なります。下記のページを参照し、設定ファイルを削除してください。
 - ・ Windows XP (W-87)
 - ・ Windows 2000 (W-88)
 - ・ Windows Me、Windows 98 SE (W-90)

Driverの設定ファイルを削除する

- ❶ 誤ったファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows XPをお使いのとき

- 1 **【スタート】 ボタン ▶【コントロール パネル】 を選び、【デスクトップの表示とテーマ】 ▶【フォルダ オプション】 の順にクリックする**
▶ **【フォルダ オプション】 が表示されます。**
- 2 **【表示】 タブを選ぶ**
▶ **【表示】 タブ画面が表示されます。**
- 3 **【ファイルとフォルダの表示】 項目の【すべてのファイルとフォルダを表示する】 ラジオボタンを選び、【登録されている拡張子は表示しない】 項目のチェックを外す**
● **このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。**



- 4 **【OK】 ボタンを押して【フォルダ オプション】 を閉じる**
▶ **見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。**
- 5 **【スタート】 ボタン ▶【マイ コンピュータ】 の順にクリックする**
- 6 **【C:】 ドライブ ▶【WINDOWS】 フォルダ ▶【Inf】 フォルダの順にダブルクリックして開く**

W

7

トラブルシューティングとアンインストール

7 【Oem*.inf】、【Oem*.pnf】 という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また【Oem*】ファイルは、【Oem*.inf】と【Oem*.pnf】で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。
(例：Oem2.infとOem2.pnf)
- 【Inf】フォルダ内には複数組の【Oem*】ファイルが存在することがあります。

8 【Oem*.inf】 ファイルの内容を確認する

- 【Oem*.inf】ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に【;*** Canon Camera Driver Setup File ***】と表示されることを確認してください。
- 【Oem*.inf】ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した【Oem*.inf】ファイルと【Oem*.pnf】ファイルを削除する

- 【Inf】フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、最悪のときは、Windowsが起動しなくなる可能性があります。ファイルを削除するときは、十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows 2000をお使いのとき

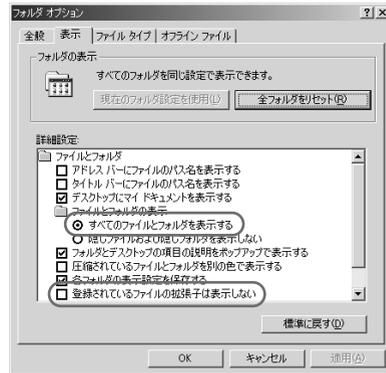
1 【スタート】 ボタンを押して【設定】▶【コントロール パネル】を選ぶ

2 【フォルダ オプション】 アイコンをダブルクリックする →【フォルダ オプション】が表示されます。

3 【表示】 タブを選ぶ →【表示】タブ画面が表示されます。

4 【ファイルとフォルダの表示】項目の【すべてのファイルとフォルダを表示する】ラジオボタンを選び、【登録されているファイルの拡張子は表示しない】項目のチェックを外す

- このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。



5 【OK】ボタンを押して【フォルダ オプション】を閉じる

- ➔ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

6 デスクトップの【マイ コンピュータ】 ▶ 【C:】 ▶ 【Winnt】フォルダ ▶ 【Inf】フォルダを開く

7 【Oem*.inf】、【Oem*.pnf】という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また【Oem*】ファイルは、【Oem*.inf】と【Oem*.pnf】で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。
(例：Oem2.infとOem2.pnf)
- 【Inf】フォルダ内には複数組の【Oem*】ファイルが存在することがあります。

8 【Oem*.inf】ファイルの内容を確認する

- 【Oem*.inf】ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に【; **** Canon Camera Driver Setup File ****】と表示されることを確認してください。
- 【Oem*.inf】ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した【Oem*.inf】ファイルと【Oem*.pnf】ファイルを削除する

- ⚠ 【Inf】フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、最悪のときは、Windowsが起動しなくなる可能性があります。ファイルを削除するときは、十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows Me、Windows 98 SEをお使いのとき

1 【スタート】 ボタンを押して【設定】 ▶ 【コントロールパネル】 を選び、【フォルダ オプション】 アイコンをダブルクリックする

- Windows 98 SEをお使いのときは、【スタート】 ボタンを押して【設定】 ▶ 【フォルダ オプション】 を選びます。
- ➔ 【フォルダ オプション】 が表示されます。

2 【表示】 タブを選ぶ

- ➔ 【表示】 タブ画面が表示されます。

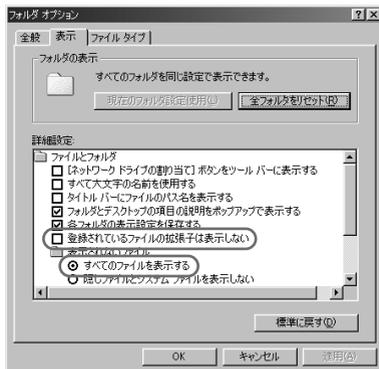
3 【ファイルとフォルダの表示】 項目の【すべてのファイルとフォルダを表示する】 ラジオボタンを選び、【登録されているファイルの拡張子は表示しない】 項目のチェックを外す

- Windows 98 SEをお使いのときは、【表示されないファイル】 項目の【すべてのファイルを表示する】 ラジオボタンを選んで、【登録されているファイルの拡張子は表示しない】 項目のチェックを外します。
- このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。

Windows Me



Windows 98 SE



4 【OK】 ボタンを押して【フォルダ オプション】 を閉じる

- ➔ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

5 デスクトップの【マイ コンピュータ】 ▶ 【C:】 ▶ 【Windows】 フォルダ ▶ 【Inf】 フォルダの順にダブルクリックして開く

6 【Drvdata.bin】 と 【Drvidx.bin】 を削除する



DRVDATA.BIN DRVIDX.BIN
N

7 【Inf】 フォルダ内の 【Other】 フォルダをダブルクリックして開く

W

8 【Canon.IncCAP_E3KR.inf】 ファイルがあるときは削除する



Canon.IncCAP
P_XXX.inf

- ファイル名のXXXにはE3KRが表示されます。
- ご使用のコンピューター環境により、【Canon.IncCAP_E3KR.inf】 ファイルがないこともあります。

7

トラブルシューティングとアンインストール

! 【Inf】 フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、最悪のときは、Windowsが起動しなくなる可能性があります。ファイルを削除するときは、十分にファイル名を確認してから削除してください。

Photoshop Elements 2.0をアンインストールする

- アンインストールをはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用USBケーブルをコンピューターから取り外してください。
- Windows XP Professional、Windows 2000をお使いのときは、コンピューターの管理者/Administrator権限でログオンしてください。

1 【スタート】 ボタンを押して【コントロール パネル】 ▶ 【プログラム の追加と削除】 の順にクリックする

- Windows XP以外のWindowsをお使いのときは、【スタート】 ボタンを押して【設定】 ▶ 【コントロール パネル】 を選び、コントロールパネルに表示される【アプリケーションの追加と削除】 アイコンをダブルクリックします。
- ➔ 【プログラムの追加と削除】 または、【アプリケーションの追加と削除のプロパティ】 が表示されます。

2 ソフトウェアの一覧から【Adobe Photoshop Elements 2.0】を選んで、【削除】 ボタンまたは、【追加と削除】 ボタンを押す

- Windows XP、Windows 2000をお使いのときは、【プログラムの変更と削除】 ボタンが押されていることを確認してください。
- ➔ 【ファイル削除の確認】 が表示されます。

3 【はい】 ボタンを押す

- ➔ Photoshop Elements 2.0がアンインストールされます。

 アンインストールが終了したら、コンピューターを再起動してください。

索引

英数字

PTP機能で画像を取り込む	W-14
PTP設定について	W-10
RAW画像を現像する	W-29、W-78
TWAIN Driver対応ソフトウェアに 画像を転送する	W-64

あ

アンインストール	
Photoshop Elements 2.0	W-92
WIA Driver/TWAIN Driver	W-84
ソフトウェア	W-83
色温度を設定する	W-32
色空間を設定する	W-35
色を調整する	
色あい	W-34
色の濃さ	W-34
コントラスト	W-34
インストール	
Photoshop Elements 2.0	W-8
ソフトウェア	W-4
インターバルタイマー撮影	W-54

か

画質を調整して印刷する (Exif Print)	W-75
画像を印刷する	W-28、W-54、W-71
画像を選ぶ	W-21
画像を合成する	W-78
画像を消去する	W-27
画像を取り込み保存する	W-69
画像を表示する	W-20
画像をプロテクトする	W-26
画像を保存する	
JPEG抽出・保存	W-38
インデックス保存	W-40
変換・ファイル保存	W-36
カメラとコンピューターを接続する ..	W-11
機種依存処理モード	W-22
クリックホワイトバランス	W-33
現像条件をコピーする	W-35

さ

シャープネスを調整する	W-35
所有者名と日付/時刻を設定する	W-48
設定画面	
カメラ設定	W-46
環境設定	W-44
詳細設定	W-57
初期設定	W-55
操作の流れ	A-4
ソフトウェアのウィンドウ	
File Viewer Utilityメインウィンドウ	W-17
RemoteCapture	
撮影ウィンドウ	W-50
保存ウィンドウ	W-51
TWAIN Driverメインウィンドウ	W-64
ZoomBrowser EX	
ZoomBrowser EXメインウィンドウ	W-67
カメラウィンドウ	W-66
ソフトウェアの主な機能	
File Viewer Utility	A-5
Photoshop Elements 2.0	A-7
PhotoStitch	A-6
RemoteCapture	A-6
TWAIN Driver	A-6
WIA Driver	A-6
ZoomBrowser EX/PhotoRecord	A-5
ソフトウェアを起動する	
File Viewer Utilityを起動する	W-16
RemoteCaptureを起動する	W-50
ZoomBrowser EXを起動する	W-66

た

タイマー撮影	W-53
通信モードを設定する	W-10
デジタル露出補正	W-30
電子メールで画像を送信する	W-76
動作環境	A-8

W

7

トラブルシューティングとアンインストール

は

表示モード

JPEGプレビュー	W-23
サムネイル表示	W-23
プレビュー表示	W-23
ホワイトバランスを調整する	W-31

ら

リモート撮影	W-52
レタッチソフトに画像を転送する	W-42
レタッチソフトに画像を取り込む	W-63、W-64

Macintosh

各OSの操作方法が共通のときは、Mac OS X（10.2）を使用したときの画面を例に説明しています。また、本章では、Mac OS XをOS X、Mac OS 9.2をOS 9と表記しています。

1 コンピューターにソフトウェアをインストールするM-3

MacintoshにソフトウェアをインストールするM-4
 Photoshop Elements 2.0のインストールM-6

2 画像操作の準備をするM-7

通信モードを設定するM-8
 カメラとコンピューターを接続するM-9
 CFカードをカードリーダーに差し込むM-11
 CFカードのフォルダ構造とファイル名についてM-11
 OS X（10.1以降）のPTP機能でJPEG画像を取り込むM-12

3 File Viewer Utilityで撮影画像を操作するM-13

File Viewer Utilityを起動するM-14
 画像を表示するM-18
 画像を選ぶM-19
 マウスで画像を選ぶM-19
 コントロールパネルで画像を選ぶM-19
 機種依存処理モードを選ぶM-20
 画像の表示方法を選ぶM-21
 表示モードを選ぶM-21
 表示サイズを選ぶM-22
 AFフレームの確認M-22
 サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にするM-23
 メインウィンドウの表示を最新の状態にするM-23
 画像情報を表示／非表示にするM-23
 選んだ画像に関する操作M-24
 画像にプロテクトをかけるM-24
 画像を条件で選ぶM-24
 画像を回転するM-25
 画像を消去するM-25
 画像情報の確認とコメント入力M-26
 画像を印刷するM-26

RAW画像を現像する	M-27
RAW画像の現像条件を変更する	M-27
明るさを補正する (デジタル露出補正)	
.....	M-28
ホワイトバランスを調整する	M-29
画像の色を調整する	M-32
シャープネスを調整する	M-33
色空間を設定する	M-33
RAW画像の現像条件をコピーする	
.....	M-33
画像を保存する	M-34
画像をカメラからコンピューターに	
保存する	M-34
RAW画像からJPEG画像を抽出する	
.....	M-36
画像をインデックスファイルとして	
保存する	M-38
レタッチソフトに画像を送る	M-40
画像転送の設定をする	M-40
画像を転送する	M-41
環境設定をする	M-42
カメラ設定をする	M-44

4 コンピューターから カメラを操作する.....M-47

RemoteCaptureを起動する	M-48
RemoteCaptureを操作する	M-50
コンピューターから撮影する	M-50
タイマー撮影	M-51
インターバルタイマー撮影	M-52
撮影設定値を確認する	M-52
画像を印刷する	M-52
RemoteCaptureを設定する	M-53
初期設定	M-53
詳細設定	M-55

5 ImageBrowserで 撮影画像を操作するM-57

ImageBrowserを起動する	M-58
自動実行画面から自動起動する	M-60
画像を取り込み保存する	M-63
画像を印刷する	M-65
画質を調整して印刷する	
(Exif 2.2対応)	M-69
RAW画像の現像と画像合成	M-70
ImageBrowserでRAW画像を現像する	
.....	M-70
PhotoStitchで画像を合成する	M-70

6 トラブルシューティングと アンインストール.....M-71

トラブルシューティング	M-72
アンインストール	M-74
ソフトウェアをアンインストール (削除)	
する	M-74
Photoshop Elements 2.0を	
アンインストールする	M-75
索引	M-76

1

コンピューターにソフトウェアを インストールする

この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

Macintoshにソフトウェアをインストールする

- ご使用のMacintoshが、SOLUTION DISKのソフトウェア動作環境（A-9）に対応していることを確認されたあと、手順通りにインストールしてください。
- Photoshop Elementsのインストール方法は、（M-6）を参照してください。

1 Macintoshを起動する

- 使用中のソフトウェアをすべて終了してください。

2 CD（EOS DIGITAL SOLUTION DISK）を入れる

→ CDのアイコンがデスクトップ上に表示されます。

3 インストーラーを起動する

- CDのアイコン ▶ **【Mac OS X】** フォルダ ▶ **【Canon EOS Digital Installer】** の順にダブルクリックします。



- OS 9では、表示されたCD内の **【Mac OS 9】** フォルダ ▶ **【Canon EOS Digital Installer】** の順にダブルクリックします。



→ インストーラーパネルが表示されます。

4 【デジタルカメラソフトウェアのインストール】をクリックする



5 インストールするソフトウェアを確認する

- インストールするソフトウェアに、が入っていることを確認して、**【インストール】** ボタンを押します。



6 契約書の内容を確認する

- 内容を確認して同意するときは、**【同意する】** ボタンを押します。

7 インストール先を確認する

- インストール先を確認して、**【選択】** ボタンを押します。
- ➔ インストールがはじまります。
- インストールにかかる時間は、ご使用のコンピューターにより異なりますが、目安として約2~4分程度です。



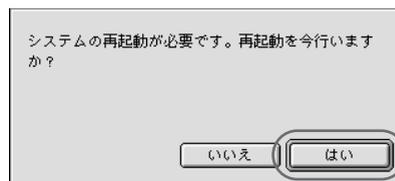
8 インストールを完了する

- ➔ **【ソフトウェアのインストールが完了しました。】**が表示されたら、**インストールは完了です。**
- **【OK】** ボタンを押して、終了します。
- インストーラーパネルが表示されたときは、**【終了】** をクリックして終了します。



OS 9をお使いのときは

- OS 9では **【OK】** ボタンを押したあと、**【システムの再起動が・・・】**画面が表示されます。**【はい】** を選んでMacintoshを再起動します。



Photoshop Elements 2.0のインストール

- Photoshop Elements 2.0は、インストール時にシリアル番号を入力しないとインストールできません。シリアル番号は、Photoshop Elements 2.0のCD-ROMケースに貼り付けられています。
- シリアル番号を無くすと、インストールできなくなりますので、無くさないよう以下の空欄に書き写すか、CD-ROMケースからシールを剥がして貼り付けてください。

1 Adobe Photoshop Elements 2.0 CD-ROMを、CD-ROMドライブに入れる

- ➔ [ Photoshop Elements 2.0] アイコンがデスクトップに表示されます。
- ➔ OS 9では、[ Photoshop(R) Elements 2.0] アイコンがデスクトップに表示されます。

2 インストーラーを起動する

- [Photoshop Elements 2.0] アイコン ▶ [Install Photoshop Elements] アイコンの順にダブルクリックします。
- ➔ Photoshop Elements 2.0のインストーラーパネルが表示されます。

3 【続ける】 ボタンを押す

4 表示される画面内容にしたがって、インストールをすすめる



Photoshop Elements 2.0の詳しいインストール方法やOS Xにインストールするときの注意事項については、Photoshop Elements 2.0 CD-ROM内の【インストールについて】ファイルを参照してください。



画像操作の準備をする

この章では、通信モードの設定やカメラとコンピューターの接続方法、カードリーダー（市販品）の使いかたについて説明します。

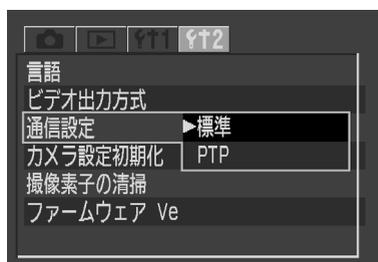
通信モードを設定する

SOLUTION DISKのソフトウェアを使用して、カメラとの通信を行うには、カメラの通信モードを【標準】に設定します。

- 通信モードを【PTP】に設定すると、SOLUTION DISKのソフトウェアとカメラの通信はできません。ソフトウェアを使用するときは、必ず、通信モードを【標準】に設定してください。

1 カメラとコンピューターが接続されていないことを確認し、電源スイッチを〈ON〉にする

2 メニュー〈**↑**2〉の【通信設定】を【標準】に設定する



3 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、電源スイッチを〈OFF〉にする

- 通信モードを設定するときは、必ずカメラとコンピューターが接続されていない状態で行ってください。カメラとコンピューターを接続した状態で通信モードを設定すると、カメラやソフトウェアが誤動作します。

PTP設定について

PTP機能は、OS Xをお使いの方のみ使用することができます。この機能を使うと簡単にJPEG画像をコンピューターへ取り込むことができます。また、この機能を使うには、上記の手順2で、【通信設定】を【PTP】に設定します。

- PTP機能を使ったJPEG画像の取り込みかたについては、「OS X（10.1以降）のPTP機能でJPEG画像を取り込む」（M-12）を参照してください。

カメラとコンピューターを接続する

カメラとコンピューターを付属の専用USBケーブルで接続し、通信可能な状態にします。接続はコンピューターを起動した状態で行うことができます。

- カメラとコンピューターを接続するときは、必ず本ページの操作手順で行ってください。
- カメラとコンピューターを接続して、SOLUTION DISKからインストールしたソフトウェアを起動しているときに以下の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
 - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
 - ・CFカードスロットカバーを開ける
 - ・専用USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取り出す
 - ・DCカプラー（別売）を取り外したり、ACアダプター（別売）のプラグや電源コードを抜く

上記の操作を行うときは、必ず使用中のソフトウェアを終了してから行ってください。

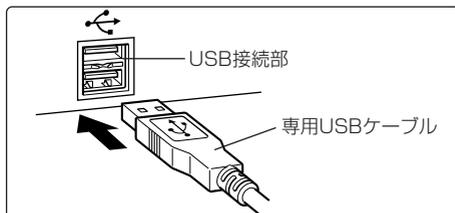
M

2

画像操作の準備をする

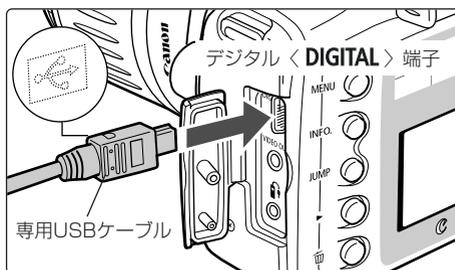
1 専用USBケーブルのプラグをコンピューターに接続する

- コンピューターのUSB接続部にプラグを差し込みます。
- ご使用のコンピューターにより接続部の位置は異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの使用説明書を参照してください。



2 専用USBケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、プラグの〈☞〉をカメラの前面に向け、デジタル〈DIGITAL〉端子に差し込みます。



3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

- ➔ カメラが通信可能な状態になります。
- ➔ OS 9では、ImageBrowserが起動して、【自動実行】画面が表示されます。ImageBrowserをお使いになる方は、そのまま、「5章 ImageBrowserで撮影画像を操作する」を参照してください。
- ImageBrowser以外のソフトウェアをお使いになる方は、ImageBrowserを終了して、お使いになるソフトウェアを起動してください。
- OS 9をお使いのときに、ImageBrowserを起動させないように設定するには、「ImageBrowserの自動起動を解除する」(M-62)を参照してください。

- カメラとコンピューターの接続には、専用のUSBケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- 専用USBケーブルで、カメラとコンピューター本体とを直接、接続してください。ハブを介しての接続や複数のUSB機器を接続すると、正しく動作しないことがあります。
- USBマウス、USBキーボードを除く、他のUSB機器と同時に動作させると、正しく動作しないことがあります。そのようなときには、他のUSB機器をコンピューターから外して、再度接続してください。
- 1台のコンピューターにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラとコンピューターが通信しているときは、カメラの表示パネルが点滅したり、液晶モニターを使用すると、モニターがちらつくことがあります。故障ではありません。
- 専用USBケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。
- カメラとコンピューターを接続したまま何も操作を行わないと、ご使用のコンピューター環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとコンピューターを接続している状態で、コンピューターをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。
万一、カメラとコンピューターを接続している状態で、コンピューターをスタンバイ（スリープ）状態にしてしまったときは、専用USBケーブルはコンピューターから抜かず、必ず、接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用USBケーブルを抜くと、コンピューターの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、お使いのコンピューターの使用説明書を参照してください。

 カメラとコンピューターを接続するときは、バッテリー残量を気にせずにカメラを使うことができる、DCカプラーキット（別売）の使用をおすすめします。

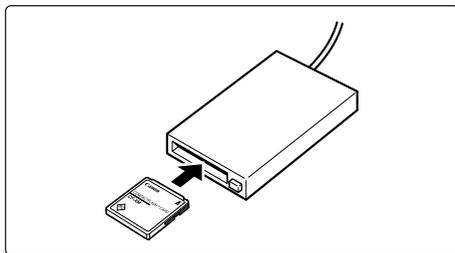
画像のバックアップ（コピー）について

- 撮影した画像は、EOS DIGITAL SOLUTION DISKのソフトウェアで操作する前に、コンピューターのハードディスクなどへバックアップ（コピー）しておくことをおすすめします。

CFカードをカードリーダーに差し込む

市販のカードリーダーをお持ちの方は、CFカードから直接コンピューターへ画像を取り込むことができます。

- 1 カメラからCFカードを取り出す
- 2 CFカードをカードリーダーに差し込む



M

- 3 ソフトウェアを起動して画像を取り込む



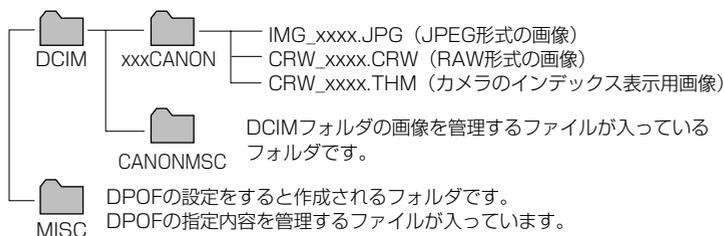
カードリーダーとコンピューターの接続方法については、ご使用のカードリーダーの使用説明書を参照してください。

2

画像操作の準備をする

CFカードのフォルダ構造とファイル名について

撮影画像は、CFカード内の【DCIM】フォルダの中の【xxxCANON】フォルダ（xxxには100～999の数字が入ります）に保存されています。



- xxxxには数字が入ります。

OS X (10.1以降)のPTP機能でJPEG画像を取り込む

OS X (10.1以降)をお使いのかたは、PTP (Picture Transfer Protocol) 機能を使うことができます。PTP機能を使うと、SOLUTION DISKのソフトウェアを起動することなく、カメラ内のCFカードに保存されたJPEG画像をコンピューターへ取り込むことができます。

1 カメラの通信モードを【PTP】に設定する (M-8)

- メニュー〈**Y/T2**〉の【通信設定】を【PTP】に設定します。
- 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消します。
- 終わったらカメラの電源スイッチを〈OFF〉にします。



2 カメラとコンピューターを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする (M-9)

- ➔ イメージキャプチャまたは、iPhotoが起動します。
- 起動するソフトウェアは、イメージキャプチャで設定することができます。



3 表示内容にしたがって画像を取り込む

- 表示される画面内容にしたがって操作を行い、JPEG画像を取り込みます。



- カメラを接続したときに起動するソフトウェアを設定するには、イメージキャプチャを起動して、【イメージキャプチャ】メニューから【環境設定】を選び、表示される【イメージキャプチャ環境設定】画面の【カメラを接続したときに起動する項目】リストボックスで選びます。
- イメージキャプチャやiPhotoは、OS Xに付属のソフトウェアです。詳しい操作については、各ソフトウェアのヘルプを参照してください。



File Viewer Utilityで 撮影画像を操作する

この章では、File Viewer Utilityを使って、カメラ内のCFカードに保存されている撮影画像の表示や保存、RAW画像の現像処理や各種の画像処理、レタッチソフトへの画像転送について説明します。

- File Viewer Utilityの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

はじめにお読みください： [Canon Utilities] フォルダ ▶ [File Viewer Utility] フォルダ ▶ [はじめにお読みください] の順にダブルクリックして表示します。

File Viewer Utilityを起動する

1 カメラとコンピューターを接続する (M-9)

- OS 9では、ImageBrowserが起動して、**【自動実行】**画面が表示されます。**【キャンセル】** ボタンを押して**【ファイル】**メニューから**【終了】**を選び、ImageBrowserを終了します。

2 デスクトップの**【Canon File Viewer Utility】**アイコンをダブルクリックする

- **【Canon Utilities】** フォルダ ▶ **【File Viewer Utility】** フォルダ ▶ **【File Viewer Utility】** アイコンの順にダブルクリックして起動することもできます。
- ➔ File Viewer Utilityメインウィンドウが表示されます。

File Viewer Utilityメインウィンドウ

サムネイル枠表示／非表示ボタン (M-23)

パス表示

接続しているカメラ、コンピューター上のドライブやフォルダを表示します。

表示サイズリストボックス (M-22)

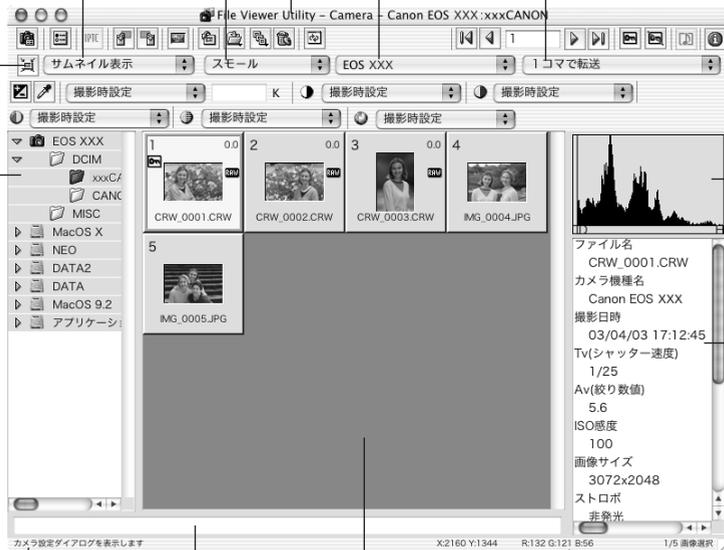
表示モードリストボックス (M-21)

機種依存処理モードリストボックス (M-20)

ヒストグラム

画像の明るさの分布が表示されます。

画像転送モードリストボックス (M-41)



ステータスバー

コメント入力ボックス (M-26)

フォルダツリー表示領域 (M-18)

画像表示エリア

RGB値の表示

画像の上にカーソルを移動すると、カーソルで選んだ座標位置とRGB (8bit換算) の値を表示します。

画像情報表示

エリア (M-26)

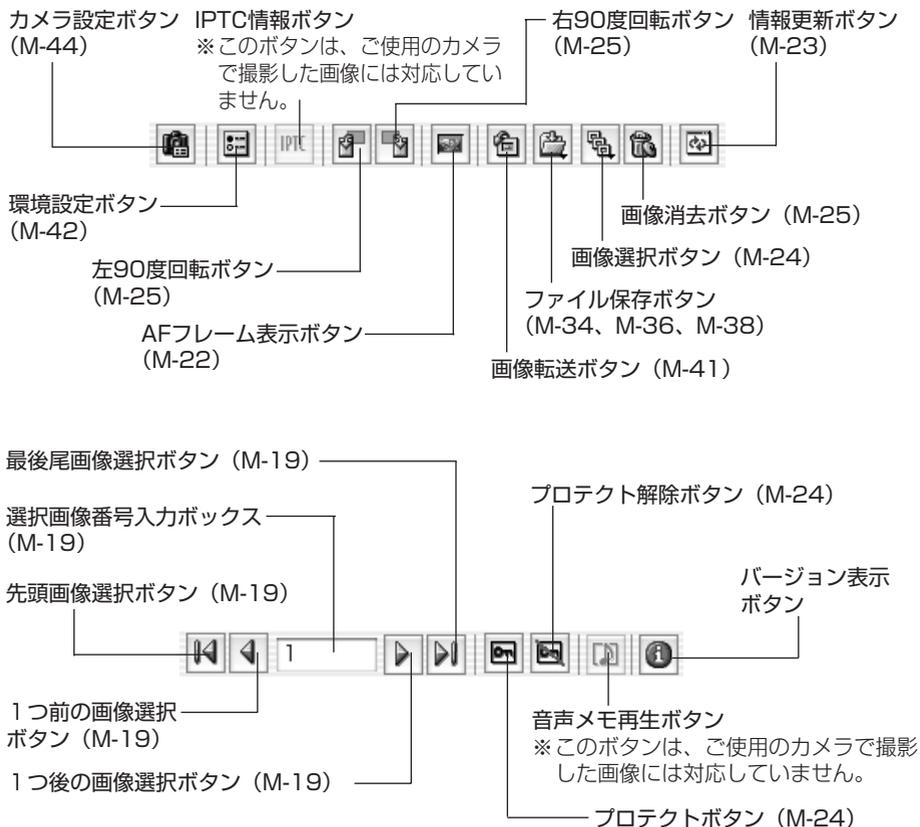
※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- OS XでのFile Viewer Utilityの終了は、【File Viewer Utility】メニューから【File Viewer Utilityを終了】を選びます。
- OS 9でのFile Viewer Utilityの終了は、【ファイル】メニューから【終了】を選びます。

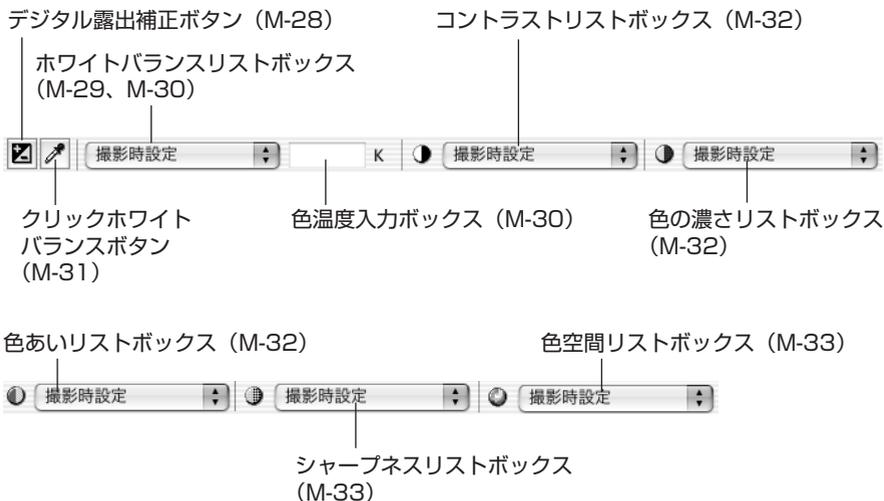
M

3

File Viewer Utilityで撮影画像を操作する



※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。



※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

画像を表示する

カメラ内のCFカードやコンピューターに保存されている撮影画像を表示します。

RAW画像は、カメラで設定した現像処理条件にしたがって現像が行われ表示されます。

CFカードに保存されている撮影画像は、CFカードをカメラに入れたまま、専用USBケーブルを経由して表示することができます。また、市販のカードリーダーを使用して、CFカードに保存されている撮影画像を表示することもできます。

ここでは、カメラ内のCFカードに入っている撮影画像を表示する手順について説明します。

表示したい撮影画像の入っているフォルダを選ぶ

- フォルダツリー表示領域で【EOS Kiss Digital】の左にある【▶】▶【DCIM】フォルダの左にある【▶】▶【100CANON】の順にクリックします。
- ➔ 選んだフォルダ内にある撮影画像が表示されます。



100~999までの数字が表示されます。

- 撮影したあとにコンピューターで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
- フォルダの削除を行うと、フォルダ内のすべての画像が消去されます。一度消去した画像は復元できません。十分に確認してから削除してください。

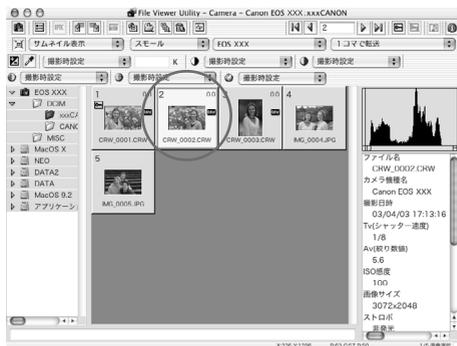
- File Viewer Utilityが表示できるのは以下の画像です。
 - ・ キヤノン製デジタルカメラで撮影されたJPEG画像
 - ・ キヤノン製デジタルカメラで撮影されたRAW画像
 - ・ File Viewer Utilityで保存したTIFF、JPEG画像（M-34）※File Viewer Utilityで表示できない画像は、【?】が表示されます。
- 市販のカードリーダーを使い、カードリーダー内のCFカードや、コンピューターに保存されている撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをクリックして表示します。
- 「縦横自動回転表示」を設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で画像が表示されます。
- 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかります。
- フォルダツリー表示領域内のフォルダを他のフォルダへドラッグアンドドロップすると、フォルダをコピーまたは移動することができます。また、フォルダ上で<control>+クリックして表示されるメニューでは、フォルダの作成や削除、フォルダ名の変更などを行うことができます。

画像を選ぶ

マウスで画像を選ぶ

マウスカーソルを画像に合わせてクリックする

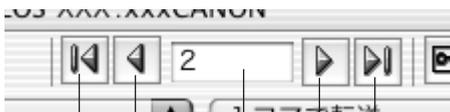
- 複数の画像を選びたいときは、
〈shift〉キーを押したまま画像を
クリックします。
 - 連続した画像を選びたいときは、
最初の画像をクリックしたあと、
〈option〉+ 〈shift〉キーを押し
たまま最後の画像をクリックしま
す。
- ➔ 選んだ画像の枠に色が付きます。



 キーボードを使って画像を選ぶときは、矢印キー（↑←→↓）を使って画像を選びます。

コントロールパネルで画像を選ぶ

ボタンを操作、または数値を入力する



- 【先頭画像選択】** ボタン
表示している先頭の画像を選びます。
- 【1つ前の画像選択】** ボタン
選んでいる画像の1つ前の画像を選びます。
- 【選択画像番号】** 入力ボックス
入力した番号の画像を選びます。1から9999
まで入力できます。
番号を入力して〈return〉キーを押します。

- 【最後尾画像選択】** ボタン
表示している最後尾の画像を選
びます。
- 【1つ後の画像選択】** ボタン
選んでいる画像の1つ後の画像
を選びます。

機種依存処理モードを選ぶ

撮影したRAW画像の現像処理を確認、変更するためのRAW画像処理ツールバーを表示します。
【機種依存処理モード】 リストボックスで、画像を撮影したカメラの機種（機種依存処理モード）を選ぶと、撮影されたRAW画像の現像処理を確認、変更することができます。

【機種依存処理モード】 リストボックスから機種依存処理モードを選ぶ



【共通処理】

RAW画像処理ツールバーが非表示となり、RAW画像の現像処理内容の変更を行うことはできません。

【EOS Kiss Digital】

RAW画像処理ツールバーが表示されます。RAW画像を選ぶと現像処理の確認と変更をすることができます。ただし、JPEG画像を選んだときは、RAW画像処理ツールバーはグレー表示になり、使用することはできません。

📌 ご使用のカメラ以外のキヤノン製カメラで撮影した画像が、接続しているカメラ内のCFカードや選んだフォルダ内に保存されているときは、【機種依存処理モード】 リストボックスに画像を撮影したカメラの機種依存処理モードが自動的に追加されます。

- 📄 ● RAW画像の現像条件の変更については、「RAW画像の現像条件を変更する」(M-27)を参照してください。
- 【機種依存処理モード】 リストボックスで他のカメラを選んだときは、各カメラで設定可能なRAW画像処理ツールバーが表示されます。

画像の表示方法を選ぶ

画像を表示するときのモードやサイズを選ぶことができます。また、AFフレームを表示したり、サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にすることもできます。

表示モードを選ぶ

【表示モード】 リストボックスから **【サムネイル表示】**、**【プレビュー表示】**、**【JPEGプレビュー】** のいずれかを選ぶ

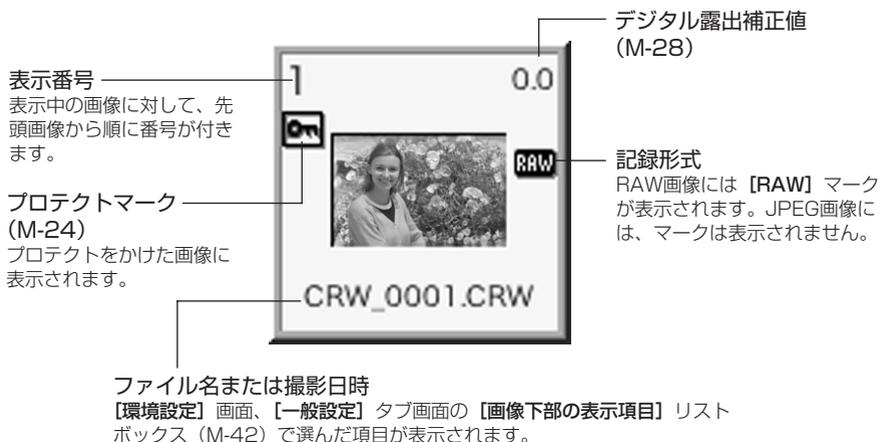
➔ 選んだ表示モードで画像が表示されます。

✓ サムネイル表示
プレビュー表示
JPEGプレビュー

M

■ 【サムネイル表示】

複数の画像を並べて表示します。また、画像には次の情報が表示されます。



■ 【プレビュー表示】

RAW画像ではRAW画像を、JPEG画像ではJPEG画像を1コマ表示します。

■ 【JPEGプレビュー】

RAW画像では、RAW画像内に同時記録されたJPEG画像 (Middle/Fine) を1コマ表示します。JPEG画像では、**【プレビュー表示】** 同様、1コマ表示します。



- File Viewer Utility起動時は、常にサムネイル表示となります。
- サムネイル表示されている画像をダブルクリックすると、プレビュー表示されます。
- ご使用のカメラで撮影したRAW画像には、JPEG画像 (Middle/Fine) が同時に記録されています。RAW画像を選んで **【JPEGプレビュー】** を選ぶと、RAW画像内のJPEG画像 (Middle/Fine) が表示されます。

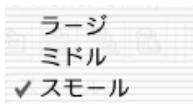
3

File Viewer Utilityで撮影画像を操作する

表示サイズを選ぶ

【表示サイズ】 リストボックスから **【ラージ】**、**【ミドル】**、**【スモール】** のいずれかを選ぶ

→ 選んだ表示サイズで画像が表示されます。



 プレビュー表示では、**【ラージ】** 100%（ピクセル等倍）、**【ミドル】** 50%、**【スモール】** 25%で表示します。

AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

1 **【表示モード】** リストボックスから **【プレビュー表示】** または、**【JPEGプレビュー】** を選ぶ (M-21)

2 **【AFフレーム表示】** ボタンを押す

→ 撮影時に使用したAFフレームが表示されます。

- 再度ボタンを押すと非表示になります。



 ワンショットAF撮影の画像では、ピントの合ったAFフレームを表示します。なお、AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

サムネイル画像の情報表示枠を表示／非表示にする

サムネイル画像の枠に表示される情報 (M-21) を非表示にして、表示する画像のコマ数を増やします。

1 **【表示モード】** リストボックスから **【サムネイル表示】** を選ぶ (M-21)

2 **【サムネイル枠表示／非表示】** ボタンを押す



- ➔ サムネイル画像の情報表示枠が非表示になります。
- 再度ボタンを押すとサムネイル画像の情報表示枠が表示されます。

メインウィンドウの表示を最新の状態にする

フォルダ内の画像をメインウィンドウに表示しているときに、フォルダツリー表示領域で、表示中のフォルダ内容を変更 (画像のコピーや削除) したときなど、選んでいるフォルダの内容とメインウィンドウの表示内容が違ってしまふことがあります。そのようなときに、変更されたフォルダ内容にあわせてメインウィンドウの表示を更新します。

【情報更新】 ボタンを押す

- ➔ メインウィンドウの表示が最新の状態に更新されます。



画像情報を表示／非表示にする

ヒストグラムと画像情報表示エリアを非表示にして、表示する画像のコマ数を増やします。

【表示】 メニュー ▶ **【情報表示エリア】** ▶ **【表示しない】** を選ぶ

- ➔ ヒストグラムと画像情報表示エリアが非表示になります。
- **【表示】** メニュー ▶ **【情報表示エリア】** ▶ **【表示する】** を選ぶとヒストグラムと画像情報表示エリアが表示されます。

選んだ画像に関する操作

画像にプロテクトをかける

大切な画像を間違えて消さないように、プロテクトをかけることができます。

【プロテクト】 ボタンを押す



➔ プロテクトが設定され、画像の情報表示枠に **【🔒】** が表示されます。

- **【プロテクト解除】** ボタンを押すと画像の情報表示枠から **【🔒】** が消え、設定が解除されます。



- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像にプロテクトがかけられます。
- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的に **【🔒】** が表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する処理は行うことができます。
- 一連の操作は画像を選んだあと、<control> + マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

【画像選択】 ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

- ➔ 条件をみたまの画像のみ選ばれます。



全てを選択	⌘A
プロテクトされている画像を全て選択	⌘L
プロテクトされていない画像を全て選択	⌘Y
選択解除	⌘U

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

画像を回転させる

- 右に回転させるときは【**右90度回転**】ボタンを押します。
 - 左に回転させるときは【**左90度回転**】ボタンを押します。
- ➔ 画像が選んだ方向に90度回転します。



- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が回転します。
- 「縦横自動回転表示」を設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で画像が表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- 一連の操作は画像を選んだあと、〈control〉+マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像を消去する

CFカードやコンピューターの中から不要な画像を消去することができます。

1

【画像消去】ボタンを押す

- ➔ 消去を確認する画面が表示されます。



2

【消去する】ボタンを押す

- ➔ 画像が消去されます。



- 一度消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト (M-24) をかけてください。
- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が消去の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。



- 一連の操作は画像を選んだあと、〈control〉+マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像には撮影時の情報が記録されています。画像を選ぶと、その情報を確認することができます。また、撮影情報をコピーして他のソフトウェアに貼り付けたり、コメントを入力することができます。

画像情報表示エリア

- ファイル名、カメラ機種名、撮影データなどの情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- 複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへ貼り付けることができます。



コメント入力ボックス

半角英数字で120文字（全角60文字）まで入力することができます。コメントを入力し、<return> キーを押します。



Adobe RGBで撮影されたときは

Adobe RGBで撮影した画像をレタッチソフトに転送して表示するときは、Adobe RGBに対応したレタッチソフトを使用し、RGBの設定を「Adobe RGB」にして表示してください。

画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

- 1 インデックス印刷したい画像を選ぶ (M-19)
- 2 **【ファイル】メニューから【インデックス印刷】を選ぶ**
→ プリント設定画面が表示されます。
- 3 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

RAW画像を現像する

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、コンピューターに表示されます。

- RAW画像の現像処理は次の操作を行ったときに行われます。
 - ・ サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき
 - ・ プレビュー表示および、サムネイル表示状態で、各種の現像処理設定を変更したとき
 - ・ TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
 - ・ TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
- ※ リニア処理や偽色緩和は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときのみ設定できる現像処理です。（M-43）

● 現像時間の目安

現像条件		現像時間
カメラ内のCFカードに保存されているRAW画像を現像処理したとき	サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき	約55秒
	TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき	約90秒
コンピューターのハードディスク上に保存されているRAW画像を現像処理したとき	サムネイル表示からプレビュー表示に切り換えたとき	約24秒
	TIFF形式に変換して、設定したレタッチソフトに画像を転送したとき	約63秒

- ・ 現像時間はあくまでも目安です。ご使用のコンピューター環境や画像により、現像時間は大きく異なります。
- ・ 現像時間は、当社試験基準によります。
（OS：OSX（10.2）／CPU：Power PC G4 700MHz／RAM：256MB使用時）
- ・ レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフトの起動時間を含んでいます。

RAW画像の現像条件を変更する

File Viewer Utilityでは、表示されたRAW画像をより使用目的に最適な画像にするため、現像処理条件を変更することができます。また、現像条件を変更する際は、デジタル露出補正やクリックホワイトバランスによるホワイトバランス調整など、カメラでは設定できない現像処理も条件に加えて現像処理することができます。

- 現像条件の変更は、基になっているRAW画像に手を加えるのではなく、設定した現像条件を仮想的に適用しています。そのため、何回でも条件を変更して現像処理をやりなおしたり、変更した現像条件を撮影時の設定に戻すことができます。

1 【機種依存処理モード】 リストボックスから 【EOS Kiss Digital】 を選ぶ (M-20)

2 現像条件を変更したいRAW画像を選ぶ (M-19)

- 現像条件の変更手順については次項目以降を参照してください。

3 画像を保存 (M-34)、転送 (M-40) する

- 各色何bitで保存、転送するかなどを【環境設定】画面の【RAW処理設定】タブ画面 (M-43) で設定することができます。

🔊 File Viewer Utilityで変更した現像条件は、File Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。そのため、現像条件を変更した画像は、TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存するか、レタッチソフトに転送してから保存してください。

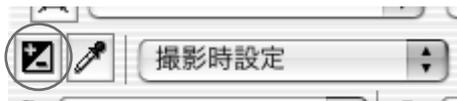
📄 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に設定した現像処理が適用されます。

明るさを補正する (デジタル露出補正)

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で補正することができます。

1 【デジタル露出補正】 ボタンを押す

- ➔ 【デジタル露出補正】画面が表示されます。



2 画像の明るさを補正する

- マウскарソールをスライダーに合わせて左右にスライドし、補正量を設定します。
- 【プレビュー】ボタンを押すと、設定した値によって、画像の明るさが補正されます。



3 【OK】 ボタンを押す

- ➔ 設定した補正值が画像に適用され、【デジタル露出補正】画面が閉じます。
- ➔ 補正を行った画像には、補正值が表示されます。

ホワイトバランスを調整する

画像のホワイトバランスを調整することができます。

ホワイトバランスは、[ホワイトバランス] リストボックスから設定値を選んで調整することができます。また、画像の白い部分を選んでホワイトバランスを調整する、クリックホワイトバランス機能を使うと、より細かなホワイトバランス調整を行うことができます。

ホワイトバランスを選ぶ

【ホワイトバランス】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

- 選べるホワイトバランスは、次の9種類です。
- ➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。

撮影時設定
 オート
 太陽光
 日陰
 くもり
 電球
 蛍光灯
 ストロボ
 色温度指定

ホワイトバランス	内 容	色温度/K(ケルビン)
撮影時設定	撮影時のホワイトバランスを適用するときに選びます。	—
オート	File Viewer Utilityが自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000~7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800~10000K(100Kステップ)の範囲で直接設定することができます。(M-30)	約2800~10000

色温度を設定する

【ホワイトバランス】リストボックスで【色温度指定】を選んだときは、ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で設定することができます。

1 【ホワイトバランス】リストボックスから【色温度指定】を選ぶ



2 色温度を入力する

- 【色温度】入力ボックスに、色温度を入力します。
- 入力範囲は、2800Kから10000Kまで（100Kステップ）です。



3 〈return〉キーを押す

➔ 設定した数値が、画像に適用されます。

クリックホワイトバランス

画像の白い部分を1か所選ぶだけで、自動的にホワイトバランスを調整します。

1 【クリックホワイトバランス】 ボタンを押す

- ➔ 画像の上にカーソルを移動すると、カーソルが【スポイト】アイコンに変わります。



2 画像の白い部分をクリックする



- ➔ 選んだ部分が白くなるようにホワイトバランスが調整されて表示されます。
- 再度、別の場所を選んで調整するときは、【クリックホワイトバランス】 ボタンを押して、白い部分を選びます。



クリックホワイトバランスを使用すると、【ホワイトバランス】 リストボックスには【白点指定】が表示されます。

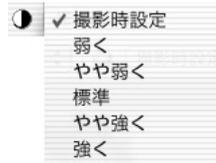
画像の色を調整する

画像の色（コントラスト、色の濃さ、色あい）を調整することができます。色の調整は、それぞれのリストボックスから設定値を選んで行います。

コントラストを調整する

【コントラスト】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

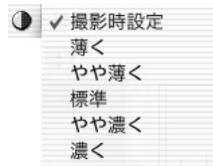
➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



色の濃さを調整する

【色の濃さ】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



色あいを調整する

【色あい】 リストボックスから、好みの設定値を選ぶ

➔ 選んだ設定値が、画像に適用されます。

● [-2] は強く、[-1] は弱く、肌色が赤めに調整されます。

[0] は、標準的な色みで調整されます。

[+2] は強く、[+1] は弱く、肌色が黄色めに調整されます。

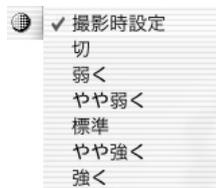


シャープネスを調整する

画像の輪郭を強調するための調整をすることができます。

【シャープネス】 リストボックスから好みの設定値を選ぶ

→ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



色空間を設定する

撮影した画像の色空間を変更することができます。

【色空間】 リストボックスから好みの設定値を選ぶ

→ 選んだ設定値が、画像に適用されます。



【Adobe RGB】 に設定した画像をレタッチソフトに転送して表示するときは、Adobe RGB に対応したレタッチソフトを使用し、RGBの設定を「Adobe RGB」にして表示してください。

RAW画像の現像条件をコピーする

1つのRAW画像に対して行った現像条件（デジタル露出補正やホワイトバランス調整などの設定値）を、簡単に他の画像に反映することができます。

1 各種の現像処理を行ったRAW画像を〈control〉+クリックして、表示されるメニューから【現像条件をコピー】を選ぶ

2 現像条件を反映したいRAW画像を〈control〉+クリックして、表示されるメニューから【現像条件を貼りつけ】を選ぶ

→ コピーした現像条件が、選んだRAW画像に反映されます。

- 現像条件をコピーしてから複数のRAW画像を選び（M-19）、いずれかの画像上で〈control〉+クリックして表示されるメニューから、【現像条件を貼りつけ】を選ぶと、選んだすべての画像に現像条件を反映することができます。



変更した現像条件は、File Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。（M-27）

画像を保存する

CFカードに入っている撮影画像をコンピューターに保存する方法や、RAW画像からJPEG画像を簡単に抽出してコンピューターに保存する方法、複数の撮影画像をインデックスファイルとしてコンピューターに保存する方法について説明します。

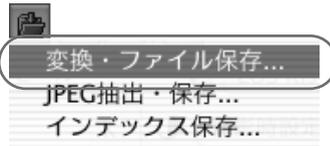
画像をカメラからコンピューターに保存する

撮影した画像は、一度コンピューターに保存することをおすすめします。

1 保存したい画像を選ぶ (M-19)

2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから【変換・ファイル保存】 を選ぶ

→ 【ファイル保存】 画面が表示されます。



3 各項目を設定して【OK】 ボタンを押す

→ 選んだフォルダに画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 保存する画像にRAW画像が含まれているときに選びます。

【変換しない】 / **【Exif-JPEG】** / **【Exif-TIFF(8bit/ch)】** / **【TIFF(16bit/ch)】** から選びます。

保存後のファイル拡張子は、次のようになります。

変換形式	ファイル拡張子
変換しない	_CRW
Exif-JPEG 形式	_RJ.JPG
Exif-TIFF(8bit/ch) 形式	_RT8.TIF
TIFF(16bit/ch) 形式	_RT16.TIF

- ❶ リニア処理を行うときは、**【環境設定】** 画面 (M-43) でリニア処理を設定し、**【TIFF(16bit/ch)】** を選んで保存します。また、リニア処理を設定しても、**【Exif-TIFF(8bit/ch)】** を選んで保存した画像には、リニア処理は適用されません。
- 6 **【RAWから他の形式への変換】** リストボックスで **【Exif-JPEG】** を選んだときに、**【圧縮率】** (画質) を設定することができます。設定できる圧縮率は **【4 (最高画質)】** ~ **【1 (やや高圧縮率)】** の4種類です。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像に変換します。
- 7 画像の名称を変更しないで保存したいときにチェックします。
- 8 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字 (全角6文字) です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある **【例】** の部分にファイル名の例が表示されます。
- 9 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 10 ファイル番号の開始番号を設定します。
- 11 ご使用のカメラで撮影した画像は、本機能に対応していません。
- 12 ご使用のカメラで撮影した画像は、本機能に対応していません。

 一連の操作は画像を選んだあと、<control> + マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

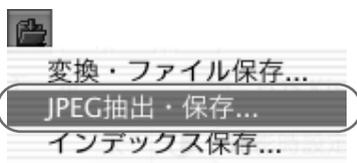
RAW画像からJPEG画像を抽出する

ご使用のカメラで撮影したRAW画像には、JPEG画像（Middle/Fine）が同時に記録されています。ご使用のカメラで撮影したRAW画像を選んでJPEG抽出を行うと、RAW画像内のJPEG画像（Middle/Fine）をコンピュータに保存することができます。

1 JPEG画像を抽出したいRAW画像を選ぶ（M-19）

2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから【JPEG抽出・保存】を選ぶ

→ 【JPEG抽出・保存】画面が表示されます。



3 各項目を設定して【OK】 ボタンを押す

→ 選んだフォルダにJPEG画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 RAW画像の名称を変更しないで保存したいときにチェックします。
- 6 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある **【例】** の部分にファイル名の例が表示されます。
- 7 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 8 ファイル番号の開始番号を設定します。



一連の操作は画像を選んだあと、〈control〉+マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

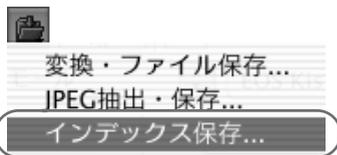
画像をインデックスファイルとして保存する

複数の画像をインデックス画像とし、1つのJPEGファイルとしてコンピューターに保存します。

1 インデックス保存したい画像を選ぶ (M-19)

2 **【ファイル保存】** ボタンを押して表示されるメニューから **【インデックス保存】** を選ぶ

→ **【インデックスシートオプション】**
画面が表示されます。



3 各設定を入力して **【OK】** ボタンを押す
→ **【ファイル保存】** 画面が表示されます。



- 1 作成するインデックスシートの幅を入力します。設定できる範囲は、4～11 inchです。
- 2 作成するインデックスシートの高さを入力します。設定できる範囲は、4～11 inchです。
- 3 インデックス画像の解像度を入力します。設定できる範囲は、50～300pixels / inchです。
- 4 入力された幅、高さ、解像度から、推定される画像の容量を表示します。
- 5 インデックスシートオプションの設定を中止します。
- 6 設定内容が適用され、**【インデックスシートオプション】** 画面が閉じます。

4 各項目を設定して【OK】ボタンを押す

➔ 選んだフォルダにインデックス画像が保存されます。



- 1 選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。カメラ内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときは、選ぶことはできません。コンピューターや、カードリーダー内のCFカードに保存されている画像を選んでいるときのみ、選ぶことができます。
- 2 画像の保存先となるフォルダを指定することができます。
- 3 **【以下の指定フォルダに保存】** ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
- 4 画像の保存先となるフォルダが表示されます。
- 5 ファイル番号の前に付ける分類用のテキストです。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある【例】の部分にファイル名の例が表示されます。
- 6 ファイル番号の桁数を最大9桁まで設定できます。
- 7 ファイル番号の開始番号を設定します。



一連の操作は画像を選んだあと、〈control〉+マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

レタッチソフトに画像を送る

File Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送するための設定と手順について説明します。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshop Elements 2.0など市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

画像転送の設定をする

画像を転送するには、転送先となるレタッチソフトと転送画像を保存するためのフォルダを設定する必要があります。ここでは、Photoshop Elements 2.0へ画像を転送するための設定方法を例に説明します。

1 【環境設定】画面の【一般設定】タブ画面を表示する (M-42)

2 【画像転送先アプリケーション】の【参照】ボタンを押す

➔ 【アプリケーションの選択】画面が表示されます。



3 【Photoshop Elements 2.0】を選び、【選択】ボタンを押す

- Photoshop Elements 2.0をインストールしたドライブ ▶ 【Adobe Photoshop Elements 2】フォルダ ▶ 【Photoshop Elements 2.0】の順に選びます。
- ➔ 画像を転送するためのレタッチソフトに、Photoshop Elements 2.0が設定され、【一般設定】タブ画面が表示されます。

4 【画像転送用フォルダ】の【参照】ボタンを押す

➔ 【転送用フォルダの選択】画面が表示されます。



5 転送する画像を保存するためのフォルダを選び、【選択】ボタンを押す

➔ フォルダが設定され、【一般設定】タブ画面が表示されます。

6 【OK】ボタンを押す

➔ 設定内容が適用され、【環境設定】画面が閉じ、終了します。

 画像転送設定は、転送先となるレタッチソフトや画像を保存するフォルダを変更しない限り、毎回設定する必要はありません。

画像を転送する

File Viewer Utilityに表示されている画像を、レタッチソフトへ転送する手順について説明します。ここでは、Photoshop Elements 2.0を例に説明しますが、「画像転送の設定をする」(M-40)で、他のレタッチソフトを設定したときでも、同様の手順で転送を行います。

1 転送する画像を選ぶ (M-19)

2 【画像転送モード】 リストボックスで転送モードを選ぶ

- 選べる転送モードは次の2種類です。

【1コマで転送】：

選んでいる画像をそれぞれ1コマの画像として転送します。

【インデックス画像で転送】：

選んでいる画像のサムネイル画像を作成し、インデックスシート (JPEG形式) として転送します。

✓ 1コマで転送
インデックス画像で転送

3 【画像転送】 ボタンを押す

- ➔ 【インデックス画像で転送】 が選ばれているときは、【インデックスシートオプション】画面が表示されます。
- ➔ 【1コマで転送】 が選ばれているときは、画像の転送が開始されます。
- 【インデックスシートオプション】画面の設定については、「画像をインデックスファイルとして保存する」(M-38)、手順3を参照してください。



4 各設定を入力して 【OK】 ボタンを押す

- ➔ Photoshop Elements 2.0が起動し、転送された画像が表示されます。
- ➔ 転送された画像は、設定した画像転送用フォルダに保存されます。
- ➔ RAW画像は、現像処理のあとTIFF形式に変換されて転送されます。



一連の操作は画像を選んだあと、〈control〉+マウスボタンをクリックして表示されるメニューでも行うことができます。

環境設定をする

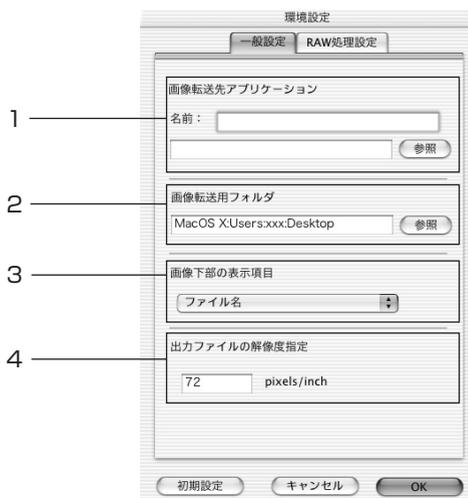
画像転送に関する各種の設定と、画像転送や保存のときに適用されるRAW画像の現像処理内容を設定することができます。

- 1 **【環境設定】 ボタンを押す**
→ **【環境設定】** 画面が表示されます。



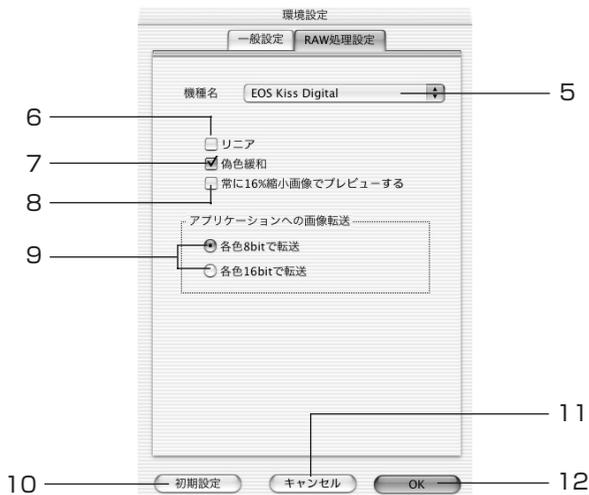
- 2 **【一般設定】 タブ、または【RAW処理設定】 タブを選ぶ**
→ タブ画面が表示されます。

- 3 **各項目を設定して【OK】 ボタンを押す**
→ 設定内容が適用され、**【環境設定】** 画面が閉じ、終了します。



● **【一般設定】** タブ画面で設定できる項目は次のとおりです。

- 1 **【画像転送】** ボタン (M-41) を押したときに、画像の転送先となるレタッチソフトを設定します。(M-40)
- 2 レタッチソフトに転送する画像を保存するためのフォルダを設定します。(M-40)
- 3 画像の下に表示する情報を設定します。リストボックスで、**【ファイル名】**、または**【撮影日時】** を選びます。
- 4 Photoshop Elements 2.0などのレタッチソフトに画像を転送するときの解像度を設定します。設定できる範囲は、10~2000pixels / inchです。



● 【RAW処理設定】 タブ画面で設定できる項目は次のとおりです。

ここでは、【機種名】 リストボックスで 【EOS Kiss Digital】 を選んだときの項目について記載しています。

5 【EOS Kiss Digital】 を選びます。

※ 機種名リストに表示されるカメラ機種名は、キヤノン製カメラで撮影した画像が接続しているカメラ内のCFカードや、選んだフォルダ内に保存されていると自動的に追加されます。

- 6 チェックすると、画像の調整は行われません。独自にレタッチソフトで詳細な画像調整を行いたいときに選びます。
- 7 チェックすると偽色が緩和されます。
- 8 チェックするとプレビュー表示したときに16%に縮小された画像が表示されます。
- 9 bit数を、【各色8bitで転送】、【各色16bitで転送】 から選びます。

● 次のボタンはどのタブ画面を選んでも表示されます。どのタブ画面を表示しているときでも同じ動作をします。

- 10 表示しているタブ画面の内容を、すべて初期設定に戻します。
- 11 設定内容をすべて破棄して、変更前の状態に戻し、終了します。
- 12 設定内容が適用され、【環境設定】 画面が閉じ、終了します。



【機種名】 リストボックスで他のカメラを選んだときは、各カメラで設定可能な内容が表示されます。

カメラ設定をする

所有者名と日付／時刻の設定をカメラに適用することができます。カメラに適用した所有者名と日付／時刻は撮影画像に記録されます。

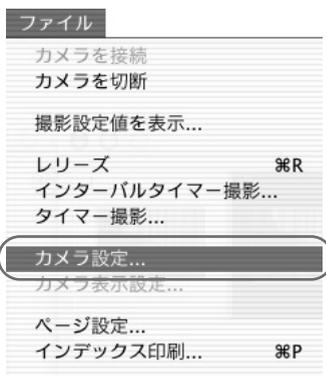
また、CFカードのフォーマット（初期化）の他、カメラのプロパティ情報やバッテリー、CFカードの状態を確認することができます。

【カメラ設定】 画面を表示する

- File Viewer Utilityから表示するときは、メインウィンドウの【カメラ設定】 ボタンを押します。



- RemoteCaptureから表示するときは、【ファイル】メニューから【カメラ設定】 を選びます。



- ImageBrowserから表示するときは、カメラウィンドウの【設定】 ボタンを押して表示されるメニューから【カメラ設定】 を選ぶか、【キヤノンカメラ】メニュー ▶【設定】 ▶【カメラ設定】 を選びます。カメラウィンドウの表示方法については、5章「ImageBrowserで撮影画像を操作する」を参照してください。



- ➔ 【カメラ設定】 画面が表示されます。

所有者名と日付／時刻を設定する

1 所有者の名称を入力する

- 名称はキーボードで入力します。半角英数字で31文字（全角15文字）まで入力できます。

2 日付と時刻を設定する

- 日付／時刻をマウスで選び、**【▲】** / **【▼】** ボタン（OS 9では **【↑】** / **【↓】** ボタン）を押して設定するか、キーボードで入力します。また **【マックに合わせる】** チェックボックスをチェックする（OS 9では、**【マックに合わせる】** ボタンを押す）とコンピュータの日付／時刻データを取り込みます。

3 **【適用】** ボタンを押す

- ➔ 所有者名、日付／時刻がカメラに適用されます。
- **【適用】** ボタンを押したあとは、所有者名、日付、時刻のいずれかを再設定するまで押せない状態になります。
- **【OK】** ボタンを押すと設定内容が適用され **【カメラ設定】** 画面が閉じ、終了します。

4

コンピューターから カメラを操作する

この章では、RemoteCaptureを用いたリモート撮影、タイマー撮影、インターバルタイマー撮影などについて説明します。

- RemoteCaptureの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

はじめにお読みください：[Canon Utilities] フォルダ ▶ [RemoteCapture] フォルダ ▶ [はじめにお読みください] の順にダブルクリックして表示します。

ヘルプ：[ヘルプ] メニューから [RemoteCaptureヘルプ] を選んで表示します。

RemoteCaptureを起動する

1 カメラとコンピューターを接続する (M-9)

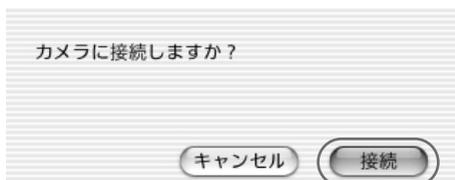
- OS 9では、ImageBrowserが起動して、[自動実行] 画面が表示されます。[キャンセル] ボタンを押して [ファイル] メニューから [終了] を選び、ImageBrowserを終了します。

2 [Canon Utilities] フォルダ ▶ [RemoteCapture] フォルダ ▶ [RemoteCapture] の順にダブルクリックして起動する

- ➔ [カメラに接続しますか?] 画面が表示されます。

3 [接続] ボタンを押す

- [通信設定] 画面が表示されたときは、[ポート選択] リストボックスから [USBポート]、[検出されたカメラ] リストボックスからご使用のカメラを選び、[設定] ボタンを押します。
- ➔ 撮影ウィンドウと保存ウィンドウが表示されます。



撮影ウィンドウ

撮影可能枚数
コンピューター、またはカメラ内のCFカードに保存できる画像の枚数が表示されます。

サイズ/画質リストボックス
記録画質を選びます。



リリースボタン

撮影を行います。撮影した画像は、自動的にコンピューターに保存されます。カメラのシャッターボタンを直接押しても、撮影した画像はコンピューターに保存されます。

▶ 詳細設定ボタン

撮影ウィンドウの下に詳細設定画面を表示し、各種の設定を行うことができます。再度押すと詳細設定画面を閉じます。

保存ウィンドウ

サムネイルビュー

撮影した画像がサムネイルで表示されます。

RAW画像には

[RAW] マークが表示されます。JPEG画像には、マークは表示されません。

削除ボタン

サムネイルビューで選んだ画像を削除します。削除した画像は、コンピューター上から完全に削除されますので、画像をよく確認してから削除してください。

切断ボタン

カメラとの接続を解除します。

表示ボタン

サムネイルビューで選んだ画像を、別の画面で拡大表示します。

ヒストグラム

画像の明るさの分布が表示されます。

画像情報

画像の詳細情報が確認できます。

画像表示エリア

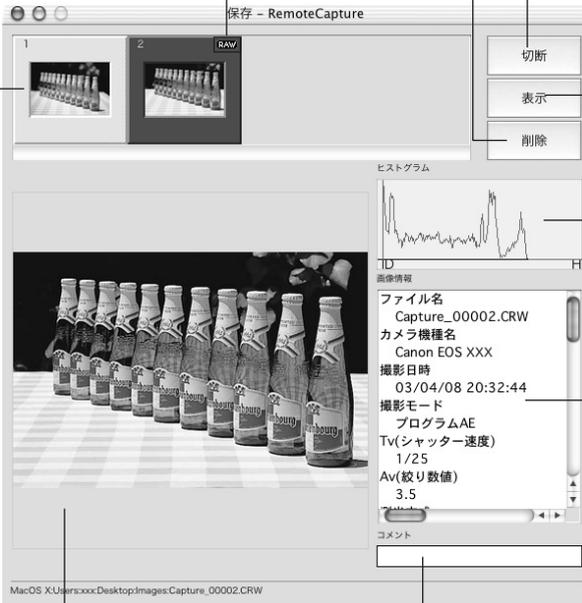
サムネイルビューで選ばれている画像が表示されます。

コメント入力ボックス

画像にコメントを入力することができます。

※ 上記のウィンドウは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- OS XでのRemoteCaptureの終了は、**[RemoteCapture]** メニューから**[RemoteCaptureを終了]** を選びます。
- OS 9でのRemoteCaptureの終了は、**[切断]** ボタンを押して**[ファイル]** メニューから**[終了]** を選びます。
- **[ファイル]** メニューから**[カメラ設定]** を選ぶと、カメラ設定 (M-44) を行うことができます。



RemoteCaptureを操作する

コンピューターからカメラをコントロールして、1枚撮影やタイマー撮影、インターバルタイマー撮影を行うことができます。撮影された画像は自動的にコンピューターへ保存されます。RemoteCaptureで撮影し、コンピューターに保存された画像は、カメラで撮影した画像と同じようにFile ViewerのUtilityで表示したり、現像処理をすることができます。RemoteCaptureの詳しい操作方法については、ヘルプを参照してください。

- ❶ RemoteCaptureの操作は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、手順通りの操作ができません。

コンピューターから撮影する

1 カメラを撮影できる状態にする

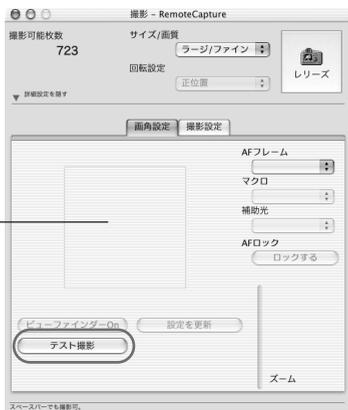
2 各種の設定を行う

- サイズや画質の設定は「撮影ウィンドウ」(M-48)を参照してください。
- 撮影画像の保存については、「初期設定」(M-53)を参照してください。

3 テスト撮影を行う

- 撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押し、表示される詳細設定画面で【**画角設定**】タブを選んだあと、【**テスト撮影**】ボタンを押します。
- ➔ テスト撮影した画像が、テスト撮影表示エリアに表示されます。

テスト撮影表示
エリア



4 【リリース】ボタンを押す

- ➔ 撮影された画像がコンピューターに保存され、画像が表示されます。
- 画像を拡大して確認したいときは、画像を選んで【**表示**】ボタンを押します。
- 画像を削除したいときは、画像を選んで【**削除**】ボタンを押します。

転送時間の目安

転送時間	約59秒
------	------

- 転送時間はあくまでも目安です。ご使用のコンピューター環境や画像により、転送時間は大きく異なります。
- 転送時間は、当社試験基準によります。
(OS : OSX (10.2) / CPU : Power PC G4 700MHz / RAM : 256MB使用時、
【コンピュータにのみ保存】に設定して、撮影ウィンドウ上のリリースボタンを押したときに、保存ウィンドウにRAW画像が表示されるまでの時間)
- JPEG画で撮影したときは、上記の時間より短くなります。



- オートフォーカスではピントが合わないと撮影できません。
オートフォーカスで撮影できないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてから撮影してください。
- 縦位置でテスト撮影した画像は、テスト撮影表示エリアに正位置で表示されます。



取り込んだ画像を回転させたいときは、画像を選んだあと【編集】メニューから、【保存画像を右90度に回転】または、【保存画像を左90度に回転】を選びます。

タイマー撮影

何秒後に撮影するかを設定し、設定した秒数後に撮影されます。

1

【ファイル】メニューから【タイマー撮影】を選ぶ

→ 【タイマー撮影】画面が表示されます。

2

タイマー設定（秒数）を入力して【開始】ボタンを押す

- 1秒単位、2秒から30秒までの範囲で設定します。
- 入力した秒数が経過したあと、タイマー撮影が行われます。

インターバルタイマー撮影

撮影間隔と撮影枚数を設定し、撮影することができます。

1 【ファイル】メニューから【インターバルタイマー撮影】を選ぶ
→ インターバルタイマー撮影時の警告画面が表示されます。

2 警告の内容を確認して【はい】ボタンを押す
→ 【インターバルタイマー撮影】画面が表示されます。

3 撮影間隔と全撮影枚数を入力して【開始】ボタンを押す

- 撮影間隔は1秒単位、5秒から60分までの範囲で設定します。
- 撮影枚数は、最大9999枚まで設定できます。

→ 入力した撮影間隔で、入力した枚数のインターバルタイマー撮影が行われます。

 ご使用のコンピューターによっては撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

 最大撮影枚数は、コンピューターのハードディスク空き容量により、設定できる枚数が、9999枚より少なくなることがあります。設定できる撮影枚数は、撮影ウィンドウの撮影可能枚数表示で確認することができます。(M-48)

撮影設定値を確認する

撮影時のカメラ設定の内容を確認することができます。

【ファイル】メニューから【撮影設定値を表示】を選ぶ
→ 【撮影設定値】画面が表示され、撮影時のカメラ設定内容が表示されます。

- 【OK】ボタンを押すと、【撮影設定値】画面が閉じます。

画像を印刷する

撮影した画像を印刷することができます。サムネイルビューに表示されているすべての画像をインデックス状に印刷します。撮影時刻やファイル名も同時に印刷されます。

1 【ファイル】メニューから【インデックス印刷】を選ぶ
→ プリント設定画面が表示されます。

2 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

RemoteCaptureを設定する

RemoteCaptureを操作するための各種の設定を行います。設定には、撮影した画像をコンピュータに保存するための初期設定と、撮影設定をコンピュータからリモート操作で行うための詳細設定があります。

初期設定

撮影画像の保存先やファイル名を設定します。

1 [RemoteCapture] メニューから [環境設定] を選ぶ

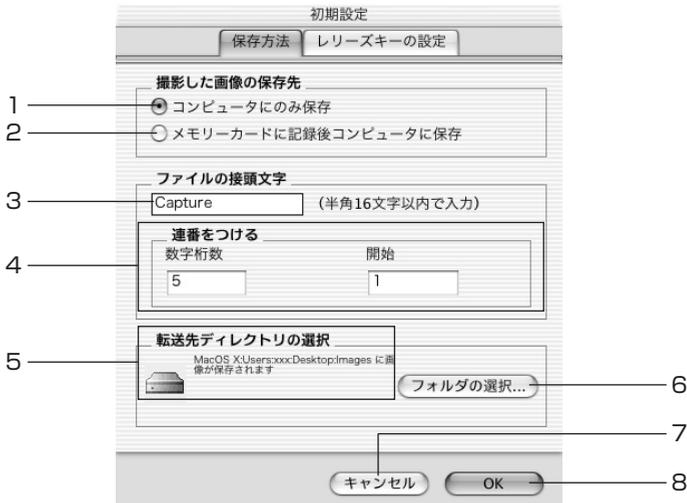
➔ [初期設定] 画面が表示されます。

● OS 9をお使いのときは、[ファイル] メニューから [初期設定] を選びます。

➔ [初期設定] 画面が表示されます。

2 各項目を設定して [OK] ボタンを押す

➔ 設定内容が適用され、[初期設定] 画面が閉じ、終了します。



M

4

コンピュータからカメラを操作する

- 1 カメラにCFカードを入れていなかったり、カメラ内のCFカードがいっぱいでも撮影できません。
- 2 撮影した画像をコンピューターとカメラ内のCFカードの両方に保存します。
- 3 撮影画像を保存するときのファイル名を入力します。
※ ファイル名は半角英数字で16文字（全角で8文字）まで入力できます。
- 4 ファイル名の後につける連番の桁数と開始番号を設定します。
※ **【ファイルの接頭文字】** ボックスに **【Capture】**、**【数字桁数】** ボックスに **【5】**、**【開始】** ボックスに **【1】** を入力すると、保存されるファイル名には **【Capture_00001.JPG】** または **【Capture_00001.CRW】** から始まる連番のファイル名が、自動的に付けられます。
- 5 ファイルの保存先となるフォルダをディレクトリーで表示します。
- 6 ファイルの保存先となるフォルダを選びます。
- 7 設定内容をすべて破棄して、変更前の状態に戻し、終了します。
- 8 設定内容が適用され、**【初期設定】** 画面が閉じ、終了します。



【リリースキーの設定】 タブを選ぶと、リリース用のホットキーを設定することができます。

詳細設定

ホワイトバランスや露出補正などの撮影設定を、コンピューターからリモート操作で行えます。

- 詳細設定は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、設定できない項目があります。
- カメラの撮影モードが単撮影ゾーンに設定されているときは、撮影設定は行えません。カメラの撮影モードを応用撮影ゾーンに設定してください。

M

1 詳細設定画面を表示する

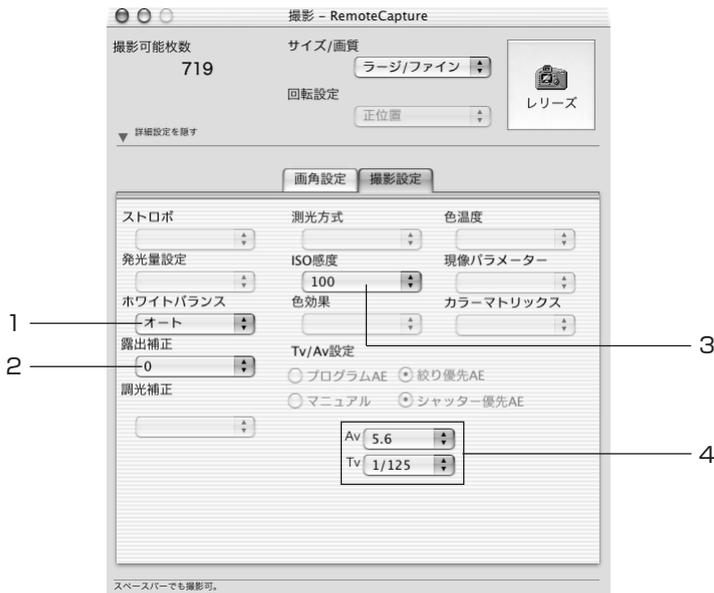
- 撮影ウィンドウの【▶】（詳細設定ボタン）を押します。

2 【撮影設定】タブを選ぶ

- ➔ 【撮影設定】タブ画面が表示されます。

3 各項目を設定して詳細設定画面を閉じる

- 撮影ウィンドウの【▼】（詳細設定を隠す）ボタンを押します。



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

4

コンピューターからカメラを操作する

- 1 ホワイトバランスを設定することができます。
- 2 露出補正を行うことができます。
(カメラの撮影モードがプログラムAE、シャッター優先AE、絞り優先AE、自動深度優先AEに設定されているときのみ有効です)
- 3 ISO感度を設定することができます。
- 4 Av (絞り数値)、Tv (シャッター速度) の設定を行うことができます。
(カメラの撮影モードがシャッター優先AE、絞り優先AE、マニュアル露出に設定されているときのみ、設定可能な項目が表示されます)

5

ImageBrowserで 撮影画像を操作する

この章では、ImageBrowserを使ってカメラの画像をコンピューターに取り込み、印刷するまでの操作の流れについて説明します。

- ImageBrowserの操作方法については、下記の情報もあわせて参照してください。

はじめにお読みください：【Canon Utilities】フォルダ ▶【ImageBrowser】
フォルダ ▶【はじめにお読みください】の順にダブル
クリックして表示します。

ヘルプ：【ヘルプ】メニューから【ImageBrowserヘルプ】を選んで表示します。

ソフトウェアガイド：キャノンのホームページからダウンロードして表示しま
す。詳しくは「ZoomBrowser EX/ImageBrowserソフ
トウェアガイドについて」(A-7)を参照してください。

ImageBrowserを起動する

1 カメラとコンピューターを接続する (M-9)

➔ OS 9では、ImageBrowserが起動して【自動実行】画面が表示されます。

● 自動実行を行わないときは、【キャンセル】ボタンを押して【自動実行】画面を終了します。

➔ 自動実行を行うときは「自動実行画面から自動起動する」(M-60)へ進んでください。

2 【Canon ImageBrowser】アイコンをダブルクリックする

● デスクトップの【Canon ImageBrowser】アイコンまたは、インストール時に指定したフォルダ内に保存されている【Canon Utilities】フォルダ ▶ 【ImageBrowser】フォルダ ▶ 【ImageBrowser】アイコンの順にダブルクリックします。



OS X



OS 9

➔ ImageBrowserを起動するとブラウザウィンドウが表示されます。

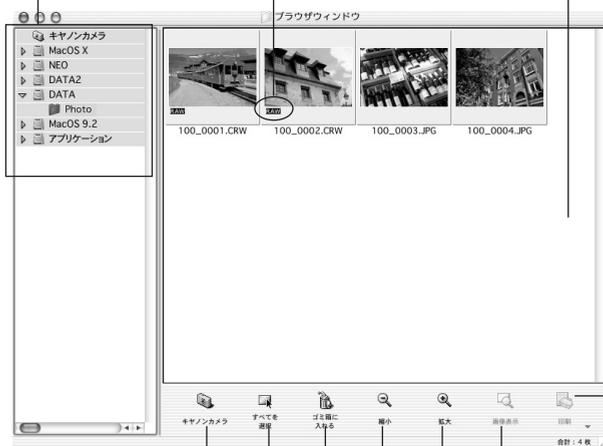
ブラウザウィンドウ

フォルダエリア

RAW画像には、【RAW】マークが表示されます。

ブラウザーエリア

フォルダエリアで選ばれたフォルダ内の画像が表示されます。



カメラと接続し、カメラウィンドウを表示します。

すべての画像を選ぶときに押します。

画像を削除するときに押します。

画像を拡大、縮小するときに押します。

画像を表示するときに押します。

画像を印刷するときに押します。

3 【キヤノンカメラ】 ボタンを押す

- ➔ カメラウィンドウが表示され、カメラ内のCFカードに保存されている撮影画像が表示されます。

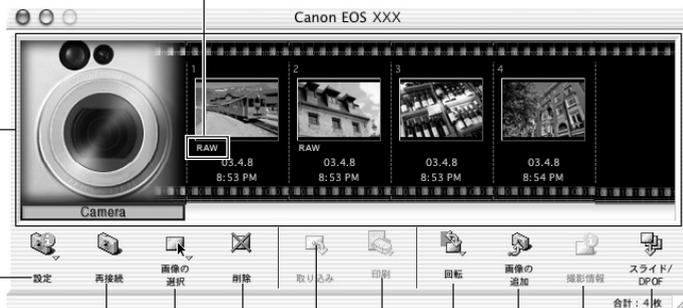


- 【通信設定】画面が表示されたときは、【ポート選択】リストボックスから【USBポート】、【検出されたカメラ】リストボックスからは接続しているカメラを選び、【設定】ボタンを押します。
- フォルダエリアの【キヤノンカメラ】アイコンをクリックしても、カメラウィンドウを表示することができます。

カメラウィンドウ

カメラまたはCFカードのイメージが表示されます。

RAW画像には、【RAW】マークが表示されます。JPEG画像には、マークは表示されません。



カメラの各種設定ができます。設定方法は、「カメラ設定をする」(M-44)を参照してください。

カメラとコンピューターの再接続をします。

カメラウィンドウに表示されているすべての画像を一度に選ぶことができます。

画像を削除するときに押します。

RAW

RAW

03.4.8 8:53 PM

03.4.8 8:53 PM

03.4.8 8:53 PM

03.4.8 8:54 PM

合計：4枚

スライドショー、DPOFプリント指定情報を編集することができます。

撮影時の情報を表示します。

コンピューター内の画像をカメラ内のCFカードに保存します。

画像を回転します。

画像を印刷するときに押します。

選んだ画像をコンピューターに取り込みます。

- OS XでのImageBrowserの終了は、【ImageBrowser】メニューから【ImageBrowserを終了】を選びます。
- OS 9でのImageBrowserの終了は、【ファイル】メニューから【終了】を選びます。

自動実行画面から自動起動する

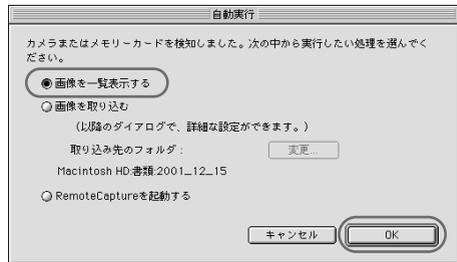
OS 9では、カメラとコンピューターを接続したときに表示される【自動実行】画面からImageBrowserを自動的に起動することができます。

1 カメラとコンピューターを接続する (M-9)

→【自動実行】画面が表示されます。

2 【画像を一覧表示する】ラジオボタンが選ばれていることを確認し、【OK】ボタンを押す

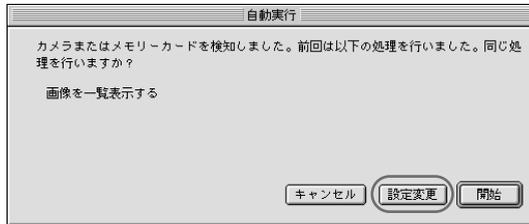
→カメラウィンドウとブラウザウィンドウが表示されます。



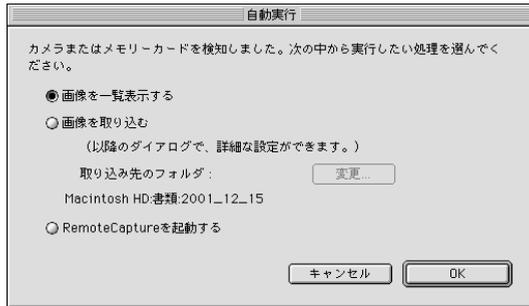
- 【通信設定】画面が表示されたときは、【ポート選択】リストボックスから【USBポート】、【検出されたカメラ】リストボックスからは接続しているカメラを選び、【設定】ボタンを押します。
- 市販のカードリーダーをコンピューターと接続したときも、同様の手順でImageBrowserを起動します。
- カメラとコンピューターの接続時に、ImageBrowserを起動させないように設定したいときは、「ImageBrowserの自動起動を解除する」(M-62)を参照してください。

2回目以降にImageBrowserを自動起動したときは

【自動実行】画面に、前回選んだ自動処理の設定が表示されます。そのままの設定を実行するときは【開始】ボタンを、何も実行しないときは【キャンセル】ボタンを、設定を変更するときは【設定変更】ボタンを押します。



⇒ 【設定変更】ボタンを押すと、画面が次のように替わります。



- 【画像を一覧表示する】ラジオボタンを選んだときは、【OK】ボタンを押します。
- ⇒ カメラウィンドウが表示されます。
- 【画像を取り込む】ラジオボタンを選んだときは、【次へ】ボタンを押したあと、表示される画面内容にしたがって操作します。
- ⇒ カメラ内の画像が取り込まれます。
- 【RemoteCaptureを起動する】ラジオボタンを選んだときは、【OK】ボタンを押します。
- ⇒ RemoteCaptureが起動します。(M-48)

ImageBrowserの自動起動を解除する

OS 9では、カメラとコンピューターを接続したときに、ImageBrowserが自動的に起動しないように設定することができます。

1 (アップル) メニュー ▶ **【コントロールパネル】 ▶ 【Canon ImageBrowser Auto Launch】** を選ぶ

➔ **【USBカメラ接続時設定】** 画面が表示されます。

2 **【カメラ接続時に以下のアプリケーションを起動する】** チェックボックスのチェックを外す



3 **【USBカメラ接続時設定】** 画面を閉じる

● 画面左上の **【□】** を押して終了します。

➔ 次の接続から、ImageBrowserは自動的に起動しなくなります。

画像を取り込み保存する

カメラやカードリーダー内のCFカードに保存されている画像を取り込んでコンピューターに保存します。

1 画像を表示する

- ブラウザウィンドウの【キヤノンカメラ】 ボタンを押します。
- ➔ カメラウィンドウが表示され、カメラ内のCFカードに保存された撮影画像が表示されます。



- 【通信設定】画面が表示されたときは、【ポート選択】リストボックスから【USBポート】、【検出されたカメラ】リストボックスから接続しているカメラを選び、【設定】ボタンを押します。
- フォルダエリアの【キヤノンカメラ】アイコンをクリックしても、カメラウィンドウを表示することができます。
- 市販のカードリーダーを使い、カードリーダー内のCFカードや、コンピューターに保存されている撮影画像を表示するときは、フォルダエリアの【EOS_DIGITAL】アイコンの左にある【▶】をクリックして、表示される【DCIM】アイコンをダブルクリックします。

2 画像を選んで【取り込み】ボタンを押す

- 画像を選ぶときは、取り込みたい画像をクリックします。
- 複数の画像を選ぶときは、〈Shift〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 選んだ画像を再度クリックすると、選ばれた状態を解除します。



- ➔ 【フォルダの選択】画面が表示されます。
- ➔ OS 9では、【フォルダ選択】画面が表示されます。

3 画像の取り込み先を選んで【選択】ボタンを押す

→ 画像の取り込みが開始され、取り込まれた画像がブラウザウィンドウに表示されます。



- カメラウィンドウに表示されている画像を、ブラウザエリアやフォルダエリアへドラッグ アンド ドロップしても、コンピューターへ画像を取り込めます。
- カメラとの接続を終了するときは、カメラウィンドウの、【ファイル】メニューから【閉じる】を選び、終了します。

画像を印刷する

1 画像をブラウザウィンドウに表示する (M-63)

2 ブラウザーエリアで印刷したい画像を選ぶ

3 【印刷】 ボタンを押して表示されるメニューから【レイアウト印刷】を選ぶ → 【レイアウト選択】 画面が表示されます。



M

4 レイアウトを選び、【次へ】 ボタンを押す

- ここでは、【自由に並べて印刷】 ラジオボタンを選びます。
- 【レイアウト選択】 画面の用紙設定画面が表示されます。

画像の大きさや位置を自由に決めて、自分好みのデザインをしたいときに選びます。

画像をインデックス状に並べて印刷したいときに選びます。

L版、名刺サイズなどの固定サイズの用紙に、できるだけ詰め込んで印刷したいときに選びます。

1ページに何コマという指定に合わせて、紙全体にすまなく画像をレイアウトして印刷します。(フチなし全面印刷対応プリンターをお使いのときは、【フチなし印刷】が表示されます)



※ プリントモードの項目は、お使いのプリンターによって異なります。



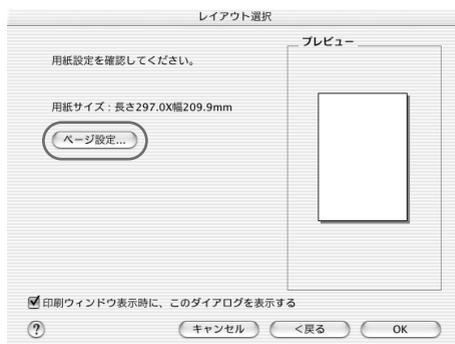
- 【自由に並べて印刷】 ラジオボタンを選ぶと、写真の大きさや位置を自由に指定して印刷することができます。また、その他のプリントモードを選ぶことで、画像をインデックス状に並べて印刷したり、タイル状に敷きつめて印刷することができます。
- OS 9で、ミシン目入り用紙に対応したキヤノン製プリンターをお使いのときは、【キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷】 ラジオボタンが表示され、キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷することができます。
- 手順4の設定内容は、手順3で選んだ印刷の種類によって異なります。

5

Image Browserで撮影画像を操作する

5 【ページ設定】 ボタンを押す

- OS 9では、【用紙設定】 ボタンを押します。
- 表示される設定画面で、用紙のサイズや印刷方向などの設定を行い画面を閉じます。
- ➔ 再度、【レイアウト選択】 画面が表示されます。



6 【OK】 ボタンを押す

- ➔ 印刷ウィンドウが表示されます。

7 印刷画面を編集し、【印刷】 ボタンを押す

- ➔ プリント設定画面が表示されます。

● **画像の大きさを変更する**

画像の上にカーソルを移動して表示される矢印で大きさを変更します。



矢印をドラッグすると画像の大きさが変わります。

※ プリントモードにより画像の大きさや角度が変更できないことがあります。

8 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

画質を調整して印刷する (Exif 2.2対応)

ImageBrowserには、Exif 2.2 (Exif Print) に対応した画質調整機能があります。この機能を使うと、自動的に補正がかけられた印刷を行うことができます。

1 【ImageBrowser】メニューから【環境設定】を選ぶ

➔ 【環境設定】画面が表示されます。

- OS 9をお使いのときは、【編集】メニューから【プレファレンス】を選びます。
- ➔ 【プレファレンス】画面が表示されます。
- 【環境設定】画面と【プレファレンス】画面では、同様の設定を行うことができ、操作手順も同じです。

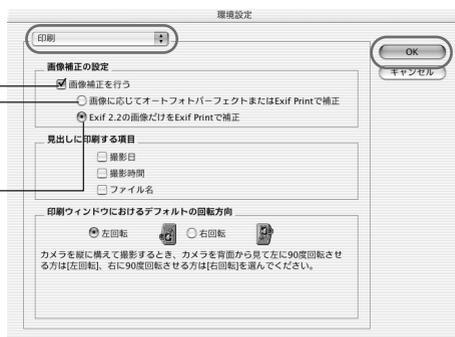
2 リストボックスから【印刷】を選んで画質補正の設定を行い、【OK】ボタンを押す

➔ 補正値が設定され終了します。

画質補正を行うときは、必ずチェックマークを付けます。

Exif 2.2対応のカメラで撮影した画像や、その他の画像を自動的に画質補正します。

Exif 2.2対応のカメラで撮影した画像のみ自動的に画質補正します。



3 画像を印刷する (M-65)



- Exif 2.2対応のカメラで撮影した画像には、撮影条件、撮影シーンなど、撮影時の設定情報が記録されています。Exif Print補正では、これらの情報を使って撮影時の状況に、より忠実な画質補正を行います。
- 画質補正の設定は、ImageBrowserから印刷するすべての画像に適用されます。

RAW画像の現像と画像合成

ImageBrowserでRAW画像を現像する

ImageBrowserからRAW画像の現像を行うには、File Viewer Utilityを起動します。

- 1 画像をブラウザウィンドウに表示する (M-63)
- 2 ブラウザーエリアで現像するRAW画像を選ぶ
- 3 **【ファイル】** メニューから **【RAW画像の処理】** を選ぶ
⇒ File Viewer Utilityが起動し、RAW画像がFile Viewer Utilityメインウィンドウに、サムネイルで表示されます。
- 4 **RAW画像を現像する**
 - RAW画像の現像方法については、「RAW画像を現像する」(M-27) を参照してください。



ImageBrowserからFile Viewer Utilityを起動したときは、File Viewer Utilityで利用できる機能が限定されます。**【フォルダツリー表示領域】**が表示されないほか、カメラ設定、画像の回転、画像転送、インデックス保存、画像消去、情報更新、画像のプロテクトなどの機能を使用することはできません。

PhotoStitchで画像を合成する

撮影した複数の画像を自動的に合成して、パノラマ写真などが簡単に作成できます。

- 1 画像をブラウザウィンドウに表示する (M-63)
- 2 ブラウザーエリアで複数のJPEG画像を選び、**【編集】** メニューから **【PhotoStitch】** を選ぶ
⇒ PhotoStitchが起動します。
 - ガイダンスの説明にしたがって、画像を合成します。
 - PhotoStitchの操作の詳細については、PhotoStitchのヘルプを参照してください。



- PhotoStitchでRAW画像は合成できません。
- PhotoStitchで合成できる画像は、最大4コマです。

6

トラブルシューティングと アンインストール

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアのアンインストールなどについて説明します。

トラブルシューティング

「インストールが手順通りできない」、「カメラとコンピューターが通信できない」、「ソフトウェアが正しく動作しない」というときは、以下の項目を確認してください。

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとコンピューターが通信できない

- お使いのコンピューターは、以下に該当していますか？
 - USB接続部を標準装備したMacintoshコンピューター
※標準装備以外のコンピューターでUSB接続を行ったときの動作保証はしていません。
- カメラとコンピューターが正しく接続されていますか？
 - 専用USBケーブルで、カメラとコンピューターを正しく接続してください。(M-9)
- カメラの通信設定は、正しく設定されていますか？
 - SOLUTION DISKのソフトウェアをご使用になるときは、カメラの通信設定を【標準】に設定してください。また、OS XでPTP機能を使うときは、【PTP】に設定してください。(M-8)
- カメラのバッテリー残量は十分ですか？
 - コンピューターからカメラへの電源供給は行われません。カメラにDCカブラーキット（別売）を接続するか、充電済みのバッテリーを入れてコンピューターに接続してください。(付属のカメラ使用説明書「バッテリーを入れる／取り出す」)
- 2台以上のカメラをコンピューターに接続していませんか？
 - 1台のコンピューターに2台以上のカメラを接続すると、ソフトウェアおよびカメラが正しく動作しないことがあります。
 - ソフトウェアをいったん終了させてから、すべての専用USBケーブルを外します。
そのあと、カメラに接続された1本の専用USBケーブルだけをコンピューターに再度接続してください。
- 初代iMacのファームウェアをアップデートしないで使っていませんか？
 - iMac Firmware Update（アイマック ファームウェア アップデート）でファームウェアをアップデートしたあと、Mac OSをOS X、またはOS 9にアップデートしてください。
 - iMac Firmware UpdateはApple社のホームページからダウンロードしてください。
 - OS X、OS 9は市販のものをご購入ください。
(※OS Xではバージョン10.2、OS 9では9.2を推奨しています)

ソフトウェアが起動しないまたは、正しく動作しない

● ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている？

→ ご使用になるソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、**[Preferences]** フォルダ (OS 9では**[初期設定]** フォルダ) から **[Canon CameraCom Pref]** ファイルとお使いになるソフトウェアのファイルを削除し、ソフトウェアを起動してください。

OS Xをお使いのときは、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリックして、**[ホーム]** ボタンを押し、**[ライブラリ]** (**[Library]**) フォルダ ▶ **[Preferences]** フォルダの順にダブルクリックして **[Preferences]** フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

OS 9をお使いのときは、システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ **[システムフォルダ]** ▶ **[初期設定]** フォルダの順にダブルクリックして **[初期設定]** フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

- ・ Canon CameraCom Pref 各ソフトウェアが共通に使用する通信用の初期設定ファイル
- ・ CanonFileViewerUtility Pref FileViewerUtilityの初期設定ファイル
- ・ RemoteCapture Pref RemoteCaptureの初期設定ファイル
- ・ ImageBrowser Preferences ImageBrowserの初期設定ファイル

アンインストール

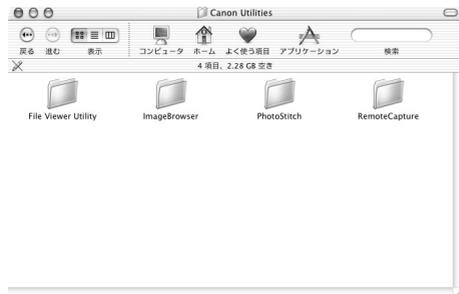
- ソフトウェアのアンインストールは、OS 9のImageBrowserを除き、OS X、OS 9とも同様の手順で行います。
- アンインストールをはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用USBケーブルをコンピューターから取り外してください。
- 削除するフォルダやコントロールパネル内のソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、**[Finder]** メニューから**【ゴミ箱を空にする】**（OS 9では、**[特別]** メニューから**【ゴミ箱を空に】**）を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

ここでは、File Viewer Utilityを例に、アンインストールの手順を説明します。他のソフトウェアをアンインストールするときも同様の手順で行います。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- **[Canon Utilities]** フォルダを開きます。



2 アンインストールしたいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動して削除する

- OS 9のImageBrowserをアンインストールするときは、このあと、**[コントロールパネル]** から**【Canon ImageBrowser Auto Launch】** をゴミ箱に移動して削除します。

- ゴミ箱にフォルダを移動して削除するときは、大切な画像をいっしょに削除しないように、十分注意してください。
- アンインストールが終了したら、コンピューターを再起動してください。

Photoshop Elements 2.0をアンインストールする

- 1 **[Adobe Photoshop Elements 2]** フォルダが保存されているフォルダを表示する
- 2 **[Adobe Photoshop Elements 2]** フォルダをゴミ箱に移動して削除する

M

6

トラブルシューティングとアンインストール

-  ゴミ箱にフォルダを移動して削除するときは、大切な画像をいっしょに削除しないように、十分注意してください。
- アンインストールが終了したら、コンピューターを再起動してください。

索引

英数字

PTP機能で画像を取り込む.....	M-12
PTP設定について.....	M-8
RAW画像を現像する.....	M-27、M-70
ImageBrowserの自動起動を解除する.....	M-62

あ

アンインストール	
Photoshop Elements 2.0.....	M-75
ソフトウェア.....	M-74
色温度を設定する.....	M-30
色空間を設定する.....	M-33
色を調整する	
色あい.....	M-32
色の濃さ.....	M-32
コントラスト.....	M-32
インストール	
Photoshop Elements 2.0.....	M-6
ソフトウェア.....	M-4
インターバルタイマー撮影.....	M-52

か

画質を調整して印刷する (Exif Print)	
.....	M-69
画像を印刷する.....	M-26、M-52、M-65
画像を選ぶ.....	M-19
画像を合成する.....	M-70
画像を消去する.....	M-25
画像を取り込み保存する.....	M-63
画像を表示する.....	M-18
画像をプロテクトする.....	M-24
画像を保存する	
JPEG抽出・保存.....	M-36
インデックス保存.....	M-38
変換・ファイル保存.....	M-34
カメラとコンピューターを接続する.....	M-9
機種依存処理モード.....	M-20
クリックホワイトバランス.....	M-31
現像条件をコピーする.....	M-33

さ

シャープネスを調整する.....	M-33
所有者名と日付/時刻を設定する.....	M-46

設定画面

カメラ設定.....	M-44
環境設定.....	M-42
詳細設定.....	M-55
初期設定.....	M-53
操作の流れ.....	A-4

ソフトウェアのウィンドウ

ImageBrowser	
カメラウィンドウ.....	M-59
ブラウザウィンドウ.....	M-58
File Viewer Utilityメインウィンドウ	
.....	M-15
RemoteCapture	
撮影ウィンドウ.....	M-48
保存ウィンドウ.....	M-49

ソフトウェアの主な機能

File Viewer Utility.....	A-5
Photoshop Elements 2.0.....	A-7
PhotoStitch.....	A-6
RemoteCapture.....	A-6
ImageBrowser.....	A-5

ソフトウェアを起動する

ImageBrowserを起動する.....	M-58
File Viewer Utilityを起動する.....	M-14
RemoteCaptureを起動する.....	M-48

た

タイマー撮影.....	M-51
通信モードを設定する.....	M-8
デジタル露出補正.....	M-28
動作環境.....	A-9

は

表示モード

JPEGプレビュー.....	M-21
サムネイル表示.....	M-21
プレビュー表示.....	M-21
ホワイトバランスを調整する.....	M-29

ら

リモート撮影.....	M-50
レタッチソフトに画像を転送する.....	M-40



キヤノン株式会社 canon.jp
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

お客様相談窓口

製品の取り扱い方法、修理サービスのご相談は、機種名をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、別紙のサービス窓口にご相談ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。カメラに関する情報を掲載しているコンテンツ等もございますので、インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

キヤノン株式会社／キヤノン販売株式会社
canon.jp/camera

- この使用説明書は、2003年8月に作成したものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、別紙のサービス窓口にお問い合わせください。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。